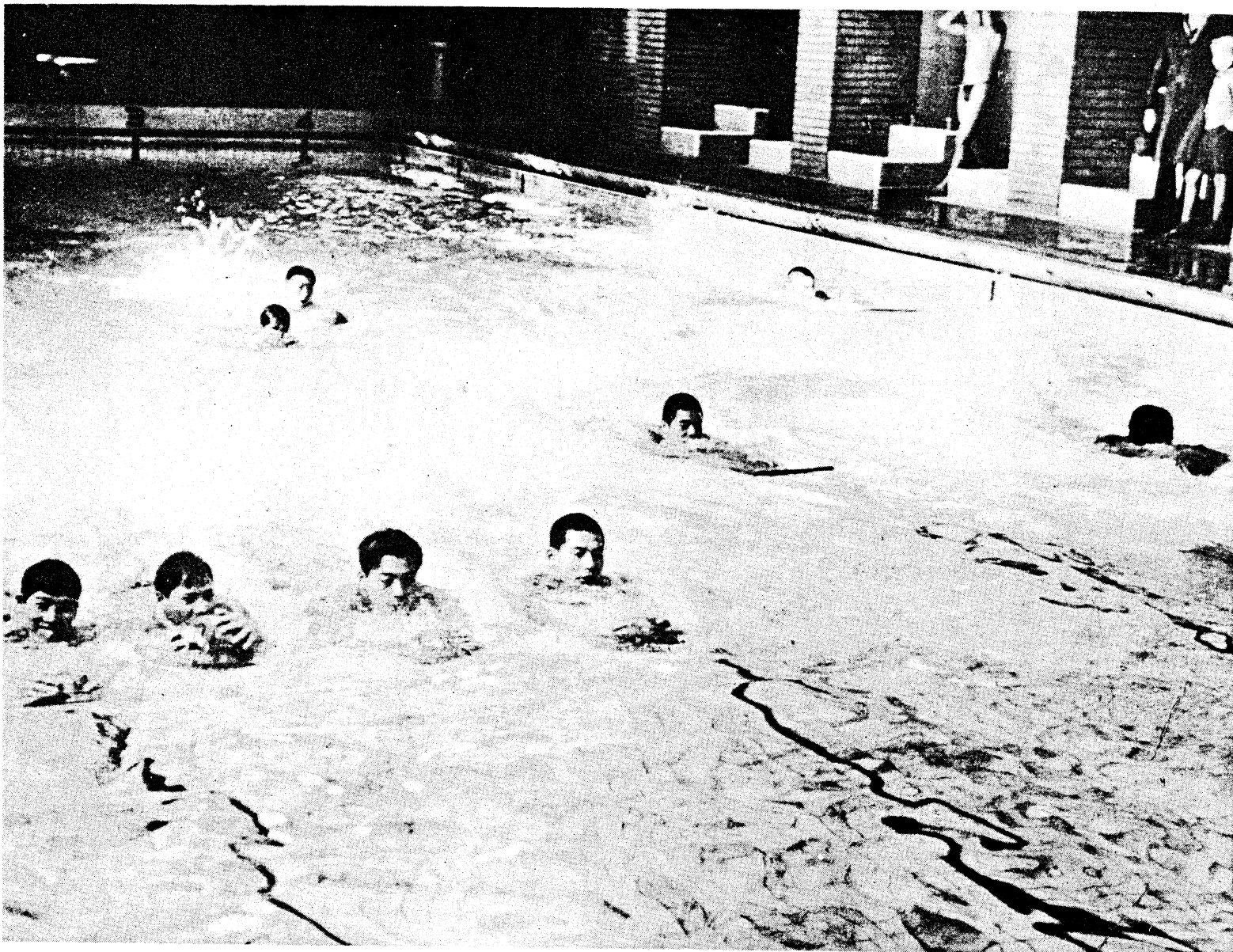


# 水泳

日本水上競技聯盟機關雜誌 No. 38號 1936



昭和十一年五月

日本水上競技聯盟

昭和十一年

# 水泳年鑑

## 内 容

日本水上競技聯盟規約（十一年改正）

アマタ一規則  
聯盟規約細則

日本水上競技聯盟競技規程（十一年改正）

競泳規則  
飛込競技規則  
水球規則

競技規程細則

競泳池公認規定（十一年改正）

標準泳法

水泳指導者資格検定規則

日本記録變遷表（昭和十一年一月一日）

世界記録變遷表（昭和十一年一月一日）

オリンピック記録

日本選手權大會

日本選手權保持者表

日本學生水上競技聯盟規約

本年から聯盟規約及び競技規程を聯盟から直接出版することになった。本年二月規約及び競技規程其他が改正せられた。本書が之を全般的に發表した最初のものである。正しい競技を行ひ、正しく審判するには本書に據らなければならない。

本書は以上の外に標準泳法、水泳指導者資格検定規則、日本記録變遷表、世界記録變遷表、日本學生聯盟規約等を満載したので書名を水泳年鑑と稱することとした。

水泳に關係する者は必ず備ふべき書である。

五月中旬發行 定價五十錢 送料二錢

一般書店へは出さない豫定。希望の向は至急前金にて申込まれたい。

## 日本水上競技聯盟

東京市麴町區丸の内二丁目丸ビル五階 581區（移轉）  
振替口座・東京 39919 番。電話丸の内 3608

日本水上競技聯盟

機 關 雜 誌

# 水 泳 第三十八號

## 目 次

日本最高記録	2
世界最高記録	4
男子競泳オリンピック選手候補者各季合宿	候補者及松澤一鶴 6
冬期に行つた補助運動	金子魁一 柳田亨 27
男子飛込冬季合宿日記	原 秀 夫 28
女子冬季練習報告	
關 東	白 山 廣 子 30
	市 口 房 子 32
關 西	松 澤 初 穂 32
僕の昨年シリーズ	清川正二 葉室鐵夫篇 木 村 象 雷 33
海 外 情 報	35
聯 盟 會 報	41

昭和十一年一月一日 **男子競泳日本最高記録**

距離米	時間	氏名	所屬	場所	才路米	昭和年月日
自由形	分秒					
50	25.8	高橋成夫	早大	神宮	50	9-9-16
100	57.2	遊佐正憲	日大	神宮	50	10-9-14
200	2:11.2	遊佐正憲	日大	神宮	50	10-8-19
300	3:32.0	根上博	立大	神宮	50	10-8-7
400	4:45.2	根上博	立大	神宮	50	10-8-18
500	6:09.8	牧野正藏	早大	神宮	50	10-9-15
短	6:07.2	石原田愿	明大	神宮	25	8-9-30
800	9:55.8	牧野正藏	早大	神宮	50	10-9-15
1000	12:41.8	根上博	聖一	神宮	50	9-8-12
1500	19:08.0	北村久壽雄	高知商	神宮	50	8-8-13
平	泳					
50短	34.6	鶴田義行	日大	明大	25	5-4-19
100	1:13.0	小池禮三	慶大	神宮	50	10-8-4
200	2:41.2	小池禮三	慶大	神宮	50	10-8-5
400	6:24.4	鶴田義行	日大	玉川	50	3-10-13
短	5:53.8	小池禮三	慶大	神宮	25	8-11-1
500	8:30.8	鶴田義行	日大	大阪	50	大正15-9-12
短	7:50.4	小池禮三	沼津商	明大	25	7-4-10
背	泳					
50	30.8	清川正二	東京商大	神宮	50	8-9-15
100	1:03.6	清川正二	日大	Los Angeles	50	7-8-12
200	2:35.2	吉田喜一	佐伯中	神宮	50	10-8-5
400短	5:30.4	清川正二	東京商大	神宮	25	8-9-30
潜	水					
50	34.0	柳瀬勝得	横鎮	神宮	50	6-10-2
リ	レ					
200	1:46.0	早稻田大學		神宮	50	10-9-15
		竹村公良 志村義久	阪上安太郎	高橋成夫		
400	3:55.6	日	本	神宮	50	10-8-18
		新井茂雄 志村義久	平野亮	遊佐正憲		
800	8:52.2	日	本	神宮	50	10-8-19
		遊佐正憲 石原田愿	牧野正藏	根上博		
メドレー・リレー						
300	3:20.8	日	本	神宮	50	10-8-17
		吉田喜一 小池禮三	遊佐正憲			



昭和十一年一月一日 女子競泳日本最高記録

距離米	時間	氏名	所屬	場所	水路米	昭和年月日
自由形						
50	31.6	松澤 初穂	大阪女水	大阪	50	8—8—29
100	1:14.6	小島 カズエ	中部	神宮	50	10—8—17
	1:14.6	吉田 つね子	中泉高女	神宮	50	10—10—6
200	2:45.0	小島 カズエ	椛山	振甫	50	8—7—30
短	2:42.8	小島 カズエ	椛山	七本松	25	8—8—27
300	4:22.6	守岡 ハツ子	關西	神宮	50	10—8—19
短	4:19.6	小島 カズエ	椛山	神宮	25	8—9—30
400	5:53.0	小島 カズエ	椛山	清洲	50	8—8—20
短	5:49.6	小島 カズエ	椛山	七本松	25	8—8—27
500	7:44.8	守岡 ハツ子	茨木	大阪	50	10—7—28
短	7:35.6	守岡 ハツ子	茨木	神宮	25	8—10—1
800	12:31.8	守岡 ハツ子	茨木	大阪	50	10—7—28
1000	15:57.0	守岡 ハツ子	茨木	大阪	50	8—7—30
1500	24:08.6	守岡 ハツ子	茨木	大阪	50	8—7—30
平泳						
50	40.6	前畑 ヒデ子	椛山	振甫	50	10—9—1
100	1:25.7	前畑 ヒデ子	椛山	振甫	50	10—7—27
200	3:02.4	前畑 ヒデ子	椛山	振甫	50	9—9—9
短	3:00.4	前畑 ヒデ子	椛山	神宮	25	8—9—30
400	6:37.6	前畑 ヒデ子	椛山	清洲	50	8—8—20
短	6:24.8	前畑 ヒデ子	椛山	神宮	25	8—10—1
500短	8:03.8	前畑 ヒデ子	椛山	神宮	25	8—10—1
背泳						
50	39.4	横田 みさを	京都府	大阪	50	8—8—29
100	1:25.1	横田 みさを	日本	Los Angeles	50	7—6—12
200	3:10.4	横田 みさを	京武	寶塚	50	8—9—10
400	ナシ					
潜水						
50	ナシ					
リレー						
200	2:19.4	京都 谷口美代子 荒田雪江 横井キヌ	清洲 櫻井愛			10—6—16
400	5:06.7	日本 小島カズエ 横田みさを	Los Angeles 守岡ハツ子			7—8—12
800	ナシ		荒田雪江			
メドレーリレー						
300	4:13.4	中部 北島静子 前畑ヒデ子	小島カズエ	神宮		10—8—19

# 男子競泳世界最高記録

1936-1-1

國際水泳聯盟

## 米制種目

## ■海水

距離	氏名	國	分秒	年月日	場所	水路
自由形						
100m.	P. Fick	米	56.6	1927-4-5	New Haven	25y.
200m.	J. Medica	米	2:07.2	1935-4-12	Chicago	25y.
300m.	J. Medica	米	3:21.6	1935-4-11	Chicago	25y.
400m.	J. Medica	米	4:38.7	1934-8-30	Honolulu	25y.
500m.	J. Medica	米	5:57.8	1933-6-1	Seattle	25y.
800m.	牧野正藏	日	9:55.8	1935-9-15	東京	50m.
1000m.	根上博	日	12:41.8	1934-8-12	東京	50m.
1500m.	Arne Borg	瑞	19:07.2	1927-9-2	Bologna	50m.
平泳						
100m.	J. Higgins	米	1:10.8	1935-2-22	New Haven	25y.
200m.	J. Cartonnet	佛	2:39.6	1935-5-4	Paris	25m.
400m.	E. Rademacher	獨	5:50.2	1926-3-9	New Haven	25y.
500m.	R. Kaye	米	7:23.8	1935-11-15	Toledo	25y.
背泳						
100m.	A. Kiefer	米	1:04.9	1935-11-9	Breslau	25m.
200m.	A. Kiefer	米	2:24.0	1935-4-11	Chicago	25y.
400m.	A. Kiefer	米	5:17.8	1935-4-10	Chicago	25y.
リレー						
800m.	日本	日	8:52.2	1935-8-19	東京	50m.
	遊佐正憲 牧野正藏 石原田愿 根上博					
碼制種目						
自由形						
100y.	J. Weissmüller	米	51.0	1927-4-5	Ami Arbor	25y.
220y.	J. Medica	米	2:07.9	1935-4-12	Chicago	25y.
300y.	J. Medica	米	3:04.4	1935-4-10	Chicago	25y.
440y.	J. Medica	米	4:40.8	1934-8-30	Honolulu	25y.
500y.	J. Medica	米	5:16.3	1935-4-6	New York	25y.
880y.	R. Flanagan	米	10:07.6	1935-7-7	Detroit	55y.
1000y.	J. Medica	米	11:37.4	1933-7-29	Portland	55y.
1760y.	J. Medica	米	20:57.8	1934-7-6	Chicago	55y.
平泳						
200y.	J. Cartonnet	佛	2:25.2	1935-5-4	Paris	25y.
背泳						
150y.	A. Kiefer	米	1:33.9	1935-11-22	Aarhus	25m.
リレー						
800y.	Yale University	米	8:32.4	1935-2-25	New Haven	50y.
	R. Wilson, D. Livingston, N. Hoyt, R. Cooke.					

# 女子競泳世界最高記録

1936-1-1

國際水泳聯盟

## 米制種目

## ■海水

距離	氏名	國	分秒	年月日	場所	水格
自由形						
100m.	W. den Ouden	蘭	1:04.8	1934—4—15	Rotterdam	25m.
200m.	W. den Ouden	蘭	■2:25.3	1935—9—8	Copenhagen	25m.
300m.	W. den Ouden	蘭	■3:50.4	1935—9—10	Copenhagen	25m.
400m.	W. den Ouden	蘭	5:16.0	1934—7—12	Rotterdam	25m.
500m.	W. den Ouden	蘭	6:48.4	1935—3—27	Rotterdam	25m.
800m.	L. Kight	米	11:34.0	1935—7—21	Manhattan Beach	55y.
1000m.	H. Madison	米	14:44.8	1931—7—19	New York	55y.
1500m.	H. Madison	米	23:17.2	1931—7—15	New York	55y.

平泳	氏名	國	分秒	年月日	場所	水格
100m.	H. Hölzner	獨	1:24.5	1935—1—15	Copenhagen	25m.
200m.	前畑ヒデ子	日	3:00.4	1933—9—30	東京	25m.
400m.	前畑ヒデ子	日	6:24.8	1933—10—1	東京	25m.
500m.	前畑ヒデ子	日	8:03.8	1933—10—1	東京	25m.

背泳	氏名	國	分秒	年月日	場所	水格
100m.	E. Holm-Jarrett	米	1:16.3	1935—1—15	Chicago	25y.
200m.	R. Mastenbroek	蘭	2:49.6	1935—1—20	Amsterdam	25m.
400m.	R. Mastenbroek	蘭	6:05.0	1935—4—5	Basel	25m.

リレー	氏名	國	分秒	年月日	場所	水格
400m.	Holland National Team		4:33.3	1934—4—14	Rotterdam	25m.
	J. Selbach, A. Timmermanns, R. Mastenbroek, W. den Ouden.					

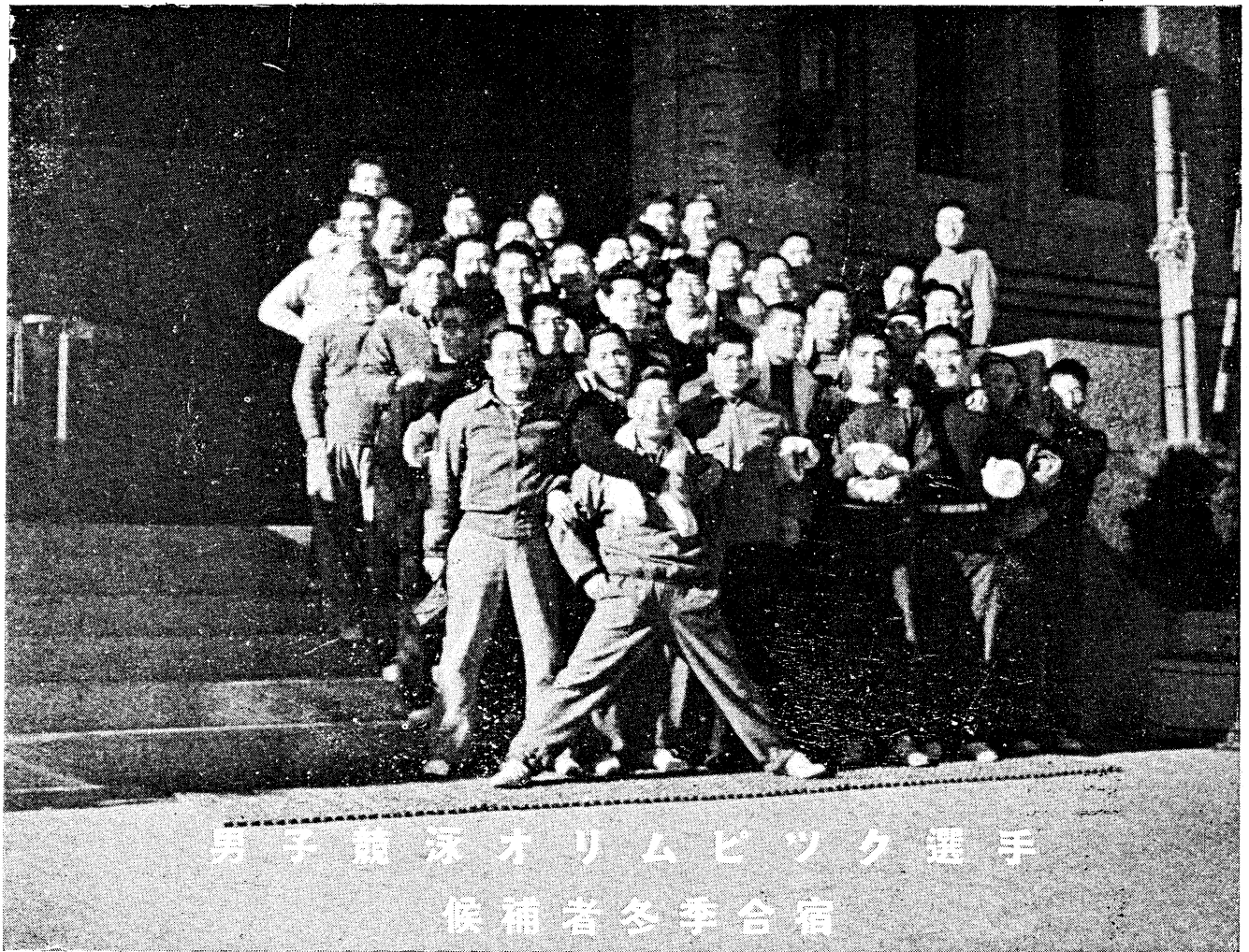
## 碼制種目

自由形	氏名	國	分秒	年月日	場所	水格
100y.	W. den Ouden.	蘭	59.8	1934—2—4	Copenhagen	25m.
220y.	W. den Ouden	蘭	■2:27.6	1934—5—5	Dundee	25y.
300y.	W. den Ouden	蘭	■3:27.0	1935—6—22	Dundee	25y.
440y.	L. Kight	米	5:30.0	1934—3—21	Boston	25y.
500y.	L. Kight	米	6:15.2	1934—3—21	Boston	25y.
880y.	H. Madison	米	11:41.2	1930—7—6	Long Beach	55y.
1000y.	H. Madison	米	13:23.6	1931—7—17	New York	55y.
1760y.	H. Madison	米	24:34.6	1930—7—3	Long Beach	55y.

平泳	氏名	國	分秒	年月日	場所	水格
200y.	M. Genenger	獨	2:44.9	1935—3—24	Krefeld	25m.

背泳	氏名	國	分秒	年月日	場所	水格
150y.	A. Bridges	米	1:50.8	1935—4—19	Brunswick	25y.

リレー	氏名	國	分秒	年月日	場所	水格
400y.	ナシ					



男子競泳オリンピック選手  
候補者冬季合宿

### 一 合宿成立経過

ロサンゼルスの大スタジアムに於ける第十回オリンピック閉會式で、バイエ・ラツール伯から次回を伯林で開催する旨を宣せられた時から、我々のそれに対する準備も始つて居るのだが、それからもう四年間の第十回オリンピックが経過して終つて、足掛け五年目を迎えやうとして居るのだから早いものだ。その後水上競技各種目の技術方面に或は財政の方面にNSRとしても怠らず準備を進め、第一期とも云ふべき普及運動時代も終へ、日米對抗競技を含み第二期たる昨年のオリンピックへの目標轉換も行はれ、昨秋の日本選手権兼明治神宮競技終了後は愈世界選手権を目指して直接準備の第三期に入つた譯だ。これで来るべき五月末の全國最終豫選會が済んで後のオリンピック遠征の第四期に移るまで、選ばれた候補選手はもとより凡そ伯林大會参加の名譽に憧れるスイマー達にとつては此冬から春へかけての第三期は最も辛い練習期間となる譯だ。

日本水上競技聯盟に於ては昨秋の代議員會で決定されたオリンピックに対する方針並にその練習計画に従ひ、早速準備を開始し、昭和十年十一月廿七日には在京代議員會を開いてオリンピック・チームの幹部並にコーチを指名し、十二月二日にはコーチ達の相談會、續いて十二月四日の定例常務理事會にて全般の練習方法並に實施案を決定するに至つた。之に依り男子競泳候補チームは最終豫選會迄に前後五週間合宿練習を行ふ事が出来る様になり、その第一回

は昭和十年十二月二十五日から昭和十一年一月七日まで、東京九段軍人會館に銜せられたるオリンピック候補選手を集合、近くの靖國神社脇の東京第一市立中學校の設備最新を誇るプール及體操場を中心として基礎練習を第一歩から踏み出す事が出来る様になつたのである。

第一回の合宿練習が非常に都合よく実施のはこびに立至つたに就ては各方面よりの非常な御援助に依る事は勿論であるが、就中軍人會館を合宿所として使用するには多大の難色があつたのであるが、大日本體育協會専務理事大島中將閣下の殊の外の御盡力で豫定通り使用する事が出来る様になつた事は何より感謝に堪へない。尚二週間の長期間に亙つて便宜を與へられた軍人會館當局、練習場を提供して下さつた市立一中の諸先生、トレーナーとして柳田亭氏の協力に快く賛意を表して下さつたYMCA理事者諸氏、コーチ齋藤巍洋氏の合宿入りに對し積極的支持を賜つた、大毎東日幹部諸賢、選手の健康診断に維持に努力された順天堂第二内科の東俊郎博士以下各醫員諸氏の方々にも紙上に深甚なる感謝の意を表する次第である。

かくて第一回の合宿は、遙にブラジルから急據歸朝した齋藤君も間に合ひ、前回御苦勞を願つた柳田君の協力も得る事が出来て、愉快的日の連続であつた。二週間にはどうかと思はれる様な無理な盛り澤山の豫定をも無事に終了する事が出来、伯林オリンピックへの希望を一層大にするを得て喜んだのである。此の合宿を一層有意義にする爲に合宿所各室廻り持に毎日の日記を書いて貰つた。一日一人の

割當であつたが、時には室全體の各員が執筆したのもある此等の貴重な記録を「水泳」誌上に發表出来るを喜ぶと共に諸彦諸君には此の文字の間に表はれて居る候補者諸君の氣魄を感知して頂き度い。今度の合宿ではコーチの連中は選手達にドライブを加へる必要を一寸も感じなかつた。快く二週間がひとりでに過ぎ去つて行つた所の楽しい希望に満ちた合宿を此の日記に讀んで頂き度い。

## 二 第一回合宿方針並に實施方法

たゞその前に一應今度の合宿の目的とその實施方法を述べて置かないと、充分に、又正しく理解して頂けないと思ふ。

勿論伯林オリンピック大會に勝つ事を目的としての合宿練習であるが、その爲には

(一) 日本水泳の中心チームたるに應はしい立派なチームとなる爲に、各自の精神的結合に重きを置き、世界選手權の大競技に堪へ得る強靱性を養成する事を心掛けた。その爲には室割にも氣をつけ、新しい若い選手諸君の爲にはあらゆる機會に随分小さな事にまで注意反省を促した。

(二) 規則正しき生活をなし、之に依り競技練習の効果を擧ぐる事を期待する。

(三) 生活の基準を依然として最若年者たる中學生に置きその爲には大學選手の我慢、自重を望むた。

徒に技術の末に走らないで先根本の而も忘れられた最も平凡なる日常生活に對する反省からして取掛つた。冬の朝は起きるには辛い時期ではあるが規定の時間には起きて貰つた。こんな些末な事にさへ前回オリンピックの時よりはずつと規律が氣持よくより以上立派に行はれた。又前回に於ては禁酒を改めて申渡す必要は無かつたが、禁煙制煙は特に一部分の人には云はなければならぬ状態であつた。今回は實際的には禁煙も特に云ふ必要は無くなつて無煙状態になつて終つた。當り前の事であるには違ひ無いが嬉しい事の一つだつた。とにかくハードワークよりはパンクチュアティー、或はハード・ワークの爲の規律的生活を強く要求して之が行はれたのであつた。

(四) 本合宿に於ては冬季間の練習に必要な諸技術を習得するを第一とし、練習に依る直接効果は第二義的のものと考へた。

(五) この爲に水泳補助運動用基本體操を練習實施する。日本の水泳選手にとつては冬季間まで水泳並に水泳の爲

の筋肉運動の練習ばかりを焦せる必要は無いと思ふ。寧ろかゝる冬眠時機がある事が難有い事で、此の期間に平生水泳家として使用して居ない筋肉等を刺戟して置いて春になつてから我々に必要な筋の加速度的進歩を圖らなければならぬ。こんな様な考へから豫めYMCA體育主事柳田氏並に同顧問金子魁一博士に御願ひしてデンマーク基本體操を中心として水泳補助運動として適當なる體操を三シリーズばかり即水泳體操とも云ふべきものを考へて置いて頂いた。その内今回は特に平生水泳に使用しない筋肉を用ふる體操の一シリーズを充分に練習したのである。充分に練習して合宿終つてからも毎日自分でやれる様、又自分の學校の水泳部員位は指導出来る様になる位を目標にやつたばかりでなく、相當速成的にやつて此の合宿中にも實効果を幾分でも擧げ様と慾はつたから、冬眠を破られたばかりの候補者諸君としては随分苦痛であつたらうと同情しながらも大いに烈しくやつた。實際始めの内はこの様な體操に不慣れた新選手諸君に此を早く覺えて貰はなければならぬので夜にも相當やつたので東京に出て来て少しは遊べるかと思つた人達なんかからは可成り恨まれた事と思ふ。しかし誰も不平を云ふものも無く悲鳴を擧げ乍らやつて居る諸君を見た時、これで伯林で敗ける様な事があつてもその時は口惜しくは無いだらうと思ふばかりであつた。

(六) 水泳の練習は合宿初期に於て促成的に水に慣れしめる事。

(七) 水泳技術の缺點指摘並に之が除去を目的に徹底的改善を第一とし、水に強くなる事などは餘り考へない。

(八) 練習規律を養成する事に重きを置いた。

我々の一番大切な水の練習も専ら土臺の作り直しを第一とした。しかも日米對抗の様な大競技の後であるだけに殆ど全部が昨秋のインターカレヂ、明治神宮競技以後は完全な休養をとつて居たので始めの内は水に慣れる事からやらなければならず、練習プログラム編成上にも非常に困難を感じた。また缺點を除くと云つても自分のフォームが悪いと理解して貰はねばいくらやつても無意味であるから、プログラムが可成進むにつれ、これだけの大選手を集めて置きながら水泳のイロハをも研究する時間を設けたりした。しかしこんな事でも眞面目に馬鹿にしないでやつて呉れたのは、我々の伯林オリンピック制覇の心持がどの位眞摯なものであるかを知つて貰ふ一端ともなるであらうと信ずる

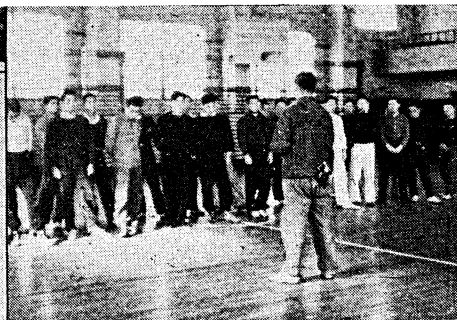
(九) 充分なる健康診断を受け、醫學的根據の下に確信を



軍人會館の前庭皆こんな様に九段坂をのし上る、寒詣り願まけの貌



靖國神社前をプールへ



午前の練習、體操に依るウオームアップ前、松澤氏より注意事項申渡す、この時以外は全員一同に會する事少し。

持つて苦しい練習に當る事。

この爲には主として順天堂第二内科の東博士に當つて頂き前掲の金子博士にも時折は部分的の御願ひもして、検査ばかりでなく、皆のスポーツ醫學の常識養成にも相當の時間を割いて萬全を期した次第である。此の方面の貴重な資料は後日また改めて之等の先生から發表して頂ける事を信ずる。

尤も以上は冬の合宿の爲の方針であり、實施方法であるから、春になれば又改めてその時機に適するものを行ひ、以て伯林に對し遺憾なきを期し度い。

### 三 第一回合宿日程表

	午前	午後	夜間	體操	水泳
12 25	11時集合	練習開始	自由外出	少種目完成を急ぐ	
26	體重計量		金子講話		
27		健康診断	金子講習		此頃迄に水に慣れさす
28		健康診断	自由外出		
29	體重計量		松澤講話	交代指導	
30		健康診断	金子講習		少宛強く掻
31			自由外出		
1 1	神宮參拜	終日	自由		
2		體重計量	松澤講話	力を入れる	水潰れ
3			松澤講話	種目増加	欠點矯正始
4	體重計量		自由外出		練習方針相談開始
5			醫事講話		
6			末弘招待		
7	體重計量		食後解散	補助體操完成	非公式計時

昭和十年十二月二十五日(水) 大正天皇祭 晴天

氣溫暖し、水温二十度 清川 正二記

『スキー及びスケートの代表選手が本日、愈々冬季オリンピック大會目指して出發した』今朝の新聞にこんな記事を見るにつけ、愈々オリンピックが間近に迫つて來た事を痛感する。

「冬來りなば春も亦遠からじ」春になれば、直に、最終豫選だ、出發だと忙しくなる。來年のベルリン大會で再び世界の覇權を握らんが爲には、此の冬季の休暇こそ最も重要

視ざるべき期間ではあるまいか。

この建前から前回の經驗に徴して、日本水上競技聯盟では今日から一月七日まで、聯盟の統制のもとに、現に選出されてゐるオリンピック第一候補者を東京に集めて合同合宿練習を行ふことになつた。既に聯盟代議員會に於て今度の水泳チームのコーチング・スタッフが決定されてゐる。即ち前司の松澤氏を再びヘッド・コーチに、併せてブラジルに在つた齋藤氏を招いて同じくコーチの任に當つて貰ふことになつた。

本日午前十一時に此の軍人會館に集つた候補者の氏名並に室割を次に列挙して見よう。室は一階に隣り合つて一個所にまとまつて並んで居つたので都合がよかつた。

第101—107號室(自由形) 遊佐正憲(室長)、平野亮、寺田登、田端三郎、宮崎康二、長谷川卯佐美

第108—110號室(背泳) 清川正二(室長)、河津憲太郎、山田薫、谷口辰三、吉田喜一、兒島泰彦(明文一、一日間滞在)

第111號室(事務所) 松澤一鶴、齋藤巍洋、柳田亨

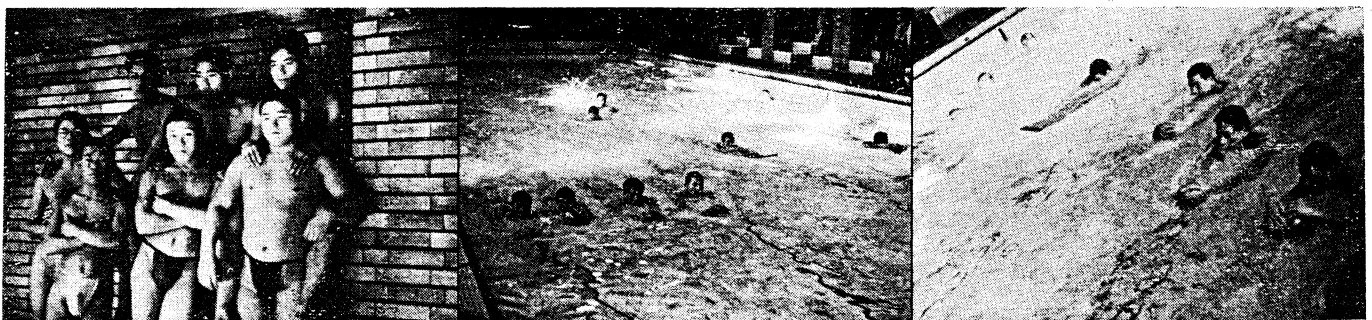
第112號室(平泳) 小池禮三(室長)、長久俊三、葉室鐵夫、伊藤三郎、柳澤榮三郎、山口正保

第113號室(自由形) 牧野正藏(室長)、新聞六炳、志村義久(一月二日迄滞在)、片岡寅次郎、五十嵐伊市郎、井上茂

第114號室(自由形) 根上博(室長)、本田惣一郎、鶴岡榮市野重治、田口正治、鶴藤俊平、石原田愿(十二月廿七日以後滞在)、新井茂雄、杉浦重雄、堀勝美、石田賢一尚石原田愿、明文一、野田務の三君は都合にて本日參加出來ず。(結局候補者中野田君だけが父君より屈出はあつたが今度の合宿に病氣で全然顔を見せなかつたのは残念だつた)

正午 今度の合宿所たる東京九段坂下の軍人會館階下大食堂に一同集つて午餐を共にとる。去る十月五日の神宮大會以來、或は地方に、或は學校別に、夫々、久しく顔を合せなかつた事として、話は夏の思ひ出など、なかなか盡きない。

一時より二階大廣間にて、末弘會長代理、田畑名譽主事より今度の合宿練習の方針並びにその意義、及び水上聯盟としての希望を述べられ、この合宿練習の成績が來年の最終銜争の場合の重要なデータとなるから、各自その心算でやつて欲しいと結ばれた。續いて松澤氏より毎日のスケヂ



長距離チーム

バタ足の練習、短距離チーム

左同



ルール及び合宿中の厳守すべき注意要項に就いて話があった。

毎日のスケジュールの大要次の如し。

- 一、起床 七時、八時まで散歩
- 二、朝食 八時
- 三、体操及び練習 九時半より十一時半まで
- 四、昼食 十二時
- 五、体操及び練習 二時半より四時半まで
- 六、夕食 五時半
- 七、種々の講習、講義等 七時より八時

これらについて、選手一同厳守すべきことを誓ふ。尙、此の席で先般の日米對抗戦で優勝した八百米リレーの副賞及び日本選手権の百米背泳のカップが夫々出来上つて来たので、獲得者に對して田畑氏より授與された。

訓辭終つて、一同別表の如く大體種目毎に部屋割をされて各自の部屋におちついた。部屋はさすがに日本精神の本家だけあつて外は鐵筋コンクリートの洋風でも、内は純日本様式だ。

二時半より市立一中に赴き愈々練習開始だ。

先づ室内体操場にて、お馴染のYMCA柳田亭氏より今回特に水泳選手の爲に編まれた準備体操を受ける。約二十分。終つてプールに至る。水温二十度位にて、やゝ冷たし。最初の日とて軽く最初200米、次に200米を少し力を入れて泳ぐ。

軽く練習を切り上げて六時夕食、未だ練習道具の整はないものもあるので、それらの準備の爲に午後九時まで各自自由行動をとらせ外出自由とす。九時半就寢。

【松澤附記】 今日から合宿が始まるので聯盟からは奥野良、齋藤颯洋兩君に少し早目に來て集合の手傳ひをして貰つたのは都合がよかつたが、軍人會館の方で大掃除だとかで約束の午前十一時までに室をあけて呉れず手順に狂が出来たのは弱つた。その上豫定通り各室に選手を入れて見たら大分に狭いので、會館に交渉して一室を増して漸く別掲の様な室割をする事が出来た。そんな事で最初は少しごたついた。

食事、訓示後、午後二時半一中の体操場に集合の豫定にして二時十五分出發、体操場では練習前に整列と編成を終り、三時二十分頃まで体操第一課を終了、プールでの練習は水につかるだけの程度、長距離、短距離、背泳、平泳の

順で先づ三百米のロング、次に各組200米を中位の力で泳がせた。參觀人は多いし、例に依つて新聞、寫眞にはせめられるし、何となく落ちつかぬ。水泳は四時二十分に終了水温19度C、プール内気温16度C、選手達で最近に泳いでるものは誰もなく、泳はガタガタだし、体操はすぐへばるし、此がどう變るかは面白い。背泳の山田は扁桃腺をはらして休泳、三十六名が次から次に泳いで行くのは實に頼しい限りであるが、三十六名のチームと云ふものは大變なものだと思つた。その爲に前回よりも比較的大きな練習場を選んだのではあるがそれでも三十六名をこのまゝ一組として練習せしむる事は出来ない事が分つたので選手就寢後齋藤とも相談して明日から二組に分けてやらせる事にした。

十二月二十六日(木) 晴後曇 遊佐 正憲記

急激なる昨日からの合宿練習にもかゝらず、皆割に元氣だ。明けがた少々寒さを感じる。皆感心に散歩に出かけた。朝の新鮮な冷い風が頬をなでる。誠に氣持が良い。

例によつて朝の練習は九時半頃から始められた。プールの水は昨日と大差なきも、寒暖のむらがあつた爲めに氣分は悪かつた。朝の練習後各自體重を計つて報告す。

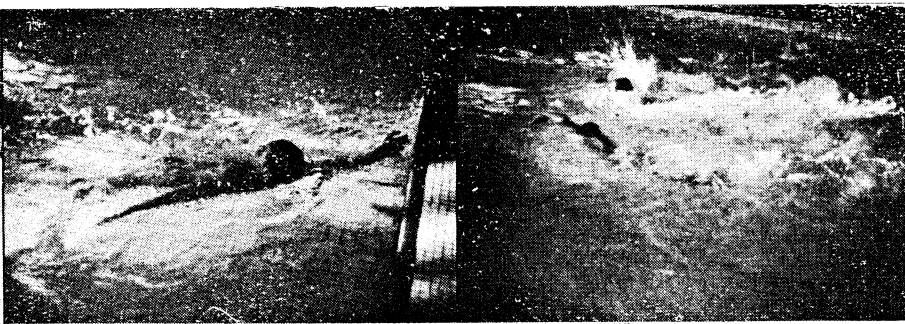
午後の練習は早組と遅組の二組に分けて練習を行ふ。早組一時半、遅組二時半、昨日に比して練習は長くなつた体操の方もいくらか長く行はれた。夜は六時半、二階廣間に於て金子先生のスポーツ・マツサージの講義があつた。松澤氏より各室の室長が發表され、その結果、私は106、107號室、通稱子供部屋の室長となる。そんなわけでこの日誌も此の室では私が第一番に書かされるわけだ。

この合宿練習はこの前のYMCAで行はれた、第十回オリンピックの合宿にくらべると、すべてがきつくなつた様に思はれる。ところが世界水泳王座を死守しようとする吾々にとつては、これぐらいの事はあたりまへだ。むしろ外國選手に較べるとシアハセであるのぢあなからうか。その點で聯盟ならびに松澤氏、齋藤氏に敬意を表する次第である

【松澤附記】 豫定通り七時丁度に起す、前夜は室内暖房のスチームの加減で、寢る時は暑くて、朝は窓を明けすぎた所はひどく寒がつてもつと蒲團が欲しいと云ふものもあり、しかしこの加減をうまくやれば近代建築のお蔭は掛蒲團一枚で結構眠られる。ただ人数の多い室の換氣がどうであらうかと心配する。山田は大分にいい様だがまだ咽喉が



背泳チーム



練習中の吉田君

クロールの練習

市中一中サムに於ける體操



痛いと言ふし、小池は右足指の創が痛むので共に練習は見學。練習開始前體操場で注意事項を申渡す。

1. 合宿日記を持廻りてつける事、これは今後各合宿毎にやり、オリンピック遠征まで続けやう。
2. 次の各日に體重計量をなす事、12月26日、29日、1月2日、4日、7日。
3. 練習方法はプールの都合で二組に組分けをし、時間の無駄の無い様に互に氣をつけて練習する事。

早組(長距離) 牧野、根上、鶴藤、田端、新聞、寺田、本田、堀、石田(石原田)

(平泳) 小池、葉室、伊藤、長久、山口、柳澤

遅組(短距離) 志村、平野、片岡、市野、長谷川、杉浦、遊佐、宮崎、五十嵐、井上、鶴岡、田口、新井

(背泳) 清川、河津、兒島、吉田、谷口

そして午前中は先づ全員揃つて軽く體操をやり終了後早組は直ちにプールへ、遅組はその儘體操場で體操のコースを先に進める。午後は早組が午後の規定の時間に體操から練習を始め、一時間の體操練習が終るとプールへ降りる、その時間に遅組が體操場に集合をする。翌日はその組順を逆にすると云ふ順序でやる事にする。

午前中のプールは係員の準備が悪く、室のスチームも水の循環も開始して無く、その上に風呂に湯が入つて居ないと云ふ始末で、選手には甚だ氣の毒であつたが平泳チームから湯にも入らせずにぶつつけに入つて貰つた、そんな譯で豫定のコースも十分に泳がせる事が出来ず、柳澤などは寒さのせいや頭がぐらぐらすると云つて居つた。けど不平も云はずやつて呉れたのは有難い事であつた。

早組(開始 9.40am)

	ウオーム アツプ	練習調	練習調	クール ダウン
平泳	200m	200m	400m	100~150m 任意に
長距離	200m	600m		

長距離チームは稍寒いのと時間がなくなり、遅組の者の練習に差支へさうになつたので途中で切上げ中途半端なものになつて終つた、まだ皆が練習規律に慣れないので時間の無駄が多くぢれつたい様だ。

遅組(開始 10.20am)

	ウオーム アツプ	練習調	蹴練習	クール ダウン
背泳	200m	400m	200m + (そのまま)100m	

短距離 200m 300m 2分間+ // 100m

茲にウオーム・アツプとあるのは身體を暖める意味のウオーム・アツプは體操で充分やつてあるから、水泳としてのウオームアツプの意味で比較的ゆつくりした調子で全身を十分に水と泳ぎに慣らす運動を云ふのである。練習調と云ふのは練習に好適な調子と云ふ意味で選手諸君は簡単に獨逸語でミツテル (Mittel Stärke の略) と云つて居る。フォームに氣をつけ缺點に注意しながら全速力では泳げないし、さうかと云つてあまりゆつくり泳ぐと却つて泳ぎ難い譯であるから、全速力の70乃至60%の力で泳ぐのを標準として居る泳ぎである。今回の合宿では殆どこれで終始したと云ふ譯である。

プールがせまいので水泳の練習が思ふ様に澤山出来ないで困る。しかしこの人数で此の前通りYMCAのプールを使つて居たならもつと困つたであらうと思ふ。まだ選手はフォームを直す所の騒ぎでない、手も足も弱いので腰の曲りが目立つ。

體操も前日に續き種目が増加して行つた。午後のプールの練習は室内スチームも通り水温22度C好適。

早組(開始 2.20p.m)

	ウオーム アツプ	練習調	蹴練習	クール ダウン
短距離(二組)	400m	400m	3分間 +	100m
背泳(二組)	400m	400m	150m +	100m

遅組(終了 4.20p.m)

	ウオーム アツプ	ロング	蹴練習	クール ダウン
平泳(二組)	300m	700m	200m	
長距離(一組)	30m	700m	3分間 +	200m

夕食後 6.50 二階練武所に集合、今日の夜の日課は金子博士のスポーツ・マッサージに関する概論の講義をして頂く、開始前の時間を利用して松澤よりの注意事項。

1. 會館よりの希望に依り貴重品を預ける事。
2. 全員にはかり各室長決定(別表室割参照)
3. 健康診断に関する件、本日晝の時間に松澤順天堂第二内科と交渉の結果、晝食後午後の練習開始までの時間を利用し毎日10名位宛年内に通り終了する様にする事、行くものは毎日松澤より指名す。
4. 日誌記入順序各室抽籤の上決定發表す。
2. 食事に對する皆の聲を聞く、大體一日を食べたので





あるが概してよい様である、皆の希望を種々に聞き考慮を約す。

金子博士を紹介し、マツサージ一通りの話を伺ふ。

- a. 輕擦法（手掌、手背、櫛狀）
- b. 揉捏法（把握、手掌、推手、揉捏、足力）
- c. 強擦法（拇指、手掌）
- d. 叩打法（手掌、手背、手背）
- e. 伸展法
- f. 壓迫法

別に下肢マツサージの話ありて終了、最後に柳田指導水泳體操を10分間やり午後8時解散、第二日を終つた。

十二月二十七日（金）雨時々霽が交る

小池禮三記

起床七時の規則により、大體この時間に起きた様だ、今日は合宿生活はじまつて初めての雨にて一同散歩も出來ずにロビーにて新聞など讀みふけた。

今朝の新聞によると伯林の次のオリンピック開催地が日本になるかオランダになるか未だ決定しない様な事が書いてあつた。然し吾々は一九四〇年のオリンピックが何處で開かれ様と構はない。來年の伯林に於ける大會に全力を注げばよいのだ。入時の朝食もとどほりなくすんだが、大食家である遊佐、志村、宮崎の諸豪が大人になつた（いくらか）故か前回の合宿の時の様に食はないのを見ると一寸淋しいが然しまだ、それでも相當の貫録を示してゐる。午前中の練習は短距離、背泳が先組にて、長距離、平泳が後組、一同揃つて一中に向ひ、輕い體操の後先組はプールに行つて泳ぎ、後組はその間繩飛びにバスケットボールに打興じ、まもなく練習時間となり午前中の練習をすませて引上げた。

晝食後ブレスト組の葉室、伊藤、小池、山口、柳澤、長久に新聞、山田、石田、堀の諸君を加へ、松澤コーチ引率のもとに順天堂病院に行き、スポーツ醫學の權威東博士の健康診斷並びに各選手の體力測定を行つて貰つた。これがすみ次第、午後の練習のため一中プールにかけつけた。練習の順序は午前と同じ。練習量も殆んど午前と同様、午後の練習を終へて吾等がおんたい石原田原選手、それに明文一選手が姿を見せた。これで今迄物足りなかつた氣分が一ぺんにとけたが、いよいよよくなるだらう。然しこれで全員三十七名が打揃つて、いよいよ本格的の合宿練習に入

れるわけだ。

今日あたりから各選手共に、身體が痛んだりして一番辛くなるのではないかと思はれたが一同元氣にて悪口をたたいたり、冗談を交したりして、和氣霽々たるものがあり結構な事と思ふ。今後大いに親しく生活して行かんことを切に希望する、今度の合宿は比較的若い連中ばかりの故か不平などいふものもすくないが、夜の外出が出來ないのは誰も苦痛らしい。

午後の練習から歸つても夕食までの間が待遠しい様だ。一日の日課を終えてホツとした氣分にて御馳走はなくとも甘味い食事をとり、六時半よりスポーツ・マツサージを特に研究しておられる金子先生のマツサージの講習があり、一同二階の道場に集りマツサージの實習をなした。これも一通りすんで最後の體操等に、あまり苦しい故か、誰が出したか知らないが愛嬌のある奴を一發放つたのだからたまらない。嗅いのなんの、あたりのものは逃げるやら、一時場内は騒然としてゐた。愉快なうちに體操も終り、これから床に入るまでが合宿生活中の極樂である。諸君等よく休んで明日の練習に備へよ、「一日一日練習が水上日本世界制覇の金字塔を築き上げるのだから、たゆまず努力されんことを切に希望する」とはよく承知してゐても練習の辛い時、鶴さんのデケえ腹を堅い棒かなんかでなぐりたい様な氣持にならなくてもない。松澤コーチ要心！要心！（これは筆者の氣持にはあらず）

今日選手の誰かが花嫁をのぞいておこられたとかナンセンスである。然し「のぞかれた花嫁」と言ふこともあるから、そんなに怒つたものでもないでせう。若いうちは色氣のあるのがとりえだから、度を越さない程度に大いに發展すべし。

【松澤附記】朝起きると御溼がしつとり濡れて居る。朝の大切な日課である散歩も出來ない、合宿三日體操の利き目で身體が痛いとかぼすもの多し、さうだらう、皆の弱點を弱點をと覗つて組立てた體操だから辛いのも無理はない、體操に大分力が入つて來た證據だ、けれども水泳の方の練習も増加せしめなければならぬ。

午前中の練習、遅組の残つた組には體操の外に繩飛びの方法も初歩から教へて貰ふ事にした、プールに於ける練習はスチーム、風呂等の準備もうまく行つて段々と落付いたよ練習が出来る様になつて來た。

	ウォームアップ	練習調	蹴練習	ダツシュ
早組	背泳 200m	300m	20m	25m×2
	短距離 200m	400m	4分間	25m×2
遅組	長距離 200m	700m (稍樂に)	4分間+	クール200m
	平泳 200m	400m	200m	ダツシュ25m×2

あまり目立つ缺點を各人に就き少し宛直し始めた、新聞社や雑誌社の寫眞班に防げられて豫定時間が大分に遅れて終つた。それに選手を順天堂に連れて行かねばならず非常に忙しかつた。

午後の體操練習開始、午後 1.30 プールの練習は齋藤に頼んでどんどん進めて貰つた。

	ウォームアップ	練習調	蹴練習	ダツシュ	自由に泳ぐ
早組	背泳 200m	400m	200m	25m×2	約5分
	短距離 200m	400m	4分間	25m×2	約5分
遅組	長距離 200m	800m	4分間	クール100m	
	平泳 400m	400m	200m	自由に泳ぐ	約10分

今日は午後の練習時間が豫定通り進んだので午後四時頃には済んで終つた。今日は午前、午後多少ダツシュをやつて見たが、まだ無茶苦茶に泳いで見て多少手の引つかかり工合を試みると云つた程度であつた。午後の練習終つて歸ると中島君に連れられ明が待つて居つた、早速豫定の室に入れて泊めることにする。

夕方食事後は昨日に引續き金子博士のマツサーズ講習、あまり難しい手は用ひなくとも一通りは他人も擦つてやれる、自分が擦られる時の爲にも一通りは心得て置くに云ふのが目的である、今日は上肢の部分の揉み方を習つた。

## 十二月二十八日 (土) 雨、時々雪も交る

井上 茂記

例の松澤さんの「皆起きろ！ 起きろ！ 起きろよ」巾の廣い聲が響いて來ると、安らかな眠が覺まされる。間違ひもなく午前七時だ。皆布團の中で朝のひとときを味ひながら起き出す。どこでも朝早く起きるのは辛いと見える。そうとうの泣言をならべて、かたつむりの這出す様に逼出すあたり、プールに臨んでの勇士とは誰れも思ふまい。

昨日から續いて雨で朝の軽い運動は止めになつて各選手の氣分が少しくだれ氣味、然し脊の口から『今日も終つた明日の飯が唯一の楽しみだ』と言つて寝る連中のあること

とて、朝の少間の時間は相當長く思はれる。部屋の中で胃のグウグウ云ふのを唾をのみ込みのみ込みこらへてゐるのも相當の辛棒だ。一人が「飯だ、飯だ」と呼ぶと、山彦みたいに相呼應して、我等の憧れ、地下室の東洋軒第一食堂へ、大いなる喜びと希望とを抱いて乗込む。先着があると「お前早いのう、お代りしたかい」

「冗談云ふない、まだ箸もつけてゐないのに」

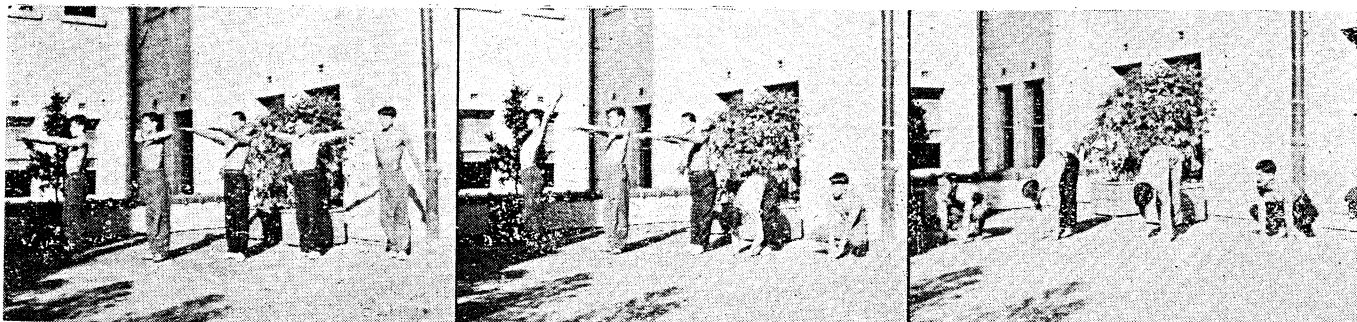
と面白い話に朗かな笑ひは食堂一ぱいを包んで若さが踊る到着順に旨そうな食事が始まる。朝は一等安い價の料理なので眞實、あまり御馳走はない。然し宵越しの希望である丈けに嚙む味も一入である。

食後部屋でゴロゴロして九時半からの練習を待つ暖いスチームに部屋は初夏みたいだ。裸になつて心よい冬の寒さを感じるあたり、文明ならでは味へまい。外にはみぞれが猛烈に降つてゐる。冬の寒さに凍死する者もあるかと思ふと、窓越しに感慨に耽けるのも小生ばかりではあるまい。閉切つて朝の時間を過してゐると根上氏の練習時間だと云ふ聲が地獄の使みたいに聞えて來る。牧野、片岡、志村、新聞、早大の闘士の銘々は直ちに用意して、みぞれのなかを物ともせず市立一中に到る。ここでは何時もと變らぬ練習、朝の模様と氣分は是のスポーツの殿堂、精神鍛錬場たるプールでは生れ變つた人の様に眞劍である。

午前の練習は短距離、背泳が早く、愉快に午前のプランは済む。遊佐、平野、田口、鶴岡、市野、志村、片岡、長谷川、新井、杉浦、牧野、宮崎、五十嵐、井上、健康診断の爲、順天堂病院へ行く。スポーツの雄と自認してゐる丈け各自の體に、それだけのプライドが溢れてゐる。午後の練習は長距離、平泳が早く、三時半頃から短距離と背泳の練習が始まる。午前と大差なき練習。とにかく練習中で最も愉快なシーンを展開するのは何と云つても風呂場風景だ。まるで、いもの子みたいに小さな湯舟に入つて體と體をつき合せて雑談に耽ける。

話の進む方向を牛耳るのは早大に其の人ありと知なれた志村君だ。顧問として日大の遊佐君、慶大の宮崎君、トリオが座長格に座つて風呂場の話はずきする所を知らない。色氣抜き面々は唯食氣一方の語で自然其の話も稚氣滿ちたものである。聞く人は思はず笑はざるを得ないだらう。

夕食後は自由外出。放たれたる鳩みたいに喜々として出て行く。會館の女中が羨やましうに眺めてゐる。午後九時夫々歸館。今夜の一日が靜かに暮れる。床についた人の



\*水泳體操の説明(別項金子御田氏記事参照) 水平振り a. b. c. d. e. 旋回と下屈, a. b. c. d. e. 膝の屈伸, a. b. c. d.

顔にも安らかな寝息が窺へる。エンゼルの幸を受けて勝利の感に酔ひつつ、楽しい夢路をたどる。

【松澤附記】 雨雪の中であつたが練習に参加する必要も無いので明文一を先づ順天堂に健康診断にやる。午前の練習は雨の爲豫定の時間が十分遅れた位で曇りの空もものは元気に体操から開始、練習も大分に軌道に乗つて来たので工合よく進む。もう体操など餘程調子よく連続して行ける様になつて居る、プールの練習、

	ウオーム アップ	練習調	蹴練習	クール ダウン
早組	短 200	400	5分	任意
	↓	↓	↓	↓
背 200	300	250m	任意	
遅組	平 200	400	200m	任意
	↓	↓	↓	↓
長 200	800	150m	任意	

練習日程表も記號で書いて終ふと簡単だが實際は矢印の様に交互に進んで行く、朝の体操前に豫定を話して置くと選手諸君も大分に慣れて来て大きな聲で怒鳴つたり、走り廻らなくても自分の番が来るとチャンと待つて居てくれて一組が済むとすぐ一組リレーの様に時間の無駄なく練習日程が進んで行く。またさうして貫はなければ、短距離の十三人もを一組ではやれぬから二つに分ける事もあるので、午前の練習だけでも組數にすれば30組近くなる。一組と一組の間が一寸愚圖愚圖して、一分とは云はず30秒でもボヤボヤしゃうものなら忽ちに十五分や二十分の遅延を見て終ふ。故に練習規律は殊に嚴重に養成されなければならないのだ。

長久咽喉を害し休泳、牧野は下痢との事、之は心配する程のものではないらしく、元気に泳いで居つた。

午後の練習、体操はメデイシンボールを加へてやり出した。プールの練習、

	ウオーム アップ	ロング (5%)	蹴練習	練習調	クール ダウン
早組	長 200	630m	5分+ダツシュ	200	任意
	平 200	400m	5分+ダツシュ	200	任意
遅組	短 200	400m	5分+ダツシュ	200	任意
	背 200	400m	5分+ダツシュ	200	任意

大體第一期の水に慣れる練習は終りに近づき、都合よく

少し急テンポではあつたが豫期に近い所まで行つた。今日は特にロングも加へ、ダツシュも加へ何處かで自分の泳の調子を見付け出して貫はうと思つた、種目も多く相當の分量をやつて居る。

夕方奥野来り雑誌「水泳」を持つて来てくれた、練習の爲の計數器(ターンの數を測るもの)バタ足用ゴムボール等を買ふ事にする。今日は練習四日目、夜の日課をやめて外出自由とす。因に今回の合宿に於ても許されたる日以外に無斷の外出外泊は勿論許して居ない。まだレースには遠いし遊ぶ氣持の方が先だらう。皆練習規律の如き正確さを以て夕食後外出して行つた。然し歸りも規則の九時半は大體守つて呉れたが、外出の興奮で消燈時間がどうしても30分も遅くなつて終つた。外出したつてよいのだけれどもこう云ふ點が何と云つても氣懸りな點だ。

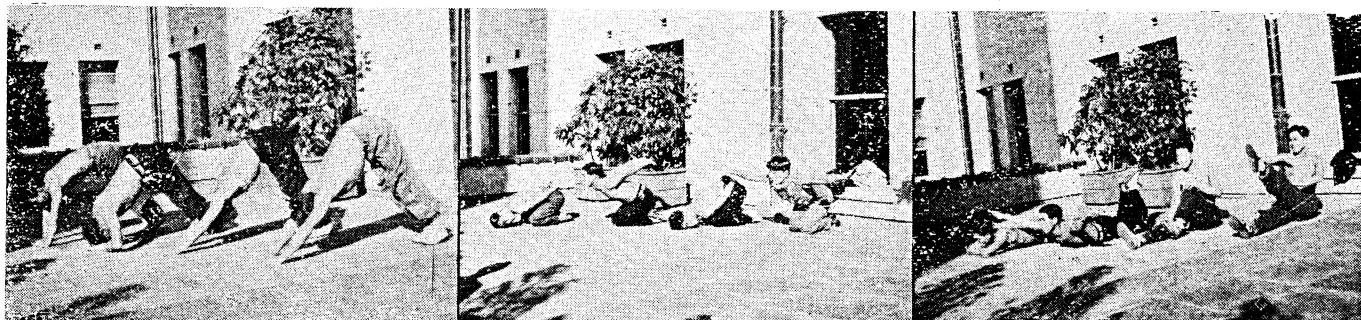
十二月二十九日(日) 雨午後に至り晴れる。

割合に暖し 根上 博記

たうたう、この日誌も吾々の部屋に廻つて来た。一體俺は書く事は嫌ひな方で、又食ふことも好きでない。寝て居ることが一番好きなのに、鶴さんは何と、無情な事だらうコツ、コツコツ百十四號! 百十四號と呼んで御座る。そう呼んだつて起きられるものか、起きたら、食つて泳いでの一日を送らなければならない。只それだけなら良いが、嫌な日記を書かなければならない。この日記のくち番を作つたのは俺だが、残りくちは福ありかどうか疑ひたくなる最後に残つた俺に第一番があつた。

日記はその日のあつたこと、思つた事、感じた事を書けば良いそうだから、思ひ出るままに一日を流し書きにしてみよう。

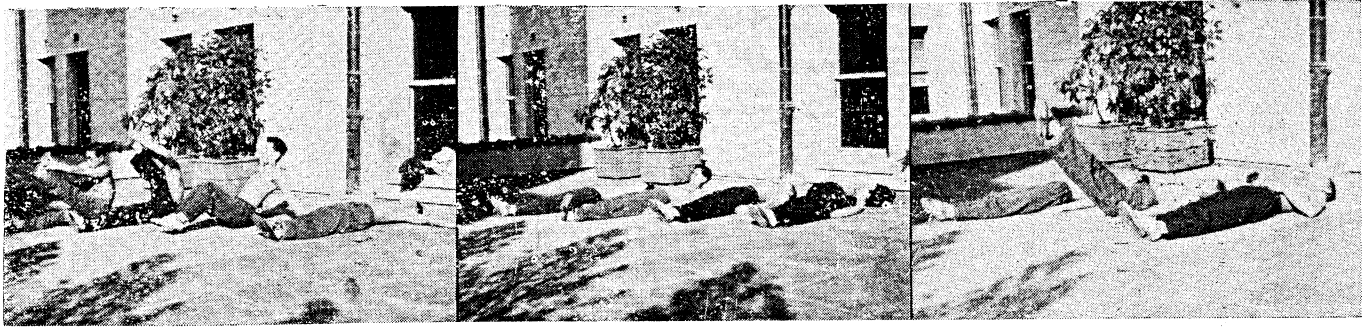
前の人も書いてゐた様に、鶴さん的一声に、その日はあけて、ねぼけ顔を洗面所に運んだ。皆んな俺と大差のない様に昨夜街の空氣を吸つて来た夢を追ひまはして居る様なぼやけた顔をして顔を洗つてゐる。日課は毎日の様に飯を食つて、練習に出て、一日を終へるのだ。只長距離と背泳の一部の人が順天堂まで出掛けたが、日曜の休みに短いドライブをして来た様な格好に終つた。又夜の寝る前の一刻夜の体操と言ふか、もう一つの日課があるが、今日はこの百十四號室に一同會して、總監督の一場の訓辭を拜聴する。事元旦に及ぶや、不満顔して一席辯じたものもあつたが、良い所で手打ちとなり、この日の問題に訓辭は進ん



上肢の伸筋訓練、a b c d

肩胛と背との筋の運動、a.b.c.d

胸椎の運動、a b c d



だ。泳ぎの話してあるがクロールと背泳の話で理論の根本的問題を話された。しかし諒解できない連中があつた様で盛んにぐもんを出して應答を開始。後はお流れになる程一場ごうごうとして止まず、みんなの宿題としてこの時間を終つた。

あとは寝るだけであるが、俺はこの日まで出さなければならぬ年賀状を書くのが忙しくて、一生懸命に書いてある。傍の方では若い中學生とそれ並の連中が、ふざけ散らし、顔に墨をぬられてゐる奴もある。これはアシカに似た選手である。又穴熊に似たのはゴパンの如き顔をした選手とひとしきり相撲をやつてゐる。そのうち、疲れてか皆床に入るが、例の連中はなかなかふざけが止まず、枕を破つてその邊を一ぱいそば殻でちらしたところへ鶴さんが来て、又この日の最後の一聲があつて寝についた。

この部屋は、否この合宿は鶴(さん)の一聲に朝が明けて夜が来ると言ふ合宿だ。もうそろそろ石原田選手はわむりはじめた。次に誰かがわむり初めた。ゴパン選手と穴熊選手は窓を開けた事で何かごたごた言つてゐる。目をつむりながら聞いてみると、

「秋風が悪いから閉めるよ」

「いやこれは秋風ではない冬さめだ」と云つて閉めないのはゴパン選手らしい。ふだん俺の様に一人で静かに寝てゐるものは、こうした大變な連中大勢と一緒に野戰病院の様な生活することは耐へられないことだ。ねつくに一苦勞である。隣の寢息や寢返りに神経が亂され、うとうとしてから仲々進まない。つむつた目には今かいた年賀状の字がおどつてゐる。結局俺の様な神経のきやしやな者は、神経の太い連中の多いこうした合宿には不向きなのだと思つて開いた。俺も太い神経を作らう。

【松澤附記】昨夜の自由外出で就眠が遅れ、今朝亦雨で外出出来ないとなると皆起き遅るも無理はなからうが困る又今朝の食事があまり進まぬ所を見ると昨夜は外出して相當喰べたのでは無からうか之も反省して貰はなければならぬ。

午前九時半一中の體操場で先づ自由外出の注意から始めて一締め締めてダレない様氣をつけて貰ふ。體重計量、順天堂行(之は日曜で失敗)今日の豫定等常の如くに注意する  
午前の體操、遅組の者から一人づつ交代で他人を指導する事の練習を開始した。これも相當やる様になつてゐる、や

はり年功は争はれないもので流石に前回のオリンピックで體操をやつた経験のあるものの身體は柔い。若いものの方が柔軟でありさうでさうでない。こうして實例を見ると體操で身體が剛になると云ふ様な反對はどうしても出来ない。(もつとも體操の種類に依つてはどうか分らぬが)今度の合宿ではまだ體操の上手下手があつてはつきりして居るが皆が體操して居るのを見て居ると今年のベスト・テンの順位で體操の點がつけられる様に考へられる。どうしても偶然の一致は無く、基本體操が水泳の補助運動の必要さを物語つて居るのであらう。

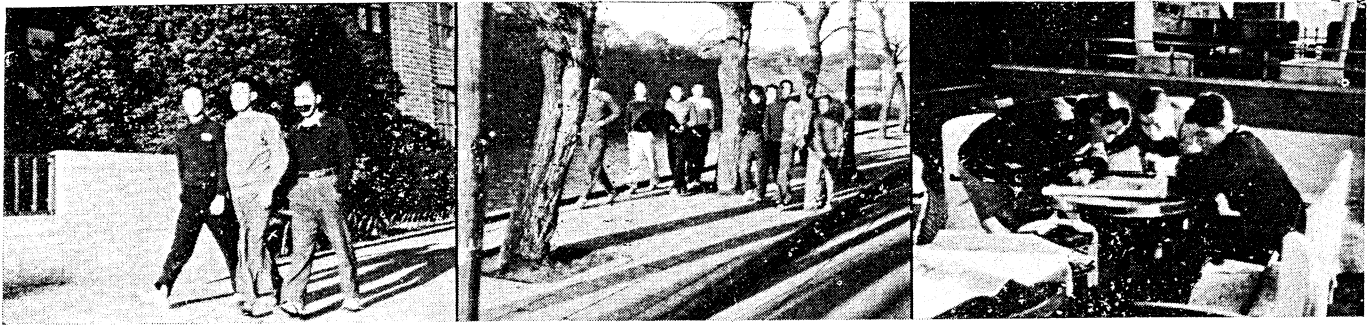
プールの練習、健康診断を受ける都合上組分けを變へる今日からウォーム・アップの際は體操でも相當やつて来て居るのであるから始めは出来るだけゆつくり、終りは相當調子をあげて次のミツテルに備へる様に又ミツテルは今迄よりは手を強く搔く事を要求した。プールは今日も完全にスチームが来て氣温水温かなり高く快く練習出来た、又昨夜バタ足練習用の浮具として玩具のゴムボールを買つて来たので今迄プールの縁につかまつてバタ足やつて居たのを(クロール)移動しながらやる様に變へた。此で餘程足の練習も辛さを増して来るだらう。

	ウオーム アップ	練習調 (稍強)	蹴練習	ダツ シユ	
早組	背	200	200	200	25m クール ダウン
	長	200	600	4分	クール ダウン
遅組	短	200	200	5分(ボール)	〃
	平	200	400	3分	〃

午前練習後體重計量、午食洋食、魚に飽きた連中には評判よろし。

午後の練習、體操は指導をやる點に重きを置いた。31日に柳田が來られなくなる虞れある爲もある。プールの練習も相當スピーディーに進んだ。距離が短くなつて手に力が入つて来た爲だらう、皆の泳にガタつきが少なくなつた。

	ウオーム アップ	練習調	蹴練習	ロング
早組	平	200	200	5分間 200
	短	200	200	5分 400
遅組	背	200	200	5分 400
	長	200	200	6分 800



何と云つても即成的であるので急に手に力を入れると肩が堅くなる、それをコンペンセートする爲にやはり緩徐調も必要になつて来る。午後はプールに日が射して来た、久しぶりの天気だ嬉しい。

夜の日課は松澤自身で水泳講話をやつた。どうしてもこれから手の掻き方を直さなくてはならないので、その基礎となるべき水泳運動の進行原理と云ふ様なものを手、足に就き各ストロークに互つて述べた。が根上の記述にもある様いろいろな質問が出て愉快だつた。四年前にも同じ事を話したのだが、その時は何の反響も無かつたのだが、今は質問が出るだけでも大進歩だ。

講義に先立つて、

1. 正月元旦の相談、午前七時三十分、明治神宮社務所集合、正式参拜することを決議
2. 東京日日新聞のトーキーニュース撮影許可
3. 大晦日外泊の希望者あり、それが建前でない事を一應注意を促し必要なるものには31日夜の外泊を許可することにした。
4. 食堂の習慣に依る三ケ日朝食は雑煮の件、それでよいと皆賛成した。終日渡邊寛次郎君手傳ひに来てくれる。又新井の親戚に重病入あり、心配な事だらう。練習への影響も心配だ。

十二月三十日 (月) 快晴 暖し

河津憲太郎及109號室員記

平常の通り、一中の雨天體操場でバスケットボールらしい一種のゲームにより、九時半頃より今日一日の練習が始まる。何時の間にか二つに分けられたそのメンバーが長距離軍と背泳軍、短距離軍と平泳に組合はせられてゐた。これは順天堂への體力調査のために斯うなつてしまつたらしい。

朝の練習より歸るや、僕等の室員は順天堂を豫期して平常より二十分餘りも早く、若いのばかりのせいもあるが、少しあせり氣味で下の食堂へ馳け降りた。

三十分の後、僕等は長距離の人達と、順天堂第二内科の便所で小便の入つた、小さなジョツキの様なものを片手に持つてゐた。皆さすがに自分の體力が氣になるらしく、互ひに厚紙の表を見せ合つて、失望したり、驚かされたり、得意がたりしてゐる。色々の病名らしいものが、獨逸文で細かに書かれてあるのを見るにつけ、自分達の語學の力

を疑はずには居られなかつた。午後二時半遅れ走せながら一中のプール附近にタクシーを止めた。柳田氏指導の下に體操を少々、又例のバスケットとラグビーの様なゲームを二十分位、やがて冷たい水に身體を浸す。ミツテルとかロングとか云つても自分には未ばそれらの泳ぎわけはむづかしい。水を飲まないで空氣を呼吸しようともがく状態から前へ進まうとする状態へ進化しつつある。ほんの二、三ヶ月前までは、どんな廣いプールの中でも自由に泳ぎ廻つた自分が、斯の様な短期間に今の様な有様に變るとは！ これも生物學上の適應と云ふものの類かも知れない。

五時前、神祕的と云ひたい程、美しくあかねした積雲の一群を右に、靖國神社前の坂道を快よく身體をふらつかせながら、合宿所への歸途をたどる。

一日のトレーニングを終へ、唯残るものは最も楽しい夕食ばかりだ(109號室一員)

午後六時半を合圖に1號室に夜の課業を目指して集ふ。選手ばかりがグループになつて笑ひ興じてゐる。やがて松澤さんの御入來と共に静まり、皆顔をむける。まもなくマツサージの先生が來られる。皆大分静かになる。マツサージの講習も進めらる。一生懸命講義を聞きつつ視線を集中してゐると、その時、

「杉浦さん御面會人ですよ」

と室外で女中の聲がする。

「おい、穴熊、面會人だぞ、うんと頑張つて來い」

と云つてドツと皆んなが笑ふ。戸を開けて出ようとする「穴にもぐつちやエ」と部屋の一人、

「何言つてやがる、ゴバンめ」と捨て科白で應酬し出て行く。ソウトウなもんだ、一同又大笑ひで、又再び講義を聞く。時々目のくらむ如き光を發して必死で汗を流しながら窓にまたがつて變な格好で寫眞を撮つてゐる體操の柳田先生、良い場面をおさめようと部屋中廻り歩いて居る松澤さん。「いたいいたいこら痛いぞ」とわめく聲。これが夜の課業の一狀景である。(以上同室一員)

温い床で夢うつつになつてゐる時、先づ鶴さんの聲で、かすかに眠りを破られるが、又寢てしまふらしい。それから……大分時間が経つた頃(自分にはなんと心持の良い時間だらう)、

「おい、いい加減に起きて、外を散歩してこい」

と再度まどらかな夢を破られてしまつた。

隣りに床をならべてゐる清川氏も、なかなか起きられそ



うもない様子だ。無理もない、今日で合宿生活も五日目だ。疲れも本格的で骨迄浸み込んである。だが疲れたと云ふものの、河童生活五日も経てば、毎日の日課にも慣れて、身体の調子も回復し、自分のものになつた様な気がする。合宿入りする前は大いに張りきつてゐたが、いざ練習を始めて見るとなかなか思ふように動かない。體の方々が痛いと言ふ具合だつたが、昨日あたりから段々と水に慣れて泳ぎも、どうやら直して行ける様になつた。

大分泳ぎについては一同真剣に考へ、議論してゐるやうだ。シーズン始めが何んと云つても大切だ。それに泳ぎについて先入観念の様に、前の調子が頭の中に在る所に、身體は休まされてゐた譯であるから、始めからスムーズな水に乗つた泳ぎが出来ないのは、もつともな話した。

だが此時にあつて、あせつたり、無理をしたりして、反つて調子や自信をこわすような事は考へるものだ。どこまでも研究的に如何にして以前の調子、又ひいては更に良い調子を見出して泳ぎを直して行くかと云ふ方法を見出すことが大切だと思ふ。

であるから、選手自身も大いに考へ、又互に研究し合ふ事は大切だ。合宿生活五日目にしてかく考へる次第である  
(河津記)

**【松澤附記】** 氣持のよい朝、久し振りに朗な朝、

田端腹痛にて休泳、食事も牛乳トースト、それでも泳ぐと云つて聞かないのをやつとやめさせる。練習前の注意事項に各室毎に次の調査を命じた。

1. 31日夜外泊者數、人名、行先
2. 元日に會館より明治神宮を参拜するもの數
3. 元日明治神宮にて解散希望者數
4. 元日食事を會館でとるもの數

そして31日夜の外出は午後十時限り、元日の夜の外出は午後9.30限りなる事を運達した。

午前のプール練習、順天堂行きが昨日無駄となつたので今日も亦順序同じとなる、

	ウオーム アツプ	練習調(強 きもの)	蹴練習	クール ダウン	
早組	背	200	200	5分	任意
	長	200	40	6分	任意
遅組	短	200	200	5分	任意
	平	200	300	6分	任意

晝には背泳、長距離の人達、及残つてるもの全部順天堂にやつた(清川、河津、吉田、兒島、谷口、寺田、田端、根上、本田、鶴藤、石原田、平野、堀)大便検査の道具を貰つて来る、これが一仕事だ。

午後の練習、體操は種目を増やさず今迄の範囲内のものをよく呑み込んで指導をやる事を専らに今日のプログラムとした。プールに於ける練習はミツテルを相當強くやる様にしたのはよいが、今迄大體頭を並べて泳いで居たものが、ひどく段がつき始めた、昨日に引續きウオームアツプは終りを強く尻上りにもつて来ること、ミツテルは寧ろ始めを飛ばし、疲れたら終りはどうなつてもよいから、始めを強く掻く事を恐れるなど云ふ方針で進む。少しでも手を掻く練習をしたいのだ。昨夜の話で議論はどの位呑み込めたか知らぬが今日のプールの練習には相當反映して居つて手を氣にするものが多くなり出した。けれどもまだあまり矯正を急がず強くする方を先にして矯正は講義の進むにつれ徐々にやる事とした。

	ウオーム アツプ	練習 調	蹴練習	掻練習	クール ダウン	
早組	平	200	40	6分	50m	任意
	短	200	400	6分	レッグ レス 25m×2	任意
遅組	長	200	800	7分	—	任意
	背	200	400	6分	—	任意

午後にはミツテルを強くするだけでも足りず終にその練習も始めた。

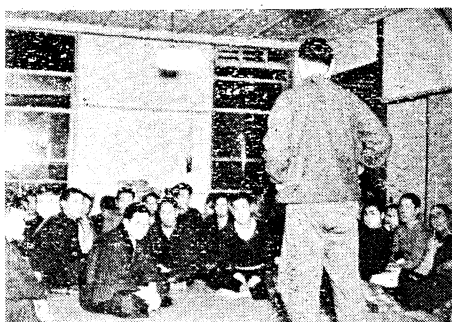
夜の日課、114號室に開催、金子博士マツサージ實地講習で今日で完結する事にした。今夜は下肢各部の筋、肩各部の筋、殊に水泳に必要なものを一々實地に示し、輕擦強擦、揉捏等の實際的方法を見て各自に練習し、冗談はやり乍らも熱心にやつて居つた。三回に渡つた此の講習は非常に有益であつたと思ふ。

講義開始前、検査に要する便のとり方を教へ、大晦日、元旦に関する各調査數を確め、尚元旦が來ても浮かぬ様頼んだ。外泊する者はほんの數名だ。

十二月三十一日(月)半晴 暖し、夕方驟雨あり

106號室、平野、長谷川、宮崎等記

松澤さんの「起きろ越きろ」の聲はきまつて七時だ。たまに一時間位おくれなかなあと、いつでも思ふが、今朝のねむかつたことは話しにならぬ。でも今夜外出できると



松澤コーチ夜の講話



金子博士のマツサージ講習



マツサージ實習

思ふとうれしい。皆張りきつてゐる。

今日午前は平泳と自由形の短かいのが先で、背泳と長いのが後だった。朝の体操の時、松澤さんから外泊する人の名と外出の注意があつた。外泊する人は、志村、河津、石原田の三人。

午後の練習は二時半から、一中の雨天体操場に集合。今日柳田さんが休まれたので、選手達が出て体操をした。水泳練習は午前と反対に長いのが先だった。練習から歸つたら、皆外出の用意をして夕食を待つてゐた。夕食は五時十五分と聞いて、みんなげつそりだ。早い連中は未だ夕食が出来てないのに食堂に行つて待つてゐた。夜は思ひ思ひに外出し、外泊しない者は皆十時頃に歸つて来た。

朝、WCは大洪水。昨日順天堂病院から試験管を清川さんが持つて来た。どうするかと思つたら貴重品を取つて呉れと。皆んないやがる事。その爲に便所がつかまつたらしい。誰か大ぐらひ、大くそたれの仕業らしい。掃除番のおばあさんが、係長をつかまへて曰くには、

「ほんとに困りますね、これで二回目ですよ、今日は休みなのに引張り出されて、皆にも注意してなんとかして下さいよ。またよくこんなにたれたね」

と。僕は思ひあたる人があるが、その人のなんとかにかかはるから書くのは止そう。午後の体操の時おくれたのが二人。葉室君と五十嵐君。二人とも碁の名人になるらしい。一寸の休みでもパチリ、パチリ松澤さん曰くには「彼等を××に處すべし」(106.7室の一員)

【松澤附記】 穏かな大晦日である。軍人会館に居て選手諸君と暮して居ると何故電車や圓タクがあんなに一生懸命に九段坂を駆け上つて行くのか變な氣持になる。呑氣と云へば呑氣な大晦日ではある。

朝も暖く穏か、皆を督勵して朝の散歩に出させる。田端がミルク・トーストで窮命して居る外は、皆は遠の文化生活が祟つて咽喉を冒され、ああ馬小屋の側の家の方がよいと悲鳴をあげる程度、選手達の身も至極好調子此の方も穏かな大晦日であつた。便所のゴールド・ラッシュは別項の通り、便を採る注意の時にパイプをつめない様にと注意したのだがとうとうやつて終つた。

昭和十年最終の練習、午前の体操は柳田に指導を主としてやつて貰ひ、プールは齋藤に一任して自分は体操についた。皆相當やる様になつた。プールの日程

ウォームアップ 練習調 蹴練習 掻練習 クールダウン

早組	短	200	200	7分	25m×2	任意
	平	200	300	7分	50m	任意
遅組	背	200	200	7分	ロング	任意
	長	200	400	8分	100m	任意

尚今朝の注意事項には日常生活の外に、練習中の入浴回数を一回でも減ずる様頼んだ、伯林へ備へるのだ、今年の最終練習に一段と緊張を望んだ。

晝の時間に齋藤が検査用の便を取りまとめ、順天堂に運び、同時に來年早々東博士に話をして貰ふ約束をして來た

午後の練習、柳田所用の爲不在、松澤監督して体操をやらせた。プールは専ら齋藤が一人で前半をやつた。体操は兩組共習ひ覺えた一つのシリーズを一人で二種目づつ交代して指導、二回繰り返し、メデインボールを約10分、バスケットボール約1分宛やつて各組共時間は約5分宛であつた。プールの練習

ウォームアップ 練習調 蹴練習 ロング

早組	長	200	600	8分	100	
	背	200	200	7分	100	
遅組	平	200	400	7分	50m	平のみ
	短	200	200	7分	50m	バタフライ 25m ライ クールダウン

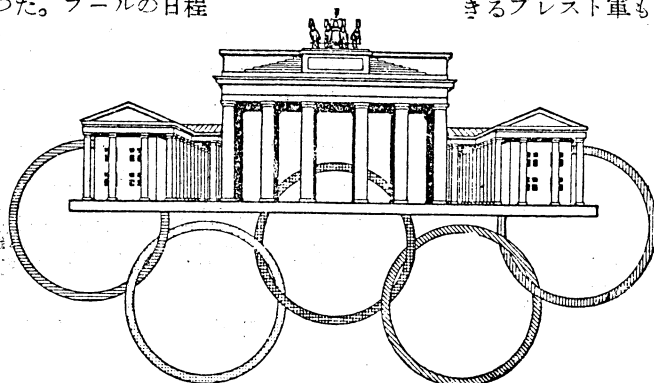
バタフライだけ今日は餘分にやつた。勿論相當伯林の爲には備へ様と思ふのだが、現在では手を搔く練習の意味で用ひ度い。こればかりの練習で五時近くまでかかつて終つた、選手達の泳は急速に恢復して來て居る。水に慣れるや水泳の運動に力を入れる様にする事はどうやら豫定の所まで達して前半は一先づ済んだ様に思ふ、元旦を休んで愈第三期の本舞臺に入る事が出來ると考へる。

今日は夜の日課なく外出も自由、歸舎時間もいつもより遅い、大いに喜んで出て行つた。外泊する者はその後少し増したが己むを得ない事情の者も加へ全部で六名であつたその他の者も正しく指定時間通り歸つて來た。

昭和十一年一月一日(水) 晴後半晴

伊藤三郎記

朝が來た。昭和十一年の朝だ! 何時もはどんじりに起きるプレスト軍も、今朝はイの一番に床を抜け出した。鶴



ベルリン・オリムピアドのマーク

ベルリンのブランデンブルク凱旋

門に五輪環を配す。

さんを反対に起した位だから物凄しい。「ああ今日が正月か。何の感激も起らない」とこぼしてゐた奴も居たが、一旦、外氣にふれると矢張り正月らしい。

一同、さわやかな朝霧の中を明治神宮の社務所に着き、スターになり、(この頃我々の間に、寫眞を撮られることをスターになると稱す)手を清めて、いよいよ参拜、隊伍堂々と参道を社殿に至る。誰れも今日は善男である。朝霧に濕つた玉砂利を踏みしめながら拜殿に入る。入る前に神官のおはらひを受け、なほ一步すすんで拜殿に入った。美しく掃き清められた玉砂利に新春の太陽を受け、神々しきまでに輝いてゐる。選手一同清川君の拍手と共に、259年の武運長久と我が水上日本を代表する大精神を祈願した。

参拜後は各自思ひ思ひの所に出かけたが、何んとなく皆んなの顔もほがらかだ。體操の苦しみも、練習のくるしさも消飛んでしまつてゐた。合宿に於ける朝食も餅の四つや五つ食つても、何處へ入つたか解らぬ程元氣だ。

今日一日は皆の魂もうんと浮かれた事だらう。

【松澤附記】元旦起床午前六時三十分、日課は朝食前に明治神宮に参拜する事だ。明治神宮では忙しい中を元旦の御祭りが済むと直ぐに正式参拜を許して下さつた。合宿参加者全員遅参者なく拜殿に参進、役員代表松澤、候補者代表清川で正式参拜を無事済ませた。

茲に改めて第十一回オリムピアードに入る年の始に際して皆の覺悟を新にした、總て氣持よかつた。

會館に歸つて御難煮を祝ふものも多かつた。今日は午後九時まで終日自由行動、昨日に引續いて晴れた穏かな新年を樂んだ事だつたらう。だが伯林の事を考へる時、今年の御正月は八月まで御預けた。

### 一月二日(木) 小雨後曇 初練習

牧野正藏記

昨日は練習が休みだつたので一同外出す。新しき年を迎へて皆はりきつて遊び廻つた事と見えて、今朝の起床はたいぶん遅かつた。皆んな正月に遊んで來た夢でも見ながら寝てゐた所に例の起きる起きるの聲がして、一瞬にして、たのしき夢は破られた。

朝食前に散歩に出るのが例であつたが、今日だけは起床が遅れたのと、皆が疲れてゐたものが餘り出た人はなかつた様だつた。

八時に朝食。中學生の連中はよく食べる、元氣なものだ。練習も大いに中學生を苦しめてやつても良いと思ふ。あの様に食べてから腹をこわすものがあるのも無理がないと思ふ。食後室に入つてふとんを出して寝てゐる者が多かつた。昨日遊んだ故だらう。

練習も相變らずがつちり始めた。無事午前午後の練習を終へて夕食につく。伊藤三郎君バスケットボールで目を傷して練習休む、又山口君も病氣して休む。志村君は今日より家事上の問題で合宿を引上げて歸宅す。夜は松澤氏のストロークの要素について話あり。

【松澤附記】元旦をただ一日降り残して又雨、妙なお正月だ。そのせいもあるし、軍人會館の暖房が身體に合はないのが、大分にのどを痛めて居る人が續出して來た。田口山口、齋藤巍洋等がそれだ、かうなると文化生活もよし悪しだ。

愈々今日が練習始め、心配して居たプールのボイラーも元氣に初だきをして練習には事缺かない。但しプールの水は少し冷いらしい。

午前の練習前に注意を喚起した。

1. 昭和十一年の初練習に身を入れて貰ふ事
2. 休み明けの身體のだるさを氣をつけること
3. 體操も前週中はやり方を習ふに忙しかつたが、今週からはそれを使つて實際に鍛える事をやる様に宣言

午前は練習前の體操を多くしてプールの水の冷いのに備へたのはよいが、その爲に午前の練習がひどく遅れて終つた。終了12時10分、水泳の方も愈々第三期の本練習に入らうと云ふのだがプールが早く暖かにならぬと思ふ様にならぬ、スケジュールも思つてた通りは仲々出來なくて歪んだものばかりやらざるを得ないのは残念だ。第二週前半の組合せを又變へた。

	ウォームアップ	ロング	蹴練習	クールダウン
早組	短 200	400	5分	100
	背 200	400	5分	100
遅組	平 200	400	3分	100
	長 200	400	5分	100

午後の練習は早遅を入れ換へずこのままにして食事との調整を計る、僕等は休む間もなく午後の練習が始まる。體操も宣言通り相當猛烈なものになつて來て、徒手の外に組合せ、肋木、メデインボールなどやる、水泳體操なんか覺えると十分位で出來て終ふから、これも相當の運動の分量がとれる。午後のプールの練習

	ウォームアップ	練習調	蹴練習	ロング
早組	背 200	400	5分	200
	短 200	400	5分	200
遅組	長 200	600	5分	200
	平 200	600	5分	200

開始 2.30pm. 終了 4.20. pool内氣温14°C 水温は午後になつて19度近くまで上つた。プール參觀者、名古屋から西本龍三、根來、渡邊延、早大の横山、延東の諸氏。

夜の日課は松澤の水泳講話、水泳の要素の話、メカニクス、生理的、心理的、精神的の諸問題を捕へて説明した要點はメカニクスをしやべりたかつたのだけれどもそこまで進まなかつた。従つて選手の心にあまり觸れる様な問題も起らなかつた。終つて午後十時には皆キチンと消燈した。昨日一日の休が却つて練習には應へたらしい。

### 一月三日(金) 元始祭 曇後晴 夕刻驟雨あり

114號室新井、石田等記



今朝も鶴さんが僕等の部屋に起しに来た。何時も僕等の部屋に一番早く起しに来る。昨日雨が降つたので散歩しなかつたと見えて、今朝松澤さんが来たかと思ふと「お天気が好いから早く起きろ」と、すると中學生の氣のきいた奴が返事をして「今起きます」と言つて松澤さんを歸して、又寝てしまふ。それでも早い連中は、起きて散歩に出て行つた。僕等の室には中學生が多いので、非常に面白い。

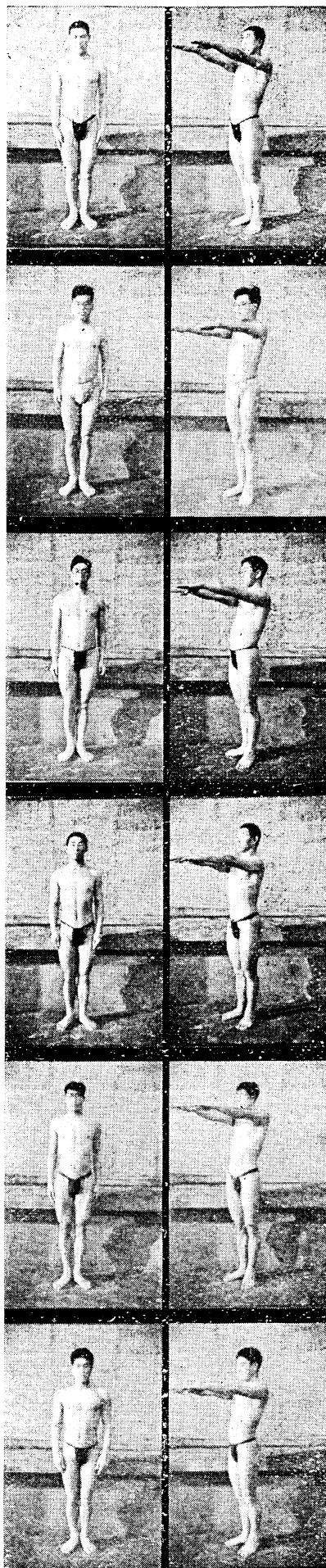
朝晩非常に笑はせられる。中學生の時代がなつかしい。その中でも杉浦君と新井君の名コンビ二人がとても名言を發する。そのなかに時々堀君が口が出して笑はしてくれるおかげ様で僕達はずかれが一時にぬける有様である。この様な面白い合宿は、かえつて能率が上ることだらう。起きて一時間ほどして朝食になつてゐるが、今朝は起るのが遅かつたので起きてすぐ食堂に行つた。それでも早い連中は食堂へ来て居り、早いところ御雑煮を二三ばいやつた後らしかつた。僕は運が悪く後の方に腰をおろしたので、なかなかモチが廻つて來ない。こちらに來るものが途中にカットされてしまふし先づさきの者が滿腹になつてひき上げた後で、やつと廻つて來た。他人のたべるのを見て待つてゐるのはつらいものである。おかげさまで非常に空腹になり、その後僕達は落つてたべた。(114號室一員)

今日はお正月の第三日。外は暖かく、114號室から見えるお濠の水も温かさうだ。おしどりがつれて泳いでゐる。風もなく、おしどりが進むにつれて、波紋は段々大きくなつて、その波紋は遂に聯隊側の方へ達し、もう一方はこちらの岸に達した。のどかな春の日だとても言ふのだらう。

外は高島田と言ふのだらう、きらびやかに着飾つた娘が澤山通る。新しい羽織を着た若い衆が通る。皆楽しいお正月の一日を享樂せんとしてか、皆その顔はほころんでゐる。九段を上へ、下へ、靖國神社の境内へ進む人は随分とゐる。兩親につれられ軍服を着たりツトル軍人がある。羽根が作られたフワフワしたえり巻をした子供もゐる。護國の鬼と化した皇軍の士をなぐさむべく、良き日の一刻を詣てることはうらはしいことだ。

ここに眠る皇國の士はお正月もなく、君國の爲め滿洲の曠野に戦つた人の御魂だ。滿洲は寒い。そこで只日本の爲と思ひながら戦つた人のことを思ふと、こうした安らかなノドかなお正月を送ることのできるのには、こうした士のためであることを感じる。道こそ違へ、皇國の名譽をかけて泳ぐ我々も、もつともつと眞剣に泳ぎたいものだ。滿洲に眠つた兵士位に一生懸命にやつたなら必ず敗れることはあるまい。外に着飾つて人々が流れあるいてゐても、吾々には吾々の使命がある。この使命をはたさずに我々に春はない。オリンピックに再度の制覇をなした時にはじめて春が來るのだ。務めよ、合宿の諸君、研磨せよ、朝れた日の靖國神社の大村益次郎の銅像を見ながら感ず。(114號一員)

【松澤附記】もう合宿も後幾日も無いし此の時機にしっかりとやらなければと選手諸君にもだれない様に注意する。



### 新井 茂雄

大正五、八、八生  
静岡縣田方郡西浦村、  
濱農蠶出、立大豫科一  
1.71m 70.1kg  
趣味、散歩、音楽

### 井上 茂

大正四、五、十八生  
佐賀縣佐賀郡本庄村  
佐賀中出、國學院大學  
1.71m 69.4kg  
趣味、音楽

### 五十嵐伊市郎

大正二、三、廿九生、  
山形縣湯野濱温泉  
酒田商出、早大專二  
1.71m 6.94kg  
趣味、散歩

### 長谷川卯佐美

大正四、五、卅生  
廣島市大手町八丁目  
修道中出  
高松高商豫一  
1.63m 6.42kg  
趣味、運動、讀書(但英書)

### 田口 正治

大正五、一月元旦  
京都府與謝郡宮津町  
宮津商出、立大豫三  
1.73m 66.8kg  
趣味、登山

### 鶴岡 榮

大正四、四、廿二日生  
千葉縣長生郡一ノ宮町  
大多喜中出、立大  
1.63m 68.3kg  
趣味、將棋、映畫

プールに於ける練習をもつと充分にしなければならず體操の方の能率を擧げて、短時間に必要なだけの運動をやつて貰ふ様にする。

午前の練習、體操はほんの身體を温める程度で補助本運動の方を一シリーズやつただけで早組の方をプールにやる。プールの練習は午前も午後も相當に量を増した。

	ウオーム アップ	練習調	蹴練習	クール ダウン
早組	平	200	400	5分 + 100
	長	200	400	6分 + 200
遅組	短	200	200	5分 + 200
	背	200	200	5分 + 200

早組 開始午前10時5分、終了午前10時47分

遅組 開始午前10時47分、終了午前11時24分

選手諸君の練習規律がよほど板について来たので所要時間はさう大してかゝらないで、かなり力の入った泳が出来て来るやうになつて来た。かうなるとプールも大きなもので距離も長く泳ぎ度くなる。たゞ昨夜から志村と云ふ賑やかな人が居なくなつて何となく物足らなくなつて居る上に、咽喉を害した人が續出大分に缺席が多くなつた。平泳では伊藤三(外傷)、山口(風邪)、長距離では本田(風邪多少發熱)、新聞(事故)、短距離、田口(風邪)等の缺員の爲めいつも二組となる種目群が一組でどんどん済んだせいもあるが、いつもよりは早く済んだのであるが、日課から云へば之で丁度よいのであらう。いつもは人が多過ぎると云ふ結論になる。朝からの曇天が午前練習中に薄日も射す様になつて晝に歸館する頃には全く新春らしいよい御天氣になつた。

今朝は金子博士の見學あり、晝の休憩時間に兒島(背泳)を診て頂いた所背中筋の左右の發達の度が著しく違つて居る事が解り、泳いで居る時に何となく變だつた理由も解つた。その矯正の體操も指示して頂く。

午後の練習、體操にもよほど力が入る様になつたし、説明に時間をとらないから分量も多くなつた。皆フウフウ云ふ位にやつて呉れる。新しい人達の肩や腰が目立つて柔軟になつて来たのを感じる。プールの方の練習では更に又事故の爲牧野が缺席、順序を間違へて背泳短距離組を先にやつて終つた。

	ウオーム アップ	練習調	蹴練習	揺練習	ロング	
早組	背	200	200	5分	—	200
	短	200	200	5分	レッグ レス 50	200
遅組	長	200	400	8分	レッグ レス 50	200
	平	200	200	6分	〃 50	200

何分にも缺席者多く終了が午後四時八分と云ふ近來に近いテンポであつた。練習調にずつと力を入れさせて見たが泳法が荒れてしまつてまだ本當で無い。あまり強いのは考へものだ。平泳で柳澤が非常によくなり、自由形では堀が見直して来た。

夕食後の日課は松澤の水泳講話とし競泳々法のメカニクスとも云ふべきものを述べた。これで一通り各泳法の根

本原理は聞いて貰つた譯だから、プールでの説明は實際的の缺點指摘だけで済む事になり、一々理由を述べる必要が無くなるから助かる。

夕食前NSRより根來君來りオリンピック旅程の事を心配して居つたが、時間も無いので明晩相談する事とした。夕食後、小池以下慶應の5名と鶴藤との外出を許した。

一月四日(土) 快晴 稍寒くなる——〇號室

兒島、吉田等記

毎日の事ながら鶴さんに呼び起される。起して廻る鶴さんも辛からう。その氣持は良くわかるが、起される方も生身を削られる思ひで床を出る。

午前九時、練習場へ出發の前に、軍人會館の玄関前で、一同揃つて記念撮影をする。柳田、松澤兩カメラマン盛んに活躍してくれる。

本田君は二日前から風邪で、田端君は石垣の所で不慮の厄に遇ひ、負傷して共に練習を中止した。

ジムナジウムでの體操は一同要領を呑み込んだので、量に於ても質に於ても、合宿開始當時に較べると格段の進歩の跡が見うけられる。此處では、何と言つても、ギツチャンこと柳田先生が人氣の中心だ。あのフライツピンまがひの顔を、目を細くしてニコニコしながら、それでも體操だけはシボルシボル、『手の水平運動。五十回、初めツ』と來る。

『イ、トコ崩元氣で行こうぜ』と人氣もあるが、怨まれることも一番だ。キツト一人位は初夢で、ギツチャンをプールの中に叩き込んで、ギューギュー云おせた夢を見たのもあらう。

體操で身體を温めてからプールで練習。既に大分調子を出してあるものもあるが。中には根本から泳ぎの改良を企て、その途にある者もある。兩監督の目は萬遍なく注がれてゐる。

晝食後、少時休息を取り、早番の組は一時半から遅番の者は二時半から、再び體操、練習を繰り返す。

夕食後、今日は自由外出だ。各自思ひ思ひの所へ飛んで行く。地方から來た若い者は、この時ぞ、とばかりに映畫を見に食堂から一路南明座へ。

別動隊は柳田氏を初めとし、清川、河津、遊佐、葉室田口、伊藤、市野、柳澤の連中、柳田氏に案内せられて、先のオリンピックで色々御世話になつた、市ヶ谷見附脇のダーギン氏の御宅を訪問する。

海外遠征の場合に、風俗、習慣の相違からうける精神的ハンデイキャツプが我々に重大な影響を與へることは、既に先輩の經驗に徴して明らかであるので、常に機會を見つけて、外人に接觸して之に慣れると云ふ事は、我々に取つて必要だと思つたからである。ダーギン夫妻並に息子さんのボブズイ君とお嬢さんのヘレンさんが心から我々を歡待してくれた。又丁度世界一週の途上にあるブリアンと云ふアメリカ人達三人も居合せて、一同言葉は不充分乍らも

團樂のうちに、夜を過したことは大いに意義があつたと思ふ。

十時歸館して寝につく (百十號室一員)

【松澤 記】 午前七時少し前起きると快晴が豫約された空だ。昨日よりは寒さがきびしいが氣持がよい。窓の向ひは御藻の土手の芝草だが、霜を帯びてそれに朝日が薄紅く染まつて我々に挨拶する。得も云はれぬ心持だ、皆を起して元氣よく散歩に出してやる。今朝は皆御天氣の如く朗かに歩きに出たらしい、このお正月の様に變な御天氣が續くのではこうした快晴の日が續くかどうかも分らず 柳田 齋藤と相談して此のチャンスを見逃さず記念撮影を試みようとする。練習情況は皆が書いて呉れた日記の通りだ。

午前の練習、體操は補助運動の本運動とその豫備運動共に殆ど完了し、矯正効果を擧げる爲に肋木を用ひるものも可成り多く加へられて居る、一様に揃つて見て居つても氣持がよい、午前の水泳練習次の如し。

	ウォームアップ	練習調	蹴練習	ロング
早組	短	200	360	5分 100
	背	200	200	5分 100
遅組	平	200	400	5分 100
	長	200	600	6分 100

缺席者は大分に多い、短距離、井上(風邪)、平泳、伊藤(外傷)、長距離、田端(外傷)、石原田(風邪頭痛)、本田(風邪發熱) 風邪の多いのはインフルエンザのせい、軍人會館の暖房が我々の身體に不慣れのせいとてかく室内が乾燥勝ちになる爲か、恐らく兩方の故であらうが、これが若し競技會の爲の合宿だつたとしたら、これだけの缺席者を出したとしたら、大失敗であつたと慄然とする。

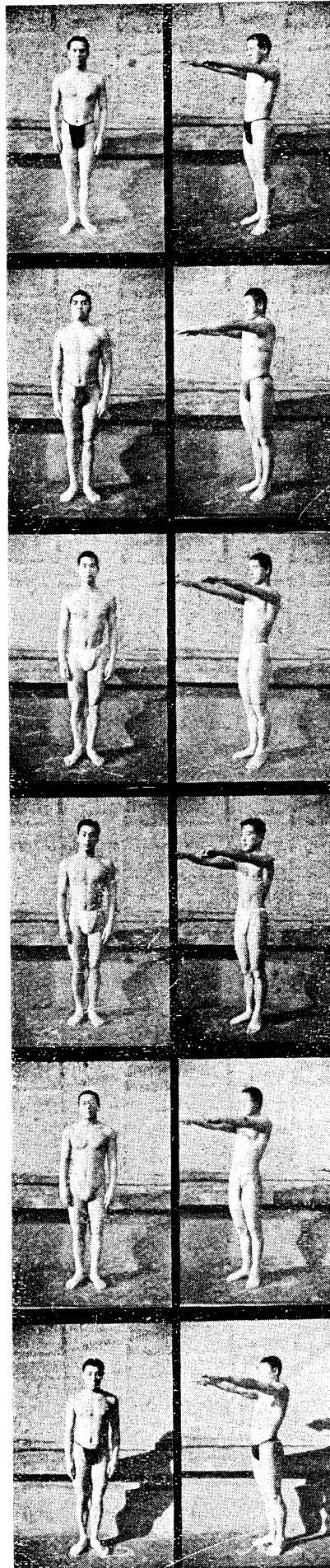
晝食後東博士よりの要求で遊佐と兒島を順天堂に診察にやる。暮に體協専務理事大島閣下の奥さんが亡くなられ、その告別式がある。この合宿に就ては大島閣下の御助力に與つた事も多いので、選手總代として、午後の遅組の連中の内から皆とも相談して根上を選び、松澤と共に御詣りに行く。

午後の練習、體操は組合せ運動を更に加へて説明にかなり時間がかつた、プールの練習

	ウォームアップ	練習調	蹴練習	揺練習	ロング	
早組	背	200	200	5分	50m×2	200
	短	200	200	5分	レッグレス 50m×2	200
遅組	長	200	400	7分	レッグレス 50m×2	200
	平	200	300	5分	50m+ バタフライ 2m	200

午後水温24℃

終りのロングはクーリング・ダウンの代りでもあるが、同時に自分の泳法を改造しようとする人が、平常の練習時間ではミツテルでやつても尙且練習時間の關係で落付いてやれないので、近頃は缺席する人が割合に多く、それに練習も手つとり速く終了するので特に終りに自由に泳げる様



石田 賢一

大正八、八、廿五生  
愛知縣海部郡佐織村  
津島中五  
1.52m 50.5kg  
趣味、運動

石原田 愿

大正四、三、廿四生  
鹿兒島縣姶良郡福山  
福山中出、明大二  
1.71m 71.3kg  
趣味、麻雀、碁

新聞 六炳

大正四、八、廿五生  
静岡市本通り三ノ十四  
静岡中出、早大一  
1.67m 60.kg  
趣味、邦樂、歌舞伎

寺 田 登

大正六、十一、廿五生  
静岡縣磐田郡福田町  
見附中出、慶大豫  
1.65m 76.9kg  
趣味、映畫、讀書、散步  
御茶、活茶

根 上 博

大正元、八、三生  
北海道後志國余市町  
余市中出、立大出  
1.70m 64.kg  
趣味、讀書、閑靜なる  
山地の徒歩旅行、音樂

牧 野 正 藏

大正四、五、十五生  
静岡縣鷲津町古見  
見附中出、早大一  
1.60m 60.kg  
趣味、音樂、映畫

に設けた時間で或者は100米位で切上げるし、あるものは400米も長く泳いだりして居つた。午後の練習の時の參觀應援者西本龍三、奥野良、根來幸成、白山源三郎夫妻の諸氏の外一般の人でも多かつた。

一月五日(日) 新年宴會 快晴

選手執筆の日記は持廻りの間違ひから、今日分だけは抜けて終つたのは残念だつた。爲に松澤記す、新井は昨夜外泊す。しかし親戚の病人も大分よくなつて愁眉を開いたとの事であるからこれから落着いて練習に身を入れる事が出来るであらう。朝の内に柳田、齋藤と相談し、昨日に續き更に研究的の寫眞をとる事の計劃を定めた。

プールに行つて見ると係員が心配さうにウロウロして居る、話を聞けば新年の休日續きて重油の初荷が動かず、プールの水を温めるボイラーが焚けないと云ふ騒ぎである。風呂の方は別に石炭で涌かして居る爲にその方は心配ないと云ふ。がいづれにしても困つた事になつた。しかし焚けないものは仕様が無いから風呂場の方だけは充分にやつて貰つて皆に我慢し泳いで貰ふ。

午前の練習、細い注意事項の後體操常の如く午前九時四十分開始、水泳の練習、午前九時五十分より午前十一時二十分まで、プール内気温11°C、プールの水温19.5°C、室内気温がいつもの温い時と一度とは違はぬが、それでもひどく寒い様な気がして練習がいぢける。

	ウオーム アツプ	練習調	蹴練習	ロング
早組	平 200	400	5分	100以上
	長 200	800	5分	〃
遅組	短 200	200	6分	〃
	背 200	200	5分	〃

晝食には末弘會長からの慰問の林檎一箱、奥さん御自身で御持参下さつたのを開いて頂く、非常においしい朝鮮林檎であつた、厚く御禮申上げる、その後體操のシリーズの寫眞を會館屋上で撮影、プールでは全員の水泳姿の寫眞を一人づつ撮つた。夏のと比較するとよい研究資料となるであらう。

午後にもプール用の重油來らず。従つてまた體操を多く水泳の方を比較的少くしなければならなくなつた、水泳の方も合宿の三期、今が一番油の乗る頃なのに油が來なければ乗りやうも無い。こんな故障で豫定が思ふ様に進まぬのは全く腹が立つ、午後のプール内の気温は快晴の爲に13°—12°C、水温は19°C、段々冷えて行くのが心細い。

	ウオーム アツプ	練習調	蹴練習	揺練習	ロング
早組	長 200	60)	7分	100m	—
	平 200	400	5分	100m	—
遅組	背 200	200	5分	50m×2	任意
	短 200	200	5分	50m×2	任意

僕も齋藤もかなり各個人の癖が覺えられる様になつて來た、そして二人で手を分けてなるだけ個人別に指導する様にやつた。

本日NSRの幹部の諸君寄贈のキャンディーを分配して好評だつた。今日は外出も出來ず、食後各室で鬱憤を晴らす聲、歌、雑音相當に一階の空氣を揺り動して居つた所へ、キャンディーの分配があり、この騒ぎが一瞬にして靜かになつたのは效顯あらたかであつた。

午後七時から夜の日課、二階の練武場で東博士のスポーツ醫專の講義と健康診斷所見を述べて貰つた。要項次の如し、

- 1、準備運動(體操等)の必要性
- 2、ウォームアツプの必要性
- 3、休息の原理
- 4、診斷所見
- 5、今後の練習に對する注意

終つて各自に質問を許したら熱心の餘り珍問續出非常に有益であつた。その後スポーツマッサージ氏、淺見君が弟子諸君と共に年始に來られ、各室を廻つて一週りマッサージをして呉れ、疲れたり、體操で身體を痛くして居るもの等は大助かりであつた、しかしその爲に就眠時間は一時間近くも遅れて終つた。合宿も愈々多事、忙しくて飽く事を覺えぬ。

一月六日(月) 晴天 一〇室員記

相變らず、早朝から鶴さんにタタキ起される。八時に朝食。然し一同は今晚のスキ焼(末弘會長招待)の豫防に餘り食べない。

午前九時より愈々練習。昨日から重油が切れてゐるので、水温は當に十七度、到るところで悲鳴を聞く。その上、今日の練習の数は非常に多く、短距離の連中は六〇〇米も泳がされてウントへたばつてゐた。

午後の練習は長距離、背泳からはじまる。水温は相變らず低い。午後は又、末弘會長來場さる。

午後はなんとなく皆張りきつて練習す。風呂に入れば直ぐ幸樂の話が出る。今日はなんとなく朗かだ。

【松澤附記】 幸にしてお天氣は續くが気温は下る。これがあたり前だらうが、何分にもプール水温が朝から氣になる。

午前の練習、體操前の注意事項を述べる際には特に東博士の講義を補足して今後の練習に資することを強調した。プールの重油はまだ來ない、愈々困つたけれども齋藤と相談の上體操は少し長くするが、プールの練習もあまり減らす事なく、ベルリンでの悪コンディションを想起しながら頑張ることに決定した。體操の方は一シリーズをなるべく連續してやる様に重點を置いてやる、又今日から練習の組合せを變更した。プール気温10°C、水温18°C、こんな状態でもよくやつてくれた。

	ウオーム アツプ	練習調	蹴練習	クール ダウン
早組	背 200	+	400	5分 + 100m
	長 200	+	400	5分 + 100m

遅組	短	200	+	400	5分	+	100m
	平	200	+	400	5分	+	100m

體操をウンとやつた爲に終了正午頃になつた。本來ならば今日あたりが練習のマキシマムになるのであるから、相當距離も増す事を考へて居つたのだが己むを得ない。

午前の練習終つて歸る頃、重油が來荷した、選手一同歡聲を上げる。平野なんか油の汲入れの手傳ひまでして居つた、もう少しで一中へ抗議を申込み所であつた、晝の休みに又體操の寫眞を撮つた。

午後の練習、汽關室の連中も大馬力で焚いてくれたのであまり心配しないで體操もやれた。プールの気温は10°—12.5°、水温は19.5—20.5、とにかく水が温まりだしたので、皆の心配も不平も一時に解消した様だつた。

早組	體操開始	午後1時45分
	水泳開始	午後2時30分
	水泳終了	午後3時25分
遅組	體操開始	午後2時5分
	水泳開始	午後3時30分
	水泳終了	午後4時25分

	ウォームアップ	練習調(強)	蹴練習	揺練習	クールダウン	
早組	長	200	1,000m	5分	—	任意
	背	200	400m	5分	50m	任意
遅組	平	200	600	5分	バタフ50m ライ	任意
	短	200	400	5分	50m×2	任意

午後の練習に末弘會長參觀に來られる、皆緊張する。お蔭でこのマキシマムの練習に身が入つて幸であつた。練習終了後入浴し、自動車に分乗、午後5時30分、末弘會長の御招待に應じ赤坂幸樂に乗込みスキヤキの御馳走に與る。終りに臨んで會長から、豫選會ばかりを目指す様な小さな人間になつてくれるなどの訓辭あり、清川、代表として謝辭を述べ會を閉じた、會後解散して自由行動としたが多くは直に軍人會館へ歸つた。

地方へ歸る人達の出發時間の打合せも済んで、明日は午後の練習まで落着いてやれる事となつた。

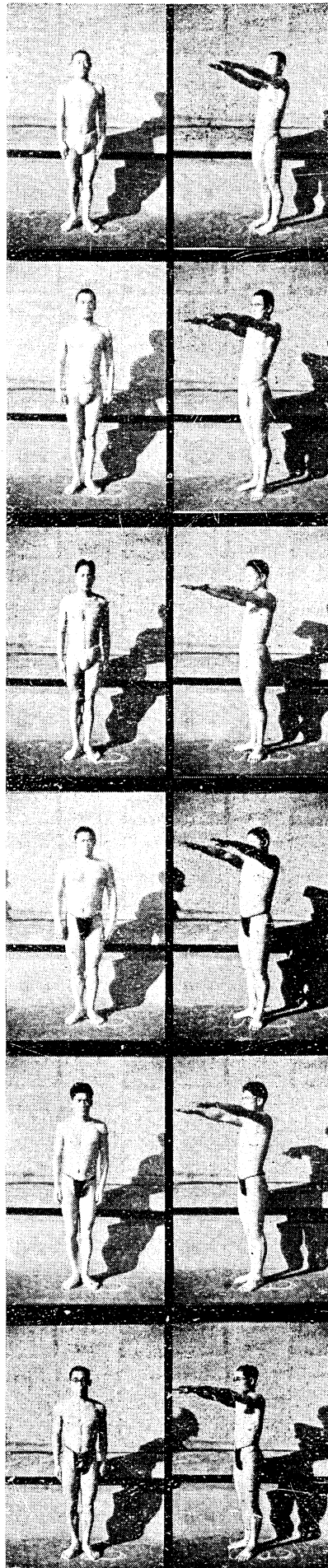
一月七日(火) 晴天

長久俊三記

昨夜のスキ焼で、少しはへたバツテあると思つてゐたのに、皆んな早く起きたらしかつた。それに何時も朝寢の僕まで早く起きたから不思議だ。

午前の體操の時、監督より三月合宿までの注意や、決意や、昨夜の會長と同意見の御披露があつた。吾々は堅い決心で練習に向つた。午前は平素よりも割合に樂であつた。午後からはレースコースの練習があり、皆相當に頑張つたらしかつた。最後の練習にふさわしく、ケリがついたと思ふが、松澤監督の言を借りるなら、合宿は依然三月まで續いてゐるのだから大いに自重を要する。

昨夜のスキ焼で、下痢氣味の者があたりして傑作だつた。愈々解散だから、みんな忙しそうに荷物の整理に取かか



片岡寛次郎

大正四 二、七生  
城東商出、早大法一  
1.65m 61.9kg  
趣味、音樂

平野亮

大正七、四、二生  
千葉縣香取郡常磐村  
日大三中、四年  
1.72m 69.0kg  
趣味、寫眞

宮崎康二

大正五、十、十五生  
静岡縣濱名郡鷺津町  
濱松一中出、慶應義塾  
1.91m 71.25kg  
趣味、園芸、音樂、映畫

遊佐正憲

大正四、十二、二十三生  
香川縣多度津町  
多度津中學出、日大二  
1.73m 67.5kg  
趣味、讀書

杉浦重雄

大正六 五、十生  
濱名郡飯田村鶴見  
見附中出、早大專一  
1.68m 66kg  
趣味、運動

堀勝美

大正六、七、十四生  
岐阜縣岐阜市君宮町  
岐阜商業出、  
1.64m 64kg  
趣味、音樂



てある。解散については特別の御話しはなかつた。僅か二週間の合宿だつたが、解散となると、なんだか名残り惜しい気がする。

【松澤附記】昨夜は宴會があつた上に種々興奮したりして遅くなつたがいつもの通り斷然起す。今朝も散歩するには氣持のよい朝だつた、皆も最後の御濠端氣分を楽しんだり、互に記念撮影などやつて居つた。朝食後齋藤と最後の日の練習計劃をたてる。

朝練習前の注意

1、昨夜のスキヤキの效果に就て

多少下痢を起して居るものもあり、よくレースの前に元氣をつけると稱してスキヤキの喰ひ過ぎ等やる例あるに鑑み一應注意す、スキヤキそのものは元氣をつけるのによい食物であるだらうが、この合宿よりももつとデリケートな身體のコンディションにあるレース直前に無茶喰ひをやつたならば必ず大なり小なりの故障を起すは必然であるから特にレース前は氣を付ける様にと云ふ意味の事を話す。

2、今後の練習上の注意

練習は八月迄では足らぬ位であると云ふ事は先夜の東博士の言葉にもあつたが、之を補ふにはただ毎日の練習、特に第一回合宿終了後自分の家に於ける毎日の練習に人一倍の誠意を以てその足りない所を埋め合はせる外はない。そして其の外には毎日の練習を科學的に見て能率の上る様に考へる外は無いてあらう。三月の合宿に諸君が再び集合する迄は便宜を得られない人達は強いて冷い水に入つて練習する必要が無いばかりか、却つて害の方が多いてあらう、その爲に此の合宿期間多大の時間をかけて補助運動の練習をした譯だ、此の合宿に於て習得した體操は水泳に必要な體操の内二つのシリーズをやつたのだ。

(a) 次の(b)の運動を本運動として行ふ場合にその豫備として行ふ運動。

(b) 水泳運動に反對(拮抗する)動作をなす筋に對する運動。

即此の合宿では却つて水泳に反對な運動ばかりを選んで練習した譯だ、三月迄は之を充分にやつてよい、シーズンに入つてからの水泳の進歩はきつと著しい事を信じてよい、何にしても自分でやる氣がなければどうにもならないのであるから練習の結果のよしあしは要するに自分へ對する誠意の問題であらう。決してNSRやコーチ連中に對して義理を盡すのどうのと云ふ事を考へる必要はない。各自が強くなりたいかどうか、自分自身に對する誠意の問題であつて、それが深かつたか浅かつたかは三月にまた諸君に會つて見れば分るであらう。

3、次回合宿

恐らく三月廿日より四月十日までとなるであらうが之に對して非常に都合悪いものがあるかどうか申出て貰ひ度いと云つて聞いた所が無い模様。

4、今日一日を立派にやつて有終の美を濟せ。

會館の備品にして破損したるものある時は室長から届出でる事、本日晝食後荷物をまとめる事、夕食後解散、合宿は三月に續くべきものであるから今夜は特に解散式等は行はぬ。

5、東博士の報告に依り健康上注意すべきもの、再診を受けた方がよい者等を指摘した。等々

特に念入りに注意しなければならぬ事が多かつたので大分に朝の練習時間に喰ひ込んだが、云ふべき事だけは充分に通達した積りである。體操も氣持よく各シリーズをすらすらと一氣にやる、プールの係員は一昨日の不始末を取返すつもりか、又今日が最後だと云ふ意味か、ひどく氣合をかけてボイラーを焚いたので非常に暖い。

プール内氣温11°C—12°C、水温20°C

午前の水泳練習、今日はもうさう澤山やる事は出来ないからかなり落した。

	ウォームアップ	練習調	ダツシュ	クールダウン	
早組	平	200	40	50m	任意
	短	200	40	50m	任意
遅組	長	200	400	50m	任意
	背	200	300	50m	任意

今日は本田も泳ぎ、石原田一人缺席(午前中のダツシュの折、清川、33.0秒)

午前の練習終つて歸ると忙しい、合宿の片付けもあり、NSR理事連中の下相談あり、田畑、奥野、根來、松澤、齋藤で今年度スケジュールの下相談をやつた、寫眞の残つてる人をとつたり、軍人會館の醫員諸氏にも厚く禮を述べたりした。順天堂に石原田、石田を診察にやる。

午後の練習、現在の状態でタイムなんかは問題ではないけれども齋藤と二人で考へて見ると、相當調子を取もどして居る人もあるし、よしあしは別として一寸時計を押して見やうぢやないかと云ふのでやつた、初は齋藤も僕も二人ともかくしてポケットの中で時計を押して居たが選手の人達も敏感、どうだつたどうだつたと聞きに来る所はこはいもの見たさと云つた様な心理であらうが、その位ならばと云ふので仕舞には大つびらにタイムをとる事にして終つた、早く済んだ人は後の人の應援をすると云ふ有様、タイムのよかつた人は意外の儲け物と云つた氣持で喜ぶし、悪い人だつて大して氣にもとめてない様だし、最終を締めくくるには丁度よかつた程度である。何にしてもやつて見たら相當なものだつたので、黙つて居ても詰まらないし宣傳の意味で發表してやれとばかり新聞にも出して終つた。

	ウォームアップ	タイム	クールダウン	
早組	短	200	100m	任意
	平	200	200m	任意
遅組	背	200	100m	任意
	長	200	400m	任意

尙茲に得たタイムは各個人に時計一つづゝしか割り當て

↓ない爲に勿論参考タイムである。

100m自由形

遊佐正憲	58.4	新井茂雄	59.6
片岡寅次郎	60.0	平野亮	61.6
杉浦重雄	61.6	井上茂	61.8
長谷川卯佐美	62.0	宮崎康二	62.0
五十嵐伊市郎	62.0	田口正治	62.6
鶴岡榮	63.0	市野重治	64.0

200m平泳

小池禮三	(1:17.4)	2:43.6
葉室鐵夫	(1:17.8)	2:46.8
柳澤榮三郎	(1:19.0)	2:48.4
伊藤三郎		2:51.0
長久俊三		2:52.6
山口正保		2:58.6

100m背泳

清川正二	1:08.8	吉田喜一	1:09.4
兒島泰彦	1:09.6	山田薫	1:11.8
河津憲太郎	1:12.8	(終りを流す)	
谷口辰三	1:14.8		

400m自由形

根上博	1:06.4,	2:18.4,	3:35.2,	4:50.6
寺田登	5:01.0			
新聞六炳	1:07.4,	2:22.2,	3:44.4,	5:04.6
鶴藤俊平	5:03.4	堀勝美	5:07.2	
田端三郎	5:13.2	石田賢一	5:15.2	
牧野正藏	5:22.0	(泳ぐ氣が無かつた様だ)		

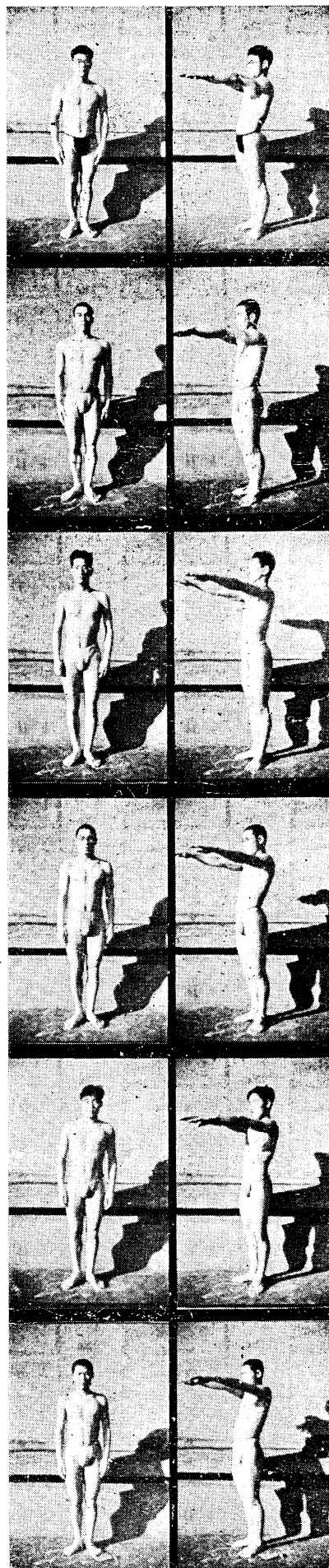
勿論これらのタイムはタイムとしてはさう大した意味があるとは思へないが、背泳チームに案外力がある事や、大體現在の力量に比例した結果を與へて呉れた點で我々にとっては大切なデータであると思ふ。勿論この力量を基としてオリンピック豫選會の銓衡に資するものでも無ければ、之を以て選手諸君の力量の出發點としやうと云ふのではない、たゞ今諸君の力を數字にして見ると體操の弱い所泳の工合悪い所等と比例して居るのが面白いし、技術上の参考になると云ふまでである。要は之をもととしての飛躍率如何である。

終つたのは午後四時すこし過ぎ、プールの係員にもよく禮を云つて歸つて來た。又會館宿泊係長末安氏にも好意を謝した。そして夕食後互に氣持よく解散した、特に地方の人達には早く歸つて學校へ出る様申聞かせた。

最後に各室を見廻り午後六時松澤が引上げて合宿も遂に空となつた。また三月皆の元氣な顔に接するのが楽しみだ。

五、第一回合宿感想二三

皆の態度が實に恐ろしい位に眞面目であつた。外國に行ければよいなどと考へてやつて居るものは一人も居ないのだ。プールの練習はもとより體操でもその他の動作でも本氣に強敵を相手にもう戰つて居る氣持、たゞ勝たねばと云



伊藤三郎

大正四、七、十八生  
 静岡縣磐田郡豐濱村  
 中泉農出、明大一  
 1.588m 60.kg

小池禮三

大正四、十二、廿四生  
 静岡縣駿東郡靜浦村  
 沼商出、慶大一  
 1.66m 61.9kg  
 趣味、麻雀、碁、映畫  
 音樂、スキー、ラグ  
 ビー、旅行、テニス  
 カメラ、自動車、飛  
 行機、芝居、レビ  
 ー、文樂、散歩

葉室鐵夫

大正六、九、七生  
 福岡市荒戸町八十三  
 修猷館出、日大豫  
 1.77m 67.5kg  
 趣味、映畫、音樂

長久俊三

大正五、二、九生  
 廣島縣豐田郡御手洗町  
 修道中出、慶大豫  
 1.703m 66.kg  
 趣味、音樂、月刊雜誌

柳澤榮三郎

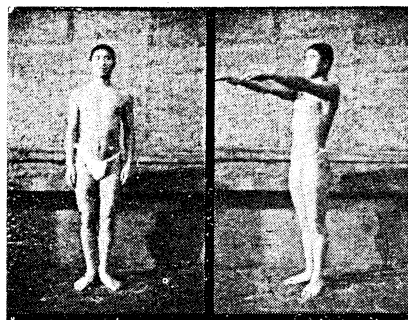
大正四、三、十一生  
 宮崎縣東臼杵郡東海村  
 法大高商部  
 1.68m 63.0kg  
 趣味、讀書、散歩

山口正保

大正七、四、五日生  
 千葉縣安房郡七浦村  
 明治大學商業學校五  
 1.63m 62kg  
 趣味、讀書、映畫

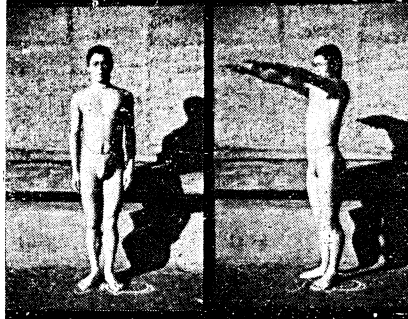
ふ氣魄が感ぜられる、時折訓辭を述べる時も伯林オリンピックを楯に話をするとすこし行き過ぎるのを恐れる位であつた。ロスアンゼルス・オリンピックの前の正月の合宿と比較すると雲泥の相違だと云ふ感が深い。その時の合宿でさへ後から考へればよい合宿だつたと思つた位であるから今度はどうなる事であらうかと考へる。自畫自讚と嗤ふ勿れ。

軍人会館は立派な設備であり、又今回の合宿としては非常に便利な位置にあつたけれども、會館全體の空氣は大いに好意を以て當つて呉れて居るに拘らず矢張り張り切つた元氣を持つてゐる自由なスポーツマンを容れるには釣合はなかつた感がある。選手諸君だつてさう小さくなくて遠慮して居た方では無いけれども、もつと心配しないで伸び伸びした感じに暮らせてやり度かつた。俺達の宿には過ぎたのかも知れない、近代コンクリート建築の内部に壁を敷き蒸氣暖房で寒さを凌ぐのは現在望み得る最高のものであるかも知れないが保健上には尙一抹の疑點があるのではあるまじか、もつとも氣候の悪い眞最中ではあつたが、咽喉を害した者が多くあつて、練習を休むに至つたものさへ相當出した。この割合でレースの爲の合宿で病氣が起きたらもうそれだけで明かに失敗な位な人数であつた、練習合宿であつたからよいくらいの冷汗三斗と云ふべき事柄だつた。三月の合宿には此の合宿の經驗を基礎にもつと研究をしもつと準備を整へて取らる事にしよう。



**市野 重治**

大正五、二、十三生、新潟縣佐渡郡二見村  
佐渡中出、立大豫  
1.66m 60.2kg



**鶴 藤 俊 平**

大正七、十二、一生、静岡縣小笠郡佐東村  
掛川中出、立大豫  
1.66m 62.6kg



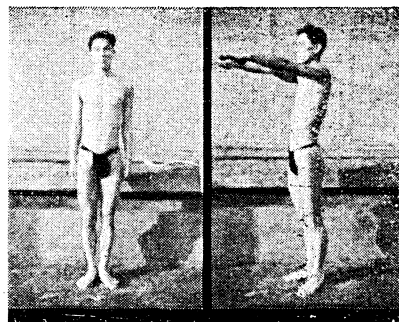
**田 端 三 郎**

大正五、十一、廿八生、静岡縣濱名郡引馬町  
濱松一中出  
慶大豫  
1.69m 65.6kg



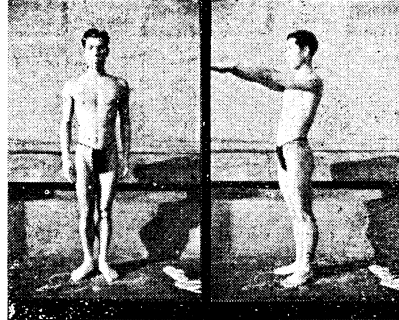
**本 田 惣 一 郎**

大正三、八、廿二生  
千葉縣安房郡西岬村、  
安房中出、立大一  
1.62m 58.1kg



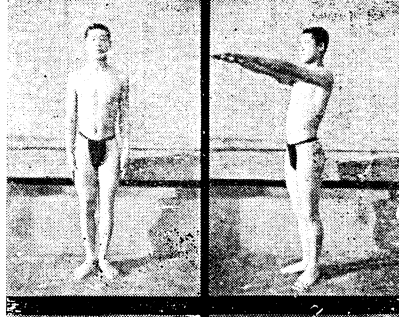
**河 津 憲 太 郎**

大正三、九、二十六生  
東京市澁谷區竹下町  
修道中出、明大商科三  
1.75m 60kg  
趣味、讀書



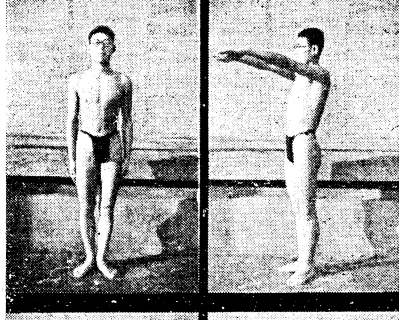
**清 川 正 二**

大正二、一二、十一生  
愛知縣豊橋市鬮屋町  
豊橋一中出、商大卒  
1.73m 63kg  
趣味、觀劇



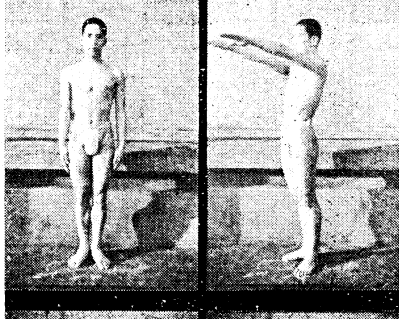
**兒 島 泰 彦**

大正七、九、一生  
廣島縣安藝郡坂村  
修道中出、慶應豫科一  
1.63m 63.5kg  
趣味、園藝



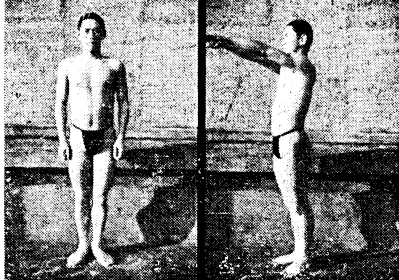
**谷 口 辰 三**

大正五、十二、廿八生  
京都市左京區聖護院  
京都府立二中、早高三  
趣味、讀書、散步



**山 田 薫**

大正五、五、二十五生  
岐阜縣大垣市東船町  
大垣商業、明大豫科三  
1.70m 61.1kg  
趣味、旅行、映畫、讀書



**吉 田 喜 一**

大正八、三、六生  
大分縣南海部郡佐伯町  
佐伯中出、早大專一  
1.71m 71.25kg  
趣味、讀書、トランプ



# 冬期合宿に行つた補助運動

醫學博士 金 子 魁 一 柳 田 亨

この補助運動は廣義の水泳選手矯正に用ひられたもので特に冬期合宿にのみ作られたもので、補助運動中のプレリミナリーエクササイズの中のフアンダメンタルワークであります。

## 1. 水平振り

- 手を前に挙げる。
- 手を胸へ近づけて肘を屈げる。
- 手を前へ伸す、aと同じ形。
- 手を横へ開く、水平に動し肩の高さを保ち出来るだけ後方へやる、動作は留めず手を前へ戻す、aと同じ形。

注意 動作を反動的に行ひ、一ヶ所に個定しないこと b c, d の動作は常に水平線に添つて行ふ。

## 2. 旋廻と下屈

- 手を前から上の方へ動かし
- その手を後から下の方を通して前へ
- 手へ出した手を逆に下の方へ
- 腰を前へ折ると共に下屈の姿勢になる、このとき手は床へ着け膝を伸す、
- 膝を全く屈して、かむ

注意 旋廻運動から、逆の反動を用ひて充分に下屈をすること、下屈のとき大腿の後ろにある筋群の伸展をすること。

## 3. 膝の屈伸

- 「旋廻下屈(運動)と同じ形から
- b. } 同上 bの形の運動二回行ひ
- c. }
- d. 再び aに移る

注意 前記の運動の注意と同様であるが、數回連続的に繰り返しても耐えられるやうに運動に慣れるやうに訓練すること、依つて大臀筋、大腿筋群等の伸展に効果あらしめるのである

## 4. 上肢の伸筋訓練

- 體が直角をなすやうな形に、床に手と足先とを置いて身體を支へる。
- 肘を屈げることにより、頭を床に着ける。
- 肘を伸し a の形に戻ると同時に、肩と頭を極度に引いて肩胛部の伸展を行ふ。
- 同じ事を、もう一度行ふ。

注意 平常見のがされ勝ちの伸筋の訓練運動であるから繰り返して多く行ふのは甚だ辛いと思ふが冬期合宿頃の荒けづりの選手矯正には最も必要なもの、但し一時泳ぎの方でのスピードは落ちる事があるかも知れないが、心配する必要はない。

## 5. 肩胛と背との筋の運動

- 全く日本流の坐り方で坐り、手を後へ組んで前へ伏す。

- 肩胛筋背筋を緊張させて、脊を反らせる。

- aと同じ形に戻る。

- bと同じ要領で手を兩翼のやりに開いて伸す。

注意 b, d. の場合全く起き上つて終はぬやう出来るだけ腰ばそのままにして胸椎部で反りを取ることに、bのときは肩の高さより少々高く挙げることに。

## 6. 胸椎の運動

- 腹を床へ着けて、伏臥の形をとる

- 膝を屈げて、胸を反らせ、手を横へひろげる。

注意 肩胛と背部との筋の運動と共に胸椎を運動させるもので、要領は5と同じ、膝の屈伸。

- 右手で左足を取り、左手を左膝上に置く。

- 右手に持つた足を掌ち舉げて、左手で膝を押し伸す

注意 左脚を八回程行つたら右脚を同回数行ふ

## 7. 股関節の伸展

- 左足を両手で把持する

- 足先を頭の方へ向き、脚を身體の方へ出来るだけ近づける、

注意 左足十六回行つたら右足十六回といふやうに、兩足均等に繰り返す、但し膝を屈げぬこと。

脊筋と腹筋の運動

- 足を屈げて坐り、斜め後に手をつく。

- 足を伸し乍、背筋でガンバリ乍ら平らに臥す。

注意 背筋でガンバる要領が體得に困難であるから充分練習を要する。

## 8. 頸の運動と胸の運動

- 背を床へつけて仰向きに臥す

- 足先を手前に引き、頭を充分起す

- aと同じ姿勢に戻る

- 腰と頭で支へて胸を反らす

注意 bのとき肩を床から舉げずに頭だけを出来るだけ挙げることに、cのとき頭は腦天をつき胸を充分に張り上げて床と背の間にアーチが出来るやうに、之の運動は水泳で要求される呼吸筋の矯正に効果がある。

## 9. 腹筋の運動

- 背を床につけて仰向けに臥す

- 八呼稱で、脚を伸したまま四十五度の角度に挙げる

- 腹を叩打し乍ら深呼吸する

注意 靜的に行ふ運動であるから、辛いけれど靜かに上げ下げ四回自至六回を行ふ、その後繋りつめ過ぎた腹部に弛緩を與へるための動作を行ふ。

# 男子飛込冬季合宿日記

原 秀 夫

伯林オリンピックに対する男子飛込の冬季合宿練習は一月二十日から二十六日迄一週間、四谷日本青年館に合宿して九段市立一中室内プールを練習場として行つた。

**オリンピックの競技に於て大切な事は勝つ事である。飛込競技に於ても國旗を掲げよ。**

之等は既にロサンゼルスオリンピック直後飛込監督島崎氏の云はれた言葉であり、同時に躍進しつつある我が日本の飛込界、即ちアムステルダムの大會(一九二八年)で男子飛込に第九位を、ロサンゼルスの大會(一九三三年)で、男子飛板、女子高飛込に夫々第六位を得た日本飛込界の誰でもが、今度の伯林の大會に對して熱望してある事である

この大きな目標に對してその目的を達する爲には現在の日本の飛込を如何すれば良いのか、それは取りも直さず既に所謂**満足するに足る程度**に達してある我々の飛込を**甚だ良好なる飛込**にする事に外ならないと確信する。然も與へられた僅に二週間の合宿期間で如何したならば最も大きな効果が上るだらうと種々計畫し考へた結果、この二週間を冬と春の二回に分け、其の間に殆んど合宿と同様な合同練習を挟み、最初の冬季合宿で大體練習の方法を覚えて忠實に實行する事によつて合同練習を續け、最後に春の合宿で之等を纏めて各自自分のものとして屋外に出る事が最も良いと考へた。

そして前述の所謂**六七點級**の日本の飛込が**八九十點級**になり切らない最も重なる原因が矢張り(一)踏切(二)手先、足先等の細かい點、(三)飛込をする時の態度、(四)身體の柔軟性、等の極めて基礎的な諸點にあると確信したので今回の冬季練習に於ては、(一)(二)(三)の三つをプールで(四)をY.M.C.A 柳田氏の指導の下に徒手體操によつて練習する事にした。

以上の様な計畫の下に 二十日正午青年館に集合し、二十六日夜解散に到る迄、別に何等の事故もなく一同元氣に練習を行つた。

合宿期間 一月二十日——二十六日 一週間

合宿人員 コーチ 原 秀夫

選手 柴原恒雄 小柳富男 石川金繼 伊藤眞吉  
杉原雪夫 生江哲太郎 林慶二郎以上八名  
原酉三は勤先の都合にて合宿には参加出来なかつたが二十一日夜より練習に参加す

合宿日課 起床七時三十分 朝食八時 晝食十二時

午前中は登校其他自由行動

第一回練習 一時——三時 夕食五時

體操 五時三十分——六時三十分

第二回練習 六時三十分——八時 以上

合宿日記 二十日 晴 水溫十八度

正午日本青年館に一同八名集合し、上記の如き日課を發表し直ちに合宿に入る。

第一回練習 一・〇〇——三・〇〇 水溫十八度、初日の事故、ウォーミングアップの爲め各自自由な種目を飛ぶ。柴原、小柳が最も元氣の様に見受られる。二・〇〇より東京日々のニュース班よりの依頼によつて、各人得意なものを、一つ宛飛ぶ、飛板の調子悪く手頃の丸太を探し出して支點の最後部に結びつけて之を補ふ。

夜は飛込競技委員會兼選手會を大和亭にて開催し、女子飛込候補に對するコーチの件、室内飛込大會の件等を協議し、更に今回の合宿に對する各競技委員の意見を伺ふ。

二十一日 晴 第一回練習 水溫 十八度半

走前飛(伸切)後飛、後踏切前飛、走前飛(蝦型)の初等四種目に走前逆飛を加へた五種目を五回宛極めて慎重に飛び一週しの後 走前飛(伸切或は蝦型)によつて、助走及び踏切の練習を行ふ、總體に矢張り助走二歩目の膝が伸びずこの點を特に嚴密に注意する。

體操 Y.M.C.A. Bデム 柳田氏の指導の下に、(イ)脚の脊部の筋肉を伸す事(ロ)腹筋を強靱にする事(ハ)體の屈伸及び伸縮を圓滑に敏速にする事、等の諸點に特に留意して戴いて徒手のもの拾種目、助木を使用するもの六種目の運動を行ふ、一同未だ不馴れの爲め圓滑に運ばず、尙この時間より原酉三参加す。

第二回練習 水溫二十度 大體晝と同様に前記五種目の練習、及び助走踏切の練習を行ふ、一同大分板に馴れて好調となる。

二十二日 晴 第一回練習 水溫十八度

プールでの練習に先立つて一・〇〇——二・〇〇市立一中階上デムにて昨夜の體操を行ふ。

二・〇〇——三・〇〇プールにて前日の五種目を踏切に特に留意して五回宛一週しの後後踏切の種目に於ける開始の姿勢、踏切の練習を行ふ、柴原を除く以外全部板よりの離れぎはに爪先の伸が不足だ、柴原に後一回半(抱型)、小柳に後踏切前宙返り一回(蝦)を試みさせる。

杉原は昨夜より風邪氣味にて練習を休む。

體操 Y.M.C.A. Bデム 昨夜と同様柳田氏の指導の下に行ふ、一同大分慣れて圓滑に運ぶ様になる。丁度居合はせた水上聯盟金子氏にも見て戴き御指導を受く。

第二回練習 水溫十八度半 五種目五回宛練習の後、蝦型、抱型の正しきフォームを採る事に特に留意して練習を行ふ。一同踏切が大分良くなつて來た様に思はれる、その爲に最も元氣な柴原小柳の二人は、モルベルグ二回(抱型)モルベルグ一回半(抱型)等を試みる。

十六ミリ映寫研究 練習よりの歸途、聯盟より前回オリンピック、キツパスよりのもの、神宮競技東西對抗、等の十六ミリフィルムを借用して、柴田氏の好意により十時頃迄映寫種々研究する

二十三日 晴 第一回練習 水溫二十度

一・〇〇——二・〇〇前日の如く階上デムにて體操。一同完全に各種目を覚え、極めて圓滑に効果的に行へる様にな

る、二・〇〇—三・〇〇 五種目五回宛の後 各自、自由な種目により矢張り踏切に特に留意して練習する。柴原は他の諸點に比較的缺點少き爲め、助走二歩目の膝を伸す事を特に厳格に注意する。杉原は尚休む、練習を終つて東日へ、二十日に撮影したトーキーニュースを觀に行く。非常に良く映つて居たが、期待に反して尺數短し。

第二回練習 水溫十九度半 五・三〇—六・三〇 一中ヂムにて體操の豫定なりしもヂム使用出來ず、不得止プールスタート臺にて徒手のもののみを行ふ。終つて直ちに練習、五種目五回宛の後 各自 自由な種目により晝間と同様の點に留意して練習する。杉原も恢復して練習に加はる、原西、石川は多少疲勞氣味。宿舎に歸つて後は昨夜同様十六ミリを映寫して批評、研究す。

二十四日 晴後曇

第一回練習 水溫十九度半 一・三〇—二・三〇 階上ヂムにて體操の後 二・三〇—三・三〇 五種目五回宛練習 今日に入水時に於ける腰より下の伸びに特に注意する、尚踏切に關する點は連日と同様、四・〇〇より夕食迄十六ミリ映寫。

第二回練習 水溫十九度半 六・〇〇—七・〇〇 階上ヂムにて體操の豫定なりしもヂムの電氣點かず、亦々スタート臺にて徒手のもののみを行ふ。この點大いに遺憾に思はれる。然しプール係の好意により、室内の溫度非常に上昇しプールでの練習は、一同大いに張り切つて元氣に行ふ練習種目等は晝間と同様原西は第二世出産にて缺 小柳の助走、踏切が目立つて良くなる。

二十五日 雪

第一回練習 水溫二十度 朝より猛烈な降雪の爲め會社へ出勤せし生江、試験にて登校せし林は共に練習に間に合はず。原西は缺、尚市立一中水泳部卒業生送別大會にて止むなく、

三・〇〇—五・〇〇 の練習時間となる。練習種目は連日同様五種目五回宛、及び其の他、折からの降雪を冒して高階君來り種々意見を伺ふ第二回練習 は明二十六日(日曜日)の午前中よりの猛練習を期して特に休み、例によつて十六ミリを映寫、批評研究する。

二十六日 曇

第一回練習 十一・〇〇—二・三〇 水溫十九度半 最終日の爲か、或は昨夜の練習を休みし結果が一同非常に元氣なる爲め、連日の五種目五回宛を十回宛(五十回)とし、矢張り嚴密なる注意を加へて後、各人自由な種目を飛ぶ。三・〇〇宿舎に歸り晝食後、解散茶話會を行ひ、今後春季合宿迄の合同練習を毎夜五・三〇—七・〇〇と決めて一同元氣に無事解散す。

以上の如く大體に於て僅か一週間の合宿としては相當有効に終したと思はれるが、この間に於いて自分の眼に映じた各選手の缺點を忌憚なく擧げて見れば次の如くである。

柴栗君 元氣にまかせてあまり力一杯に飛びすぎる即ち飛込の前半に「カンバリ」すぎる傾向がある。もつと「板よかせ」にして高さを取る事等にあまり力を使はずその餘

力をもつて正確なフォームをとる事 手先、足先等の細部に注意する事によつて君の飛込が必ず數倍も、美しいものになると思はれる。

小柳君 候補選手の中で一番日の浅い君には、又一番數多く、うるさく注意したと思ふが、其等の點をよく思ひ起して唯人一倍練習される事を望んで止まない。

石川君 伊藤君の二君は同様な體と、氣持ちを持つてゐる様に思はれたが、共に自分は他の選手に比べて馬力が足りないのだとばかり思つてゐる様であるが、二君と殆んどウエイトも同様な小柳君の事を思ふと、少しフアイトが無さすぎる様に思はれてならない。補助體操を猛烈にやつて強くなる様に望む。

杉原君 自分の身體 其の日其の日の自分の調子 等々飛込についてあまり神経質すぎると思はれる。飛込と云ふ事について他の連中より、一番經驗の深い且、智識の多い君である故、唯専心練習する事が出來れば必ず目的を達する事が出來ると思はれる。

生江君 非常に臆病すぎる、運動神經の極めて發達した君には、唯もつと大膽にと望む以外に何物もない。

林君 あまり自分と云ふものが強すぎる、過去の事にあまり拘泥せずもつと素直に新しい目的に向つて、そして室内シーズン中に出来るだけ數多く飛板を踏む事が、必ず屋外へ出てから高飛込に於て成功を生ずるものと確信する。

原西三君 生江君と同様、運動神經の極めて發達した君にも唯大膽にと切望する以外の何物もないが、更にもう一度若返つて四五年前の君の様な猛烈な闘志を喚び起す事を切望する。

そして更に又この間に於て特に感じた總體的の缺點とも云はれるものは、第一に日記にも記してある様に、助走二歩目の膝の伸びぬのが目立つた。そしてその爲に最後のステップが一回毎に僅ながら廣狹を生じ、且最後に板の尖端に落ちて來る時の姿勢が前傾に或は後傾になるの結果を生じてゐた。

第二に各人が餘りにも力一杯を飛込の前半(踏切つてより空中に浮ぶ迄)に使ひ切つてしまふ様に思はれた。そしてその爲に飛込全體が最初が猛烈に強く、最後が非常に弱い、と云ふ様な極めて單純な印象のみを與へるだけでライリーの或はデゲナーのその如き複雑な飛込の波と云ふか變化と云ふかが見えない様に思はれる。そして聊か極言しすぎるかも知れないが之等の二點を室内シーズン中に出来るだけ速に會得し得た者が最終豫選で、更に伯林で、日本の人々を世界の人々を「アツ」と云はせる事が必ず出来る様に思へてならない。飛込に關する智識或は空中に於ての動作、入水の技術等々世界の覇者アメリカの選手に比して勝るとも決して劣らない處まで進んで來た日本の飛込選手・デゲナーを觀ても、今迄の様に矢鱈に驚いてばかり居ないで種々批判する事さへ出来る様になつて來た我が日本の選手諸君が、寒さを征服し、苦しさを忍んで更に更に奮闘される事を切望し數々の盲評を謝してこの稿を終る。

# 女子冬季練習報告

## 關 東

水上聯盟が昨年シーズンの直後より女子競泳の振興に一層の意を用ひられ、全国より其對策案を集められて居りましたが、此程これらの案の中より先づ第一歩として、三地方對抗競技に代るに直接學校當局よりも今少し關心を持つて頂ける學校中心の全国的な女子中等學校競技會を水上聯盟が開催し、又各地方加盟團體に於ても各々之に準ずる計を立て、頂くと云ふ方針が決定しましたが、誠に私共嬉び盡に堪へず是こそ一歩社會に出た競技會であり、しかも尙學生生活の延長であることを思ひ、此道にこそ覺醒の鼓を打鳴らし大擧して進むべきと存じます。男子水泳界に一足後れた女子水泳界も此統制ある方針が確定せられることになつれば、必ずや近き日に水泳日本の榮譽を女子も等分に擔ひ得る成績を獲得し得られるものと信じ、又さうあるべきと四ヶ年を期して次回オリンピックを目指し一踏邁進致したく大方の御助力を切望致します。

さて此際に私共女子委員は豫ての希望の一つを實現させて頂く爲に、關東水泳協會に非常なる御後援をお願い申上げたのでござりましたが、幸ひ皆様の御理解の許に多大の御援助を得、早速東京府立第六高女の室内プール25米に去る十二月一日より毎週土、日曜日を期して冬季練習に着手致す事が出来たのでござります。集る選手はオリンピック候補競泳四名飛込選手三名に加へて其他優秀選手十二名でござりますが一同設備完全なるプール使用の恩恵に浴し、又かゝる境遇に恵まれたことを感謝しつつ寒風すさぶ木枯しの空も物かは文字通り嬉びの飛沫を上げて練習に餘念なく、又女子役員の方々にも御勤めの身にては殊更貴き日曜日の一日をも此等選手の爲にお割き下され、又折々は御多忙の中より特に松澤一鶴先生の御出席を願つて親しく御指導を受け、和氣瀟々の中に技術の進歩も目覺しく、今夏の競技會を目指して、或ひはオリンピックを目指して一歩一歩確實な歩みを續けて居ります。

以下今日までの練習日記の抜萃を掲げて御報告に代へたいと存じます。尙練習日毎に繰返す煩はしさを除く爲練習會に直接關係ある主な役員及び選手名を先に記す事に致します。

### 關東水泳協會役員

松澤一鶴、根來幸成、原 秀夫(飛込)

### 女子委員

市口房子、栗村徳子、中川千枝子、白山廣子

### 競泳選手

福島ヒロ子、原日出子、須藤光代、壺井字乃子

以上四名オリンピック候補

河村靜子、三浦ハナ、増山ちせ、西村二三子、太田隆子  
須藤菊代、須藤照代、齊藤房江、山田道子、山田八重子

内海津多子、廣瀬ヒデ子、

### 飛込選手

大澤政代、大澤禮子、林悦子、以上三名オリンピック候補  
山路明子、田中清子

競泳は毎週土曜日午後三時半より四時半まで、日曜日は毎週午前十時より十一時までの豫定にて四月中迄經續致す心算りで居ります。

飛込は別に後に記す事に致します。

練習中の室内気温は十二月第一週第二週までは一四度でござりましたが、四週目には十一度に下りそれより次第に低下只今では(一月十九日)七度でござりますが、此は勿論お正月の休暇直後である爲で又次第に舊に復することと存じます。水温も只今では十七度でござりますが、平均二十二度邊りが平常の温度になつて居ります。

第一回十二月一日日曜日。關東水泳協會役員一名、飛込委員一名、女子委員四名、監督者として御見えになつた第四高女の先生と選手は競泳飛込合せて十六名の出席にて温氣に曇つたプールに元氣な顔を揃へさあ今日から泳ぎませふと何の雜作もなく與へられた時間をアツトホームな氣持ちで早速ドブンドブと飛込むと云ふ心安さ。かくして練習會のスタートを切つたわけでした。此日は只自由に水に親しみ水泳練習の氣分を呼び起したと云ふ程度にて十一時半終了。其後は同館の別室を拜借して一同午餐を共にして二親睦をり、又今後の方針報告及び相談座談に愉快な時を計過ごし時半散會しました。

第二回十二月七日土曜日。出席者十一、見學者一、大體の練習事項は

- 一、各自準備運動を自由に行ふ
- 二、ウォーミングアップ200米
- 三、ピーティング4分間
- 四、自由形100米 460米
- 五、平泳400米
- 六、背泳100米
- 七、スタート、ダツシュ4回

第三回十二月八日日曜日、出席者十一。

各々の缺點が次々に見えて來る所へ大分水にも馴れて來たので愈々基礎的な練習に重點を置くことに致しました。

第四回十二月十四日土曜日、出席者七。

練習はなるべく長距離を泳ぎフォームの矯正につとめました。尙参考にとつた練習記録を示しますと、

100米自由形	福島ヒロ子	1:23.0	
100米自由形	太田 隆子	1:28.4	
100米背 泳	廣瀬ヒデ子	1:40.0	
100米平 泳	原 日出子	1:39.0	齊藤 房江 1:49.4
200米自由形	福島ヒロ子	3:15.3	太田 隆子 3:24.6
	河村 靜子	3:33.0	山田八重子 3:57.5

第五回十二月十五日日曜日、出席者十、見學者二。

此日は松澤先生の御出席を得て一同大いに緊張種々有意義な御指導を受け晝食も忘れて時間を過ごしました。松澤先生御話しの主要點。

一、練習休憩中の服装

二、風呂に關する注意と意義

三、水泳中の姿勢

四、缺點を指摘される中は脈ありと思へ

五、缺點を直すより先根本缺點を覚えよ

六、足手の水に對する感覺を覚えよ

七、頑張りの意味を誤解するな 等以上の各項を細々と御説明下さいました。選手一同得る所多く空腹も何かわだニココで終了。

第六回十二月二十一日日曜日 出席者八、見學者一。

先週松澤先生より何つた注意を繰返して熱心に練習を行ふ。練習を終へて五時外はもう夜のとなり下る。

第七回十二月二十二日日曜日 出席者八、見學者三。

男子の冬季合宿も近く始まるので松澤先生を我物にするのは今の中と御多忙の中をお願いして御指導を仰ぎました一人一人泳いで缺點を指摘されそして各々正しい感覺に觸れるまで幾度も繰返す練習振りは誠に心強く思はれます

此日は松澤先生關東水泳協會の根來幸成氏及び飛込の原秀夫氏を迎へて晝食を共にし、各先生より激勵、御注意或ひは御懇篤な御指導を受けて身心へ共に充分なる糧を與へられて満腹二時半散會致しました。

第八回十二月二十三日日曜日 出席者十。

いよいよ學校も休暇に入るので今日から連續合同練習を行ふ事に致しましたが、今日はまだ學校がある爲午後四時半より五時半まで、それでも皆溢れる元氣を以つて時間には必らず集合練習開始、乳色に煙る温氣の中に元氣な人魚が思ふ様泳ぎ廻り水煙を蹴上げて猛練習をして居ります。さて練習終つて此處脱衣室の一隅ポンヤリと輝る電燈の下に「今日は私がお握りを持つて來たのよ」と家路につく前にお腹仕度ソツと覗いた選手等の控室和やかな風景ではござるませんか。

十二月二十四日は一日休日

十二月二十五日から二十八日まで午前十時より十一時半まで出来るだけ正しいフォームを持續して距離を長く泳ぐ練習を致しました。練習を始めて漸く十回を越え調子も出て來た様子二十七日には原、齊藤、河村の諸嬢は900米を突破、太田、廣瀬兩嬢は600を、三浦、山田、内海嬢は500を矯正されたフォームで泳ぐことが出来ました。

十二月二十八日はいよいよ昭和十年最後の練習會、一同しばらくのお休みを寧ろ不満の様子、折角の調子を忘れると云ふ御心配でした。

原日出子、齊藤房江、河村静子、廣瀬ヒデ子の諸嬢は遂に1030米を泳いで納めとされました。一同も亦各々名残惜しい練習を終へ新春十一日を約してお別れ致しました。新春第一回の練習は水温が意外に低下して居た爲取止めにし次週十八日より開始する事に致しました。

十一年度第一回一月十八日土曜日室内氣温九度水温十七度半にて少し無理ではないかと氣使ひましたが、出席者九名よく頑張つて練習を始めました。然しながら練習者の大部分は休み中にフォームが逆もどりして又自我流が出て居りましたが、泳ぎ其物は大きい伸びのある泳ぎであり、前回の練習は先づ成功であつたと思ひました。尙此一時間半の練習中にも初めと終りには驚く程の變り方を見せ注意すれば思出すのも早く甲斐あつて嬉しく思ひました。

第二回一月十九日日曜日 出席者八名。

松澤先生のニコニコ顔を久し振りに拜見して一同一層の元氣を出し寒さも忘れて御注意を聞き先生も亦時を忘れて熱心に御指導下さいます。各自への御注意も先生の御越し下さる度に階段を一つ一つ踏みしめて上る様に進歩の段階が積まれて行く感が致し力強く存じます練習後又一と特別室でお話しを伺ひました。

一、オリムピック豫選の件。

二、自覺してオリムピックを目標とせよ。

三、泳ぎの土臺となるべき足の練習法。

又相當の速力にて歩け。

四、補助運動について。以上

以上の様な練習會を續けて参りましたが私共はこれからもつともつと練習に身を入れ寧ろ短かすぎる此期間を最も有意義に過ごす様出来る限りの盡力を惜しまぬ決心で居ります。又練習成績の如何によつては近い中にレコード會も開きたいと一同氣を揃へて一回毎に實のある練習會である様努めて居る次でござります。又練習日ばかりでなく其間にも特に女子水泳選手に適當な補助體操も始めて頂く心算りて居ります。只今松澤先生を通して柳田先生に其方の御盡力をお願いして御座いますからやがて統制ある女子の水泳體操も組立てられてみんな揃つて氣持のよい補助體操も出来ることと其日を待ちわび楽しみに致して居ります。

さて飛込みは毎週火曜日、土曜日の午後一時から三時まで同プールにて注意深い練習をなされて居りますが、又其熱心さは選手の方々の人数が少ないだけに一入涙ぐましいものがござります。しかも特に其方の技術的な御注意の出來かねる私共には只何とかしてもつと各コーチの意を取入れられる練習法がない物かと氣を揉む計りで一向にお役に立たずに居ります事は誠に心苦しい次第でござります。昨冬は島崎夫人が御力添へ下さいまして一緒に御練習をなされて下さいました。又其後原秀夫氏の御指導をも受ける事になり増々猛練習が續けられて居ります。次に大澤政代さんの最近の練習日記の一部を拜借する事に致します。

一月十九日日曜日 午前十一時——時

聯盟より原秀夫氏コーチに來て下さる。水温未だ上らず選手連ブルブル。室内プールでの練習方法の第一として各自の踏切るまでの姿勢により充分注意して行ふ様につとめることを練習する。これは前からさうせねばならぬと考へて居たことだがコーチの居らぬ我々であつたのでみすみす練習が後れてしまつたわけで各自が苦心して居つたことなのだ。原氏も熱心に見て下さり練習開始の第一日目にこん

なに張り切れた事は兎に角嬉しい事だつたが、何分にも水  
温低く気温も相當に冷へて居たので堪へるのに苦勞した。

板の上に立つて踏切るまでスムーズに行ひ、充分に身體  
を伸して最後の一步を踏み、しかして後に技に移ることを  
早く習得する様に努めよう。

我等の希望、關東に於ける最大の誇り私等の女子飛込選  
手を益々力付け磨き鍊へて世界の檜舞臺に是非とも送り出  
したいと切望致して居ります。

最後に一同に代りまして關東水泳協會の皆様方に厚く感  
謝の意を表し筆を置く事に致します。(白山廣子)

### 關東女子冬季合同練習より

餘り沈黙を守り過ぎてゐる關東女子を尠くとも中部や關  
西の女子達と同じレベル迄で引き上げたいとの心構へから  
白山さんを主體として中川さんと私とで助手となり昨年聯  
盟をお願いして十二月より關東女子の冬季練習を府立第六  
高女プールを借りて始めました。

先づ多くを望まず基本たるフォームの矯正といふことを  
松澤先生のお言葉に従つてははじめタイムは別段正式にとら  
ず自由な氣持で水に親しめるやうにして居ります。それで

選手たちは皆嬉々として熱心に練習されて居ります。屢々  
練習後に選手の方より「あと二百ばかり泳がして下さい」  
などと申し出る事があります。實に見てゐて心持がよく自  
分達の練習してゐた時分の事などを思ひ浮べる事がありま  
す。此の間も私達三人は思ひ合したやうに我慢しきれず皆  
の練習の済んだ後で水着になり泳いでみましたらやはり昔  
が懐しくなりました。話が横道へ入りましたが此の練習に  
よつて長らく關東女子の缺陷であつた群雄割據の状態を完  
全に脱出しケームワークの良く取れた新しいグループが生  
れ出たやうに感ぜられます。これこそ大收獲で私達純粹の  
關東女子が等しく願つてゐたものであります。

私達三人は皆の練習を済ませた後でブラシとバケツを手  
にしてプールの周圍をお掃除致しながらも言ひ知れぬ喜し  
さが胸に込み上げてまゐるのを強く感じます。此の冬季練  
習で得た精神的方面が此の夏の大會で如何に現はれるか私  
達は選手達の活躍を心から期待して居る次第であります。

尚ほ私達は此の冬季練習を終へる前にレコード會をやり  
各人の力量を一通り測る豫定であります。いつれ此の詳細  
は後日改めて發表致す積りで居りますが茲に附言して置き  
ます。(市口房子)

## 關

## 西

○場所 京都府立第一高女プール(温水)お風呂の設備あり  
平均水温二三度 室温十四乃至十五度

○選手名 名古屋 ◎前畑ひで、◎小島一枝、北島静子、  
◎立松品子  
九州 小田アイ、◎村尾充子  
四國 中山絹子  
大阪 守岡はつ、大井 房  
京都 ◎竹村令、◎櫻井愛、◎谷口美代子、◎  
眞下京子、◎泉百合子、◎菱木フサ、  
◎壺井宇乃子 合計十六名。◎印オリム  
ピツク候補十二名

○宿泊は府一高女の同窓會館日本間、名古屋、九州私共で  
七名、他は親類及び自宅より通ふ。

○毎日のスケジュール

起床七時半一八時、朝食八時一八時半迄。

九時半通つて来るもの集合。九時四十分プール集合。十  
時迄に體重測定(これは毎日グラフにして居る)

大體平均皆二三日目に下る四日目から回復してもとの體  
重にかへる。ウォームアップ(體操毎日)

朝練習十時から十一時半まで

十二時に京都の人と共に食事。一時半迄休息お部屋で。  
一時半より二時まで體育館で補助運動(これは合宿すぎて  
三月の合宿までに泳げない人達の爲に身體をつくる爲の補  
助運動三重)及びバスケット、繩飛び、競争遊技。

午後の練習二時半より四時半まで。

京都のものは練習すみ次第歸宅。宿泊のものは五時夕食

外出特別の場合をのぞいて外なし。

就床九時一十時まで。

六日の内此の他に

深山先生の健康診断。嵐山散歩。買物(京極)スキ焼會。  
府立第一の校長先生のお茶の會。以上。

練習はロング中心、フォームの矯正、ボールによる部分  
練習。選手はみんなとても氣持良く元氣にやり 熱心の餘り  
私の豫定した成績よりも好成績で終了する事が出来ました  
私のコーチはおはずかしい次第で、何事もなく無事に愉  
快に終つた事が何より良かつたと思つて居ります。選手の  
人達にも三月の再會を楽しみにお別れました。

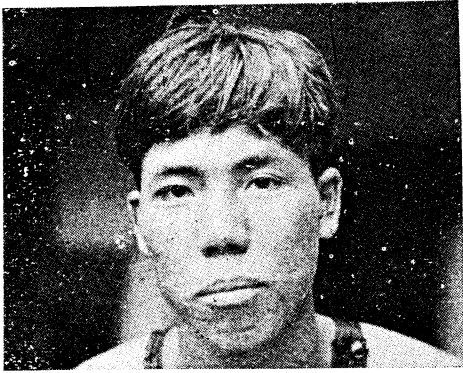
それから三月まで前から記憶してゐる範圍の月の病氣の  
調査表を渡して記入してもらふ様にして置きました。又何  
かと参考になると思ひまして。大體以上のようなものです地  
方の人達で練習の出来ない人達は補助運動を毎日する様に  
申傳へて置きなるべく實行する様に願つて置きました。京  
都大阪方面の人達には三月一ヶ月前にでも土日曜日でも利  
用して甲子園のプールへ来て練習してもらふか京都の方に  
するかその方はまだ未定でございます。

東京の方は毎土、日曜になさつて居られるよし何よりで  
ございます。又何か色々お氣づきの點は御指導下さいませ  
様にお願ひいたします。三月合宿の期日等はもう決定いた  
して居るのでございませうかまづは合宿のお知らせまで。

最後に府一校長中山先生及び深山先生の御盡力を厚く御  
禮申し上げます。(松澤初穂)

# 僕の昨年シリーズ

皆に書いて貰へれば一番良いのだが、御忙しいであらうし、折にふれ話して貰ひ、それをこんな定規に収めて見た。文責編輯者



## 清川正二君(商科大學)背泳

従来最高記録 1:08.6 日本記録

一月 濠洲に轉戦し他選手とは特種な環境にあり濠洲シドニイに於て1:10.0の記録を得た。これは遠征記録としては申し分ないものであつた。

その後、夏のシーズンに備へて、冬季の疲勞を癒さんとして休養に専念、泳がず。

五月 中旬過ぎから練習を開始したが、やはり、身體の疲勞を避け、練習量は少なかつた。この當時の練習は、一日ウォーム200米、足のみ200米、手のみ200米、手足のコンビ200米と合計700米を出でず。

六月 水球リーグ戦が初まり、大體五月の練習に水球が割り込んだ程度であつた。

七月 六月末より、三商大戦に備なへて、やゝ本格的な練習を開始、200米ウォーム、200米スパート、手のみ、足のみ各100米、綜合100米等のあと、75米等のダツシュと云ふ具合に一日二回宛の練習を行ひ、四日に一度1000米もロングを引いた。記録は餘り取らず、一度1:10.0が出たのみこの期間の練習で、ほぼ自分の平調に復した。

1:12.0(七月十二日三商大記録)このレースは、前日水球を二回もして、相當疲れてゐた。先づ満足な記録。

七月十五日から名古屋に行つて、日米豫選に本腰を入れる。最初はハードトレーニングのみを心掛け、ウォーム400米、足400米、手100米、コンビ100米のあと150米から300米位までを猛烈に頑張る、50米ダツシュ、六回、25米ダツシュ四回と云ふ順序を午前午後の兩度行ひ、一日の合計5000米近くも泳ぐ。合宿四日目頃から3000米位に減じ、豫選前少し前には200米ウォーム、足のみ200米、75米ダツシュ25米ダツシュ四回と減ず。この練習中1:11.0の記録を得て豫選では1:10.0内外は行ける自信があつた。

八月

1:12.4(日米豫選第一日豫選 三日)

1:12.8(日米豫選第二日準決勝 四日)

1:12.8(日米豫選決勝 五日)

戦後、練習が多過ぎ、その爲失敗した感を得た。その後大阪の日米戦までは「午前40」、午後40程度の軽い練習をする。

1:12.2(大阪日米 九日)

日米戦が終つて、氣分が楽になり、豊橋二中プールへ行つて、日米豫選に痛感した足の弱さを補ふべく、體操やスプリングボードを跳ねたりした。

廿八日からインターカレッジの合宿に入る。日米豫選を泳ぎ過ぎて失敗したから、餘り多くを泳がず、足の補強工作も足りたと思つたから、スプリントをつけるべく、一日一回、200米ウォーム、75米から125米の間をレースの氣持で泳ぎ、足のみ200米したあと、50米ダツシュ二回、25米ダツシュ四回のスケジュールで續ける。記録は一回もとらず。

九月

1:15.4 1:11.0(學生第一日 十四日)

1:10.6 200米2:42.6(學生第二日 十五日)

2:39.8(學生第三日 十六日)

練習を少くした爲か、夏よりも好調で、100米の準決勝を勢一杯に頑張つて見た。決勝は逃げ込むつもりで最初から飛び出したら、後半も存外良かつた。

廿日過ぎ水球リーグが初まり、正規な練習はせず。

十月 日本選手權に100米の一本鎗をやらうと思つたが、學生大會前の状態に味をしめて、大會三日前から軽い練習を行つた。

1:12.0(日本選手權豫選 四日)

1:10.2(日本選手權郷土メドレー 五日)

1:11.4(日本選手權決勝 六日)

やはり逃げ込み一點振りて泳いだ。メドレーの記録が本年度本邦に於て最高。

その後冬の合宿まで水に入らず、身體の休養に専念。

## ——昨年を顧りみて——

濠洲遠征では、これと云つた悪影響は見當らなかつた。日米豫選前の合宿練習では、今年こそは1:08臺を出さうと思つたが「その後何となく腰が下つたような氣がしてフォームが崩れ、自信がなくなつて行つた。今年には失敗と云へば失敗だつた。どうも後半75米位から足が効かなくなるやうだ。今年には、足を強くすると同時に、ヘビイトレーニングをやめ、練習量を減し、五十米ダツシュの延長を100米まで續け、記録をあげやうと思つてゐる。だが社會人になるから、生活様式が變り、練習が存分出来るかどうか氣に病んでゐる。





## 葉室鐵男(日大)平泳

従来最高記録 200米 2:45.4

**二月** この頃から市立一中プールに出かけたが、二月中に十回位通った程度だった。

**三月** 十日過ぎ黄疸にかかり、ひと月の餘寝ってしまった。

**五月** 身體はスツカリ癒ったし、ボロも初まるので、元氣を恢復しようとして一日ウォームを300米から5.0米位まで引き300米をや、頑張りと、あと800米位と云ふ調子で連日泳ぐ。200米は嫌いで、本調子では一度も泳がなかつた。三大學競技に近づくに従つて、頑張りを加へ、耐久力をつけた。

**六月** 練習中2:47.0の記録を得たが、今まで、練習中は2:54.0以内で泳いだ事がなかつたので、相當の記録が出るとは思つてゐた。

2:44.4(明日立三大學競技 十六日)

試合に望んで何となく不安であつたが、先づ良い記録が出が安心した。中學時代から、前半のラツプは大して上つて居ないので、記録が良くなるのは、後半の頑張りが強くなつて來た譯だ。手が強くなつて來たと思つた。

2:54.0(名古屋との對抗競技 廿三日)

三大學の疲労があつたか、何となく活氣を缺いてゐた。

**七月** 十五日頃から日米戦に對して本格的な合宿練習を初めた。これまでは獨りで泳いでゐたが弟が加はり、法政の柳澤君が來て、練習に張合が出來て、連日頑張つた。

400米、800米などを泳ぐと今までより斷然良い記録が出たので期するところあつたが、200米2:43.8を得たので自信を倍加した。そして日米豫選一週間前から分量を非常に落した。

**八月**

2:43.8(日米豫選三日)

相當頑張つたが未だ少しは出ると思つた。

2:43.6(日米豫選 四日)

非常に頑張つた。

3:45.0(日米豫選 五日)

前日の疲労が出た氣分あり、腹具合も變で、最初やゝ飛ばしたが駄目だった。

これから日米合宿に入つたが、200米乃至400米のウォーム、800米のロング、400米、50米ダツシュ二回、スタート三四回と云ふ練習を續ける。

2:43.6(日米大會 十四日)

前半を飛ばした。後半が弱點ぎたと思つた。日米戦後は練習らしい練習をせず、海水浴などして氣を抜いた。

**九月** 一日から學生競技の合宿に入り、ウォーム400米壁をもつて足のみ100回蹴り、又100米を足のみで泳ぎ、手で200米を泳いだりして見た。

2:45.8(學生第一日 十三日)

大して頑張らずピツチの調子を考へてみる餘裕があつた。

2:48.2(學生第二日 準決勝十四日)

2:42.4(學生第二日 決勝十四日)

半ば捨てたような氣持だつたが100米を過ぎ、無中で頑張つた。自分としての最高記録である。

廿日過ぎボロのリーグ戦が續き、十月五日過ぎに、泳ぎをひとまづやめてしまつた。

### —昨年を顧りみて—

春先の病氣で今年は駄目ではないかと心配したが、後半が良くなつて來た。昨年を通じて日米豫選前が、最も強くなかつたのではないかと思ふ。あのとき一週間も前から、練習を落したのが悪く、自分では日米當時の競技は失敗だつたと云ふ感が深い。

今年は冬の合宿のあと、一月程、練習をし、春先にまた初めて、待々に調子を出して行つて五月にはせめて昨年の記録まで達するようにし度いと考へてゐる。

今年の念願と云はうか、目標は二分四〇秒と云ふところだらう。

とにかく昨年は大分手が小さくなつてフォームが良くなつて來たようだが、これは、名古屋に行つたとき、鶴田さんから、最後の50米位から、手を小さくすると良いと聞いたので、それにヒントを得たのだが、今年もつとこれを研究してみるつもりだ。

### バターフライ

二月下旬、カナダのウォルター・スペンスと米國のヒギンスがニューヨーク A. C. の碼競泳池に於て100米平泳を行つた。最初の50碼はスペンス顔、を浸け儘息もしないで正規の平泳をやり折返後俄然バターフライ、となつてリードを續け、100碼1:02.0。ヒギンスの未公認米記1:04.2を破る。結局ヒギンス0.5碼抜いてスペンス1:10.2。ヒギンスの公認世界記録1:10.8を破る。スペンスのバターフライは他のバターフライ専門家より樂に泳いでゐる。彼の談によるとバターフライが200米に使用して不利であると云ふことは理屈が立たない。スペンス曰はく「バターフライが200米に使いにくいと云ふのは身體のバランスの取り方の問題で多くの者は甚しく疲労すると云ふが之は足を沈めるので進行を阻害されるからだ。さうしないでも泳げる。此欠陥に打勝つことを覺えれば従来考へられてゐた如くひどいものでないことが分らう。



# 海外情報

昨年度はあまり紙面が急がしかつたので海外情報を大分休んだが、又ぼつぼつ始めます。昨年度分は何れ一括して實力世界二十傑表としてでも發表しやうと思つてゐます。今回の分は昨年十二月頃からの分で新しい種が腐るといけないから活の良い内にどんどん出すことにした。(飯田)

## 米選手の歐洲遠征

米國シカゴのレイク・シヨアー・アスレチック・クラブのコーチであるスタンレー・ブラウニングは其クラブ員であるアドルフ・キープアー、マックス・ブリテンター、アーサー・ハイランドのメドレー・リレーのメンバーを卒ひて獨逸を中心とした歐洲各地へ遠征する計畫を立て、居たので昨夏の日米對抗戦にキープアー、ハイランド等の参加を拒絶せしめたが獨逸への返事が後れた爲め一時中止となり、日本への遠征も併せて失つてしまつたので米國水泳界で殘念がられてゐたが、又話が進行して昨秋獨逸へ向つた。

アルトナを振出しに、プレスラウの打留めまで29日間にドイツ、ハンガリー、デンマーク、等6個國26都市に於て32回の競技會に出場して毎回異常な成績を擧げて歐洲水泳界に多大の刺戟を與へた。

下表は其成績を要約したものであるが、中でもキープアーの進展は素張らしい。ダグラス・フェーアバンクスはブダペストの大會を見てキープアーに手紙を送つた「ソニー・ボーイ(キープアーの仇名)、君は今晚私の生涯に於ける最大のスリルを送つてくれた」と。

ブリテンターはバターフライ平泳を泳いで之を紹介した。

### キープアー

100碼背泳		
1:01.1	エツセン	10—26
1:00.6	エツセン	10—29
100米背泳	世界記録	1:08.2
	コージヤツク	
1:06.9	アルトナ	25米 10—1
1:07.0	ベルリン	1—20

1:06.2	クレフェルト	25米	10—22
1:06.0	オーベルハウゼン		10—24
1:06.8	ハム		10—29
1:07.2	ブダペスト		11—1
1:04.9	プレスラウ	25米	11—10
150碼背泳	世界記録	1:35.6	
	キープアー		
1:37.0	ボフム		10—27
1:33.9	アールフス	25米	11—22
200米背泳	世界記録	2:24.0	
	キープアー		
2:27.2	ブダペスト		11—4
400米背泳	世界記録	5:17.8	
	キープアー		
5:32.5	ベルリン		10—21
5:22.6	ブダペスト		11—2

### ブリテンター

100碼平泳			
1:06.6	エツセン	10—26	
1:05.5	エツセン	10—27	
1:11.1	ハム	10—29	
100米平泳			
1:14.7	アルトナ	25米	10—18
1:17.7	ベルリン		10—19
1:14.4	ブダペスト		11—1
1:15.4	ブダペスト		11—2
1:14.2	ブダペスト		11—3
200米平泳			
3:01.0	ベルリン		10—20
2:54.0	オーベルハウゼン		10—24

### ハイランド

10碼自由		
53.9	ボフム	10—27
100米自由		
1:02.0	アルトナ	10—18
59.0	ベルリン	19—20
1:01.0	オーベルハウゼン	10—24
59.4	ハム	10—29
58.2	ブダペスト	11—1
此時	チツク(洪)	57.8
58.2	ブダペスト	11—2
58.6	ブダペスト	11—3
此時	チツク(洪)	58.0

300米メドレーリレー		
3:18.6	ブダペスト	11—1
	キープアー、ブリテンター、	
	ハイランド	

## 米 國

1928年アムステルダム・オリムピア

ドに於て100米背泳に優勝し、800リレーのメンバーとして活躍したジョージ・コージヤツクは、1931年の第一回日米對抗に勉強するんだと云つて來朝せず又1932年のロサンゼルス・オリムピアドにはシンシナタに於ける全米豫選に出場すべくして姿をくらまし、爾來ニューヨークA.C.からも退いて小さいクラブで時々競技會に顔を出してゐたが公式の大きな會には一切顔を出さずゐた。然るに此頃ドクターになつたしベルリン目指して大に練習してゐる、相當に強いとの報があつたが、濠洲のチャールトンの例の如く、又出る又止める底の聲明だと思つたら二月初旬のメトロホクリンA.A.U.選手權に出場して100碼背泳に1:36.1の好記録を出した。彼は以前盛時に於ても1932年3月に出した1:37.4の世界記録が最高で1924年にウエーが1:36.9を出したが世界記録と認められなかつた。昨1935年キープアーが突如強くなつて1:35.6、1:33.9を出してコージヤツクの記録を破つてしまふ迄1:37.4は世界最高記録であつた今回は途中100碼で1:01.2。キープアーに次いで背泳の強敵である。水路25碼。同競技會に於てのウォルター・スペイン100碼平泳1:05.1。ダツキンソン嬢100碼自由1:04.5、アーナ・コンパ嬢100碼背泳1:13.8。

二月エール大學25碼競泳池に於てピーター・フィツク100米自由56.4の新世界記録を作る。ヴェンデウエーは50碼背泳27.2でキープアーの米記27.9を破るアーナ・コムパ嬢は300米背泳5:27.5の新記録を作る。

同じくエール大學25碼競泳池に於てヒギンスはマチオニスと200碼平泳を競つて2:24.1の世界新記録を出した。現在の公認記録はキヤルトンネ(佛)の2:25.2。尙同競技會に於てロザヤース100碼自由53.6、ホイト220碼2:15.8、440碼4:55.0。

ハーヴァート大學のチャールス・ハツター220碼自由2:14.8水路25碼。

ジヤツク・メザガが活動を始めた。グイクトリアの50碼競泳池に於て300米自由を3:36.2で泳いだ。米長水路記

録は3:36.2マチオニスである。

ニューヨーク市A.C.の20碼競泳池に於てニューヨーク女子水泳協會のアーナ・コムバ、ジュテイス・フアウラー及びドロシア・テイツキンソンはメトロポリタン300碼メドレー・リレー選手権に3:41.7で優勝して1932年ワシントンA.C.の作つた3:47.2の米記を破つた。

エルジ・トレンツ・ペトリ夫人は100碼平泳の米記1:20.8を1:20.2に短縮した。

アーナ・コムバ嬢は200碼背泳2:36.6

ブレーア・アカデミーのエドワードサボルはプリンストン大學の25碼競泳池で100碼自由に53.8を出した。記録は53.4である。

プリンストン大學のワイリーは25碼水路に於て150碼背泳を1:40.0で泳ぐ。

メリー・ルー・ベツタイ嬢は700碼自由に9:40.2で9:51.6の米記を破る。續いてベツタイ・リー、ドリス・バツクレー及びオリーヴ・マツキーンと共に400碼リレーに4:20.4を出して米記4:23.4を破る。マツキーン(米國、100米自由形選手権者)は其100碼を1:04.0で泳いだ。

エール大學のマチオニスは同大學の25碼競泳池に於て220碼2:10.6を出して米國學生記録2:11.5を破つた。

ブレーア・アカデミーのサボルは20碼水路で100碼52.4で米國豫科校20碼記録53.3を破つた。尙同校のワイリアムズ220碼2:18.6。ベイニツカー100碼背泳1:02.6

ニューヨーク女子水泳協會25碼競泳池に於てフリーマン嬢100碼1:05.2ライオン嬢(12年)1:09.8

ハンチントン・ハイスクールのエドワード・ウツドとハーヴァード大學のチャールス・ハツターの兩人がハーヴァートの25碼競泳池に於て50碼自由の

競泳をしたが徹頭徹尾大接戦23.6で同着となつた。又ハーヴァードのグレイ・アム・カムミンは150碼背泳に1:40.0の好記録を出して斯界の注意を惹いた。

ニューヨーク大學とボツセ・カリヂの女子軍がボストンで對抗競技を行つたがニューヨークが30:23で勝つた。ボツセの光一であるフローレンス・マツクヴェーは50碼30.4、100碼1:11.8で勝つた。

エール大學のクツク100碼53.6水路25碼。又ロヂヤースは440碼5:03.8。

別方面の活躍 ジョーン・マチオニス200碼平泳2:28.0米國インターカリヂエイト記録2:27.6に近い優秀なものである。同じくエール大學の中距離のノリス・ホイトは150碼背泳1:41.2のエール記録を作つた。因に米國大學記録1:38.0である。又平泳のジョーン・ヒギンスは500碼自由5:47.6でニューイングランド記録5:55.0を破つた。

ニューヨークA.C.のウォルター・スペンス(36年國籍カナダ)はメトロポリタン選手権の200碼自由に又勝つ。時間2:18.6水路25碼。又彼は2月22日彼のクラブの25碼競泳池に於て100米平泳に1:10.2を出して世界記録と新聞に傳へられたが、世界記録の定め方は瞬間主義で新記録が出れば其瞬間後はそれを凌駕するタイムでなければ認めないことになつてゐるから、別項の如く昨年末ケーズレーが出した1:10.0が認められればスペンスのは問題にならない又其時に100碼平泳1:03.2の世界記録を出したと報ぜられてゐるが之は世界記録ではない。平泳の世界記録は100米、200碼、200米、400米、500米の五種で100碼と云ふ距離はない。米國ではいろいろの種目に就て自國だけで勝手に世界記録を認めてニュース・ヴァリウーをつけてゐる、それを鵜呑みにして通信社や新聞が世界記録だと書き立てるのだから新聞記事を読む時に御用心御用心。

メトロポリタン選手権大會に於て女子飛板飛込は正式にオリムピック種目

を行つたので興味が深かつた。昨夏戶外選手権でホパー嬢に次いで二等になつたジヤニス・リフソン嬢が76:53點で優勝。エリザベスハリソン嬢64.80

アンドヴァー・アカデミーの25碼競泳池に於てジーセフ・バーンズと云ふ新人が背泳に素晴らしい記録を出した。バーンズは最初100碼背泳に1:04.2を出し、其後メドカーフ及びシャンドと組んで150碼メドレー・リレーに1:23.6を出し米國インタースコラスツク記録1:26.0を破つた。

エール大學のジョーン・マチオニスはペンシルヴェニア大學25碼競泳池で行はれたエール對ペンシルヴェニア兩大學對抗競技會で220碼2:11.9を出した。米學聯記録は昨年メヂカの出した2:11.5で0.4秒足りなかつた。對抗競技は52對19でエールの勝。(一月末)

トニー・レツドフアーン嬢(16年)100碼1:05.8一着、メーギス・フリーマン嬢(ジュニア100米選手権保持者)二着、エリザベス・ライオン嬢(12年)1:10.3四着。水路25碼ニューヨーク。

フロリダ州マイアミのビルトモアホテルの例年のクリスマス競泳大會はコーラル・グイブルの戶外長水路プールで三日間開催された。

第一日にキープアーは400米背泳に5:28.6、440碼5:31.2の米國長水路新記録を作つた。440碼の方が比較的遅いのは400のゴールで一度止めてしまつたのを役員から注意されて又泳ぎ出した爲時間がかつた。次いでアーナ・コムバ嬢が200碼背泳2:38.0の米長水路新記録を作つた。

第二日 キープアー200米背2:29.6 220碼背泳2:30.4。アーナ・コムバ300米背泳4:31.4何れも米長水路新記録。

第三日 キープアー100米背1:05.6米長水路新記録。ヴェンデ・ウエーを抜くこと6碼。アーナ・コムバ嬢440碼背泳に於て世界記録1、米長水路記録5を破つた。200碼2:37.0、300米4:25.4 400碼5:29.6、440碼6:04.8何れも新記録。特に最後の440碼(402.336米)6:0

4.8は400米の世界記録6:05.0を破つてゐる。ヴェンデ・ウゼー150碼背泳1:41.3米水路新記録。尙同時に100碼1:03.0で之も新記録。女子の自由形はあまり芳ばしくない成績であつた。レノア・カイト・ウインガード夫人は400碼の米長水路記録更新を試み5:14.4を得たが和蘭のデン・オウテン漢の400米(437.44碼)5:16.0に比すると途尙遙なりの感がある。ドロシア・ドイツキンソレ嬢100米自由1:11.2。エルジー・フアーリル嬢100碼自由1:05.8

レオナード・スペインス(國籍英領ギアナ)は100米及150碼平泳の米長水路記録更新を試みたが1:14.0及2:00.1で失敗した。

戶外シーズンではコムパ姉妹の内妹のエリザベスが姉のアーナを喰つて優位を持してゐたが今回は姉の方が優位となつた。

ジャック・ケーズレー(ミシガン大學)は昨年の日米大會に來朝して以來めきめき腕を上げて盛に活躍してゐるが十二月にアン・アーバーのミシガン大學25碼プールで100米平泳1:10.0の世界新記録を作つた。現在の最高記録はヒギンス(米國)1:10.8(25碼水路)ケーズレーは途中100碼に於て1:03.5を出しヒギンスの米國記録1:04.3を破つた。ケーズレーの泳ぎ方は勿論バターフライ。50碼は8.3で米記録29.6を破つたが計時員が二名だつたので公式記録とはならなかつた。然し100米の方は公認計時員が四名計時したので無論公式記録として申請された。

ハーヴァード大學二年生チャールズハッター100碼自由0:52.4ハーヴァード記録。水路25碼。相當に強い220碼2:15.5。

ニューヨーク25碼。女子メトロポリタン選手権500碼自由ドロシア・ドイツキンソレ嬢34.0優勝。二等ドロレスミス0碼後れる。

テトロイト、25碼。女子100碼自由形ハミラ・トムキ1:02.0。クロアチア・エツカート1:02.6

ニューヘヴン、25碼。エール大學ジョン・マチオニス220碼自由2:13.2東部學生新記録(米國學生記録は2:11.5メテイカ)

ダニエル・セーア(ノースウエスタン大學新入生)は此頃クロールに専心してシカゴ大學との對抗競技に440碼自由に5:08.0で優勝した。

又ノースウエスタンの20碼プールに於て150碼背泳1:43.3、100碼自由57.6、200碼自由2:09.5

エルジー・トレンツ・ベトリ夫人はブルクリンに於て200碼平泳3:00.8途中100碼、1:23.0。

ジョーン・ヒギンス(オルニーヴァール・ボーイス・クラブ)200米平泳2:40.6米記録、水路25碼。之は50米水路で2:44.6位になる。

ニューヨーク市デヨーダ、ウオシントン・ハイスchoolのトミー・マツグダーモット(17年)は一月十四日25碼水路で50碼28.4の新ニューヨーク・パブリックスクールの記録を出した。舊記録は1927にコージャツクの作つた29.0であつた。尙マツグダーモットは今シーズン既に100碼自由55.0の記録を53.2に、220碼2:22.6を2:22.2更に正してゐる。

ニューヨークのドラゴンクラブのレスター・カプランは100碼平泳1:05.5。水路25碼、

キツフアスの新案 日米戦の米軍總帥として三回も來朝して皆様御承知のエール大學コーチのボツア・キツフアスは最近潜水具をつけてプールの底に沈んで泳者のフォームを見たが大變工合がよかつたので今後コーチの常用とせしやうと計畫されてゐる。キツフアスが處女潜水から上つて語つて曰はく、「泳者の本當の形を見たり、バランスや進行或は技術を精確に研究するには之に限る、上から見るよりも本當の形が見える。自分は總べてのコーチに水中觀察を推奨する。」日本の識者語つて曰はく「上から見たので澤山だ。潜つて新発見をしたと云ふのならキツフア

スは今迄泳ぎが解らなかつたのだ」

アリス・ブリツアエスは昨年スランプであつたが最近回復した。一月20碼プールに於て200碼背泳2:33.4、220碼背泳2:49.2の米20碼記録を作つた。

南加大學生であるドロシー・スミソンは100米自由1:11.2を出した。水路は明でないが25碼であらう。

ハワイのデューク、カハナモクは當年46年になるが未だ水泳を捨てない。目下濠洲から招かれて各地で演技を行つてゐる。カハナモリは三人兄弟中の長兄で1912年ストックホルム及び1920年アンヴェルズ・オリムピアドに100米自由に優勝、クロールをオリムピック競技で泳いだ最初の人である。當時短距離王として君臨してゐたが1924年パリ・オリムピアドに於てはワイスマユラーに破れて三位となり王位をワイスマユラーに譲つた。次弟のサムが此時二位であつた。1926年我國にハワイ軍の一員として來朝したのはサムである末弟のサーチャントも泳いでゐたが先年米船のバンド・コンダクターとして入港して新聞にサムと間違へられて紙面を賑はした事がある。

ミシガン大學のコーチ、マツト・マンが行つた試泳會に於て220碼2:20.0以下のものが七名あつた。100碼背泳はドライステール1:00.3、コティエ(新入生)1:02.4、ヘーニー1:03.8。50碼自由に於ては新入生のエドワード・カーラーが22.9を出した。米記録22.6フィツクには及ばないが好記録である。

## 和 蘭

1935年和蘭女子選手権50米水路100米自由デン・オウテン1:07.0、400米自由マステンプロエク5:38.7、200米平泳カステイン3:13.4、100米背泳センフ1:21.0、400米リレーロツテルダム女子水泳クラブ4:53.0

和蘭の女子の短水路記録は屢々報道されてゐるが長水路のものはあまり報導されてゐない。之はベルリン・オリムピアドに對するよい資料である。

オランダのリタ・マステンプロエグ(15年)はコーペンハーゲンに於ける競技會で400米背泳5:59.8の世界記録を出した。水路25米。前記録は同嬢の6:05.0。尙最近米國でアーナ・コムパ囊が6:04.8の新記録を作つてゐるが之も破つてゐる。同競技に於てデンマルクのトーヴェ・ニールセン嬢が6:06.3で二等となり丁抹記録を作つた。

同日の競技會中400米自由形にヒエルト嬢と云ふ新人が登場して5:27.8の丁抹記録を作つて優勝。二等はマステンプロエグ(和蘭)5:28.2。

## フィンランド

フィンランドのイルマリ・ヘイメライネンが昨年ストックホルムで飛板飛込に184.0の得點をして飛板飛込の得點に於ける世界記録を作つたと報ぜられてゐたが詳報によると、該競技會はF.I.N.A.式採點によらなかつたものであるから此得點は技術の標準とならない。國際式採點で行つた其後の競技會に於て獨乙のウインフリード・マールウムの143.16に對して126.55で破れてゐる。飛板飛込の得點の最高記録は昨年全米室内大會でデダナーの作つた。180.86が依然として残つてゐる。

## ドイツ

ハンニ・ホエルツナー嬢は二月十七日ベルリンに於て100米平泳1:23.4、二月二十一日プラウエンに於て200碼平泳2:42.7の二つの新世界記録を樹立した。水路は兩者共電報に記されていないが前者は25米、後者は25碼だらうと推察される。

ヨアヒム・バルケ(18年)200米平泳2:48.0(25米水路)。ドゥイスブルク。

マルタ・ゲネンガー嬢200米平泳3:04.4(25米水路)ドゥイスブルク。

ワルター・ビル(14年)200米自由2:27.5、50米自由27.3(50米水路)ベルリン。

インゲ・シユミツ嬢(13年)50米自由31.3、100米自由1:13.9、100米背泳1:28.2(50米水路)ベルリン。

## ロシア

獨逸でホエルツナー嬢が二月十七日に100米平泳に1:23.4の世界記録を作つた。しかも其同日にモスコウの25米競泳池に於てマリヤ・ソコロヴァ嬢が1:23.0を出した。ロシアが國際水泳聯盟に入つてゐないから問題も起るまいが若しも加盟國だとするとどちらが先に作られたかが問題となつてホエルツナーの記録がリストされるかされないかと云ふことになる。其「先き」と云ふことも地方標準時で行くのでは遅速が判明しないから、どうしても日本の提案の様にグリーンニツチ・タイムで前後をきめる必要が生じて来る。

ロシアのホイチエンニがモスコウの25米競泳池で100米平泳に1:08.0を出した。之は正式ならば世界記録であるがロシアは國際水泳聯盟に加盟してゐないので登録されない。

レオニド・メシエトヴが二月上旬モスクワで200米平泳に2:42.0の世界記録を作つたと云ふ電報が發せられたが之に關して米國の有名なコーチであるハンドレーは次の様に物語る「冗談いつちやいけねえや。200米平泳は去年中に二度も2:42.0を破つてゐる。ジャパンのレイツ・コイケは50米バスで2:41.2、フランスのジャック・キヤルトンネは25米プールで2:39.6を出してゐる。此間國際水泳聯盟で發表した世界記録の表にキヤルトンネのやつが御採用になつてゐる。今時2:42.0で世界記録で候のなんてちやんちやらおかしいや。傳手だから云ふが國際水泳聯盟が長水路でも短水路でもかまわずに只時間の速い奴を採用するのは頗るおかしいや。折り返しの得を勘定して見るとコイケの記録の方がキヤルトンネのよりもずつと見事だ。25米水路ならば2:37.0と云ふ記録になる奴だが之を少しも問題にしないのであるから變なものだ。然し之も考へやうによつちや世界記録に長短兩水路の二組を設けると云ふ論者に都合の好い理屈をこしらへてやつた様なものだ」

## オーストラリア

ニュージールランドのピーター・マシ

ーソンは濠洲に遠征してシドニーに於てニュー・サウス・ウエールズ選手権110碼背泳に保持者レザナルド・クラークを2碼抜いて1:15.0で優勝した。

ホレニー・ミーリング嬢は100碼背泳にバトリシア・ノートン嬢(16年)に1:14.2で破られた。水路は共に55碼。

今シーズン背泳の新記録を盛に作つてゐるパーシー・オリヴァー(17年)はパースの50碼水路に於て220碼背泳の濠洲記録を二回破つた。最初は彼自身の申請中の記録2:46.6を2:42.0に短縮し、其後更に之を2:39.4にした。

バトリシア・ノートン嬢はシドニー市マンリークラブの競技會に於て波立つ55碼水路で200碼自由2:46.2の好記録を出した。

パーシー・オリヴァー(17)440碼背泳5:48。舊記録6:11.6、途中220碼2:46.6舊記録2:47.2。水路33 $\frac{1}{3}$ 碼、パース。

バトリシア・ノートンとキツテイ・マツケの兩嬢は濠洲女子短距離の双壁であるが此程シドニーに於て55碼直水路で争つた處マツケは31.2で對記録、ノートンは31.0で非公式に濠洲記録を破つた。同日マツケは100碼1:04.8を出した。此タイムは今期濠洲に於ける最優記録である。

キツテイ・マツケ嬢110碼(100.585米)1:10.2シドニー長水路。濠洲記録100米1:10.6を破る。

ノーエル・ライオン・シドニー、マンリークラブ選手権に於て880碼10:53.2好調とは云へない。

## フランス

現在200碼及200米平泳の世界記録保持者であるジャック・キヤルトンネはベルリンオリンピックに出場しないと云ふ聲明を發表した。アルジエールに於ける競技會に出場を約しながら競技しなかつた爲めフランス水泳聯盟から處罰された。キヤルトンネの釋明によると北アフリカへの飛行旅行で甚だ

草勞れてホテルで睡つてしまつて競技會に間に合はなかつたのださうだ。此處罰に奮慨した彼は直にベルリンの仕會に出場しないと聲明を發表した。

ジャン・タリス400米4:58.2 50米水路、パリ。

アルベル・フアイユ10米背泳1:11.2 佛對記。

ギヤスト・ボロツコ100米自由1:01.2

フランスのクロールのピカーであるタリスと平泳の世界記録保持者キャルトンネが100米自由を競つた。75米迄は併行してゐたが、それからタリスが出て1:00.2で勝つた。キャルトンネは1:00.6(25米水路)

キャルトンネは例年冬パリで行はれるセイメ川横断競泳に2:23.4で優勝した。

パリ25米水路。レテリエ嬢女子100米平泳1:31.0新記録、テレーセ・プロンドー嬢背泳選手権保持者は50米自由形に30.8の對記録を出した。北アフリカ出身のナカシュは50米記録27.0撃破を試みたが27.3で失敗した。

### デンマルク

ラゲンヒルト、ホエゲル嬢(15年)はヨーペンハーグの25米競泳池に於て410碼自由形 5:29.9で米國レノア・カイト・ウキンガード夫人の保持する5:30.0の世界記録を破つて新世界記録を樹立した。尙同嬢はその二三週間内にやはり25米水路に於て20米2:31.7、400米5:27.8、500米6:53.7を出した。何れも一流のタイムである。尙同競技會に於てジョーン・クリステンセン100米自由1:00.5丁記を出し 和蘭のマスタープロエク嬢は100米背泳1:18.0 丁抹のトーフエ・ブルンストローム嬢は1:20.4であつた。

### ハンガリ

100米自由形の歐洲記録57.8の保持者、歐洲の短距離王、ハンガリのフェレンク・チツクは前から時々平泳をやつてゐたが最近 33<sup>1</sup>/<sub>3</sub>米水路に於て200米平泳2:52.0米のハンガリ記録を作つ

た。

又同國のレンジエルは800、1500の選手権保持者であるが背泳に手を出して200米背泳2:43.8、400米背泳の5:41.4の新記録を出した。

エンメルゴモス 100米背泳1:12.0 洪記(33<sup>1</sup>/<sub>3</sub>米水路) アダベスト

### スペイン

マノロ・マルチネス400米背泳5:50.3 舊西記6:03.0を破る。水路25米、マドリ。

### 南アフリカ

ケープタウン、ジョーン・ロイデル 220碼自由2:34.8。パトリシヤ・ダウンス嬢220碼自由3:02.2。

1935年選手権者と記録○印は記録自由

100碼	ジュウイツアー	56.6
○	メイ	55.8
220碼	ジュウイツアー	2:27.2
○	メイ	2:24.8
500碼	○フオスター	6:09.4
880碼	○フオスター	11:18.0
背泳		
150碼	○メイ	1:45.6
平泳		
200碼	ユイル	2:51.8
○	ユイル	2:44.6
女子自由		
100碼	マーカル	1:05.2
○	ラツセル	1:02.6
220碼	○マーカル	2:40.4
500碼	○マーカル	6:33.8
背泳		
150碼	○オリヴァー	2:03.2
平泳		
200碼	マーカル	3:06.0
○	マーカル	2:57.4



### 各大學の新陣容

今年各大學の本年度卒業した選手は早大に坂上、高橋、志村、勝久、立教は根上、商大は清川、國大は井上であるが、各大學の新人は次の様である。早大は背泳の吉田(佐伯中)、自由形の杉浦(見附中)の新人を加へてゐる。

他にも峰隆茂(白杵中)、田中英作(田邊中)抱勝(茨木中)、河野忠弘(市岡中)、河野一民(千葉中)が入學してゐる。飛込に賀茂(住吉中)が加つて早大の飛込陣を一層充實せしめた。立教には短距離の新井茂雄(濱登)が入學し、他に本間俊夫(佐渡中)、脊泳に、

門屋桂(北豫中)、坂本响一(宮崎中)、平泳の上山茂徳(瀧川中)が加つてゐる。日大には豊田選手を送つたのみで、新しく日大三中から平野亮が入學したが目下健康を害して當分休養せねばなるまい。他に中村(袋井商)、背泳に下田(鹿本中)、平泳に田口(日大三中)、林田(瀧川中)が入學してゐる。慶應には自由形の高尾(臺北一中)、背泳に兒島(修道)志波(靜中)の新人を加へたが明大に大横田選手を送り新人を見ない。その他北村が三高に、長谷川が高松高商が行き、帝大には一高の赤澤選手が入學した。

(カットはベルリン市のマーク)

# 歐 洲 記 録 1936年1月1日

## 男 子 自 由 形

100米	チ ツ ク	洪	57.8	1935	Budapest	50米
200米	タ リ ス	佛	2:12.2	1932	Reims	25米
300米	タ リ ス	佛	3:27.6	1931	Reims	25米
400米	タ リ ス	佛	4:47.0	1931	Paris	33 <sup>1</sup> / <sub>3</sub> 米
500米	タ リ ス	佛	6:01.2	1932	Reims	25米
800米	タ リ ス	佛	10:15.6	1932	Cannes	50米
1000米	タ リ ス	佛	12:57.6	1932	Paris	50米
1500米	アルネ・ボリー	瑞	19:07.2	1927	Bologne	50米
リレー4×200	洪牙利	洪	9:24.8	1935	Budapest	50米

## 平 泳

100米	キャルトンネ	佛	1:11.0	1935	Paris	2 <sup>7</sup> / <sub>10</sub> 碼
200米	キャルトンネ	佛	2:39.6	1935	Paris	25碼
400米	ラーテマツヘル	獨	5:50.2	1926	NewHarven	25碼
5.0米	イエンセン	丁	7:30.7	1935	Aarhus	25米鹽

## 背 泳

10米	キユツパース	獨	1:08.8	1929	Ruhrort	25米
200米	ゲルステンベルク	獨	2:34.2	1935	Magdeburg	25米
400米	ゲルステンベルク	獨	5:30.0	1935	Magdeburg	25米

## 女 子 自 由 形

100米	デン・オウデン	蘭	1:04.8	1934	Rotterdam	25米
200米	デン・オウデン	蘭	2:25.3	1935	Copenhagen	25米
300米	デン・オウデン	蘭	3:50.4	1935	Copenhagen	25米
400米	デン・オウデン	蘭	5:16.0	1934	Rotterdam	25米
500米	デン・オウデン	蘭	6:48.4	1935	Rotterdam	25米
800米	アンデルセン	丁	12:07.8	1933	Copenhagen	50米
1000米	ゴダール	佛	15:18.6	1931	Paris	50米
1500米	ゴダール	佛	23:32.4	1931	Paris	50米
リレー4×100米	和蘭	蘭	4:33.3	1934	Rotterdam	25米

## 平 泳

100米	ホエルツナー	獨	1:24.5	1935	Copenhagen	25米
200米	ゲネンガー	獨	3:00.8	1935	Düsseldorf	25米
400米	ゲネンガー	獨	6:28.3	1935	Düsseldorf	25米
500米	カステイン	蘭	8:12.0	1932	Amsterdam	25米

## 背 泳

100米	マステンプロエク	蘭	1:16.8	1934	Düsseldorf	25米
200米	マステンプロエク	蘭	2:49.6	1935	Amsterdam	25米
400米	マステンプロエク	蘭	6:05.0	1935	Basel	25米

# フ ラ ンス 記 録 年 1936年1月1日

## 男 子 自 由 形

100米	タ リ ス		59.8	1931	Molitor	33 <sup>1</sup> / <sub>3</sub> 米
200米	タ リ ス		2:12.2	1932	Reims	25米
300米	タ リ ス		3:27.6	1931	Reims	25米
400米	タ リ ス		4:47.0	1931	Molitor	33 <sup>1</sup> / <sub>3</sub> 米
500米	タ リ ス		6:01.2	1931	Reims	25米
800米	タ リ ス		10:15.6	1932	Connes	50米
1000米	タ リ ス		12:57.6	1932	molitot	50米
1500米	タ リ ス		19:59.0	1932	La Gare	50米
リレー4×200	C.N.Paris		9:49.6	1934	Tourelles	50米

## 平 泳

100米	キャルトンネ		1:11.0	1935	Lido	25碼
200米	キャルトンネ		2:39.6	1935	Lido	25碼
400米	シェーベル		6:07.2	1934	Menton	25米
500米	シェーベル		7:46.4	1934	Menton	25米

## 背 泳

100米	フアイユ		1:11.2	1935	Cler.Frd	25米
200米	フアイユ		2:45.0	1930	Cler.Ferr	25米
400米	フアイユ		5:51.4	1930	Cler.Ferr	2米

## 女 子 自 由 形

100米	レネ・ブロンドー		1:08.8	1935	Tourelles	50米
200米	ゴダール		2:42.0	1932	Molitor	33 <sup>1</sup> / <sub>3</sub> 米
300米	フロエーレ		4:17.6	1935	Tourelles	50米
400米	フロエーレ		5:47.6	1935	Tourelles	50米
500米	ゴダール		7:25.8	1930	La Gare	50米
800米	ゴダール		12:18.8	1931	Molitor	50米
1000米	ゴダール		15:18.6	1931	Molitor	50米
1500米	ゴダール		23:32.6	1931	Molitor	50米
リレー4×100米	Mouettes		5:05.8	1934	Molitor	33 <sup>1</sup> / <sub>3</sub> 米

## 平 泳

100米	ルトロリエ		1:31.0	1935	La Gare	25米
200米	マンソ		3:24.4	1932	C.N.Mars	25米

## 背 泳

100米	テレーセ・ブロンドー	名	1:21.0	1924	Sittard	50米
200米	テレーセ・ブロンドー	名	3:04.2	1935	Tourelles	50米
400米	テレーセ・ブロンドー	名	6:40.2	1931	Lido	25米



# 昭和十一年臨事代議員會議事録

日時 二月十日午後六時

場所 丸ノ内中央亭

## 出席者

名譽主席 田畑 政治 名譽會計 奥野 良

## 水上競技聯盟本部

松澤 一鶴 飯田 光太郎 野田 一雄  
白山 源三郎 吉本 祐一 澤田 武治  
島崎 保正 原 秀夫 西本 龍三  
白山 廣子

北海道 松浦武雄、山形 保谷俊幸、茨城 小林三次、千葉 松木鐵太郎、關東 根來幸成、横濱 白山源三郎、新潟 鈴木吉之助、酒井由郎、靜浦 大橋國太郎、齋藤亨、野尻湖 高橋庄之助、濱名灣 山本操、石川 紫原恒雄、名古屋 島井義紀、清川正二、三重 梅田利兵衛、京都 深山泉、大阪 杉本傳、齋藤巍洋、兵庫 小山賢之助、香川 渡邊延、和歌山 (代)根來幸成、松江 米田勇次郎、廣島 土井修爾、福岡 安永弘、朝鮮 三嶋清

## 日本學生水上競技聯盟

渡邊寛二郎、栖原正、根上博、坂上安太郎、野村弘、河津憲太郎、清川正二

末弘會長不快の爲め缺席、田畑名譽主席議長となり議事進行

## 報告事項

一、昭和十年十二月十八日 在京代議員會議決議事項確認

### 二、競泳冬季合宿報告

(松澤一鶴) 軍人會館宿泊市立一中プール使用十二月廿五日より一月七日まで、野田務、明文一兩氏缺席の外オリムピック候補全員出席經過は次回雑誌「水泳」参照ありたし、方針として身體を鍛へ泳ぎの改造を主とせること(齋藤巍洋) ティーム統制は良く行はれ今回の合宿の効果は必ず今後の競技會に表はれる事を確信すと報告

### 三、飛込冬季合宿報告

(原秀夫) 一月二十日より一週間、日本青年會館、市立一中プール使用、オリムピック候補十名の内西尾、原西三氏缺席、短期合宿に付今後各自守るべき練習方法の協議を主とせること

### 四、水球冬季合同練習報告

(土井修爾) 目下帝大タンクにて左記三原則の下に合同練習中

a. 選手の精神的結合、b. 規律動作の習得、c. 體力の保持増進

### 五、加盟團體オリムピック準備報告

#### a. 水球冬季合同練習

一月二十日より四月十五日まで 於帝大プール

四月十六日より五月四日まで 於早高プール

五月五日より五月十八日まで 於早大東伏見プール

五月二十日より六月五日まで 早高プール

#### b. 關東女子部(白山廣子)

十二月一日より府立第六高女プール使用、競泳飛込のオリムピック候補者少數のため、有望選手を含め目下合同練習中

#### c. 關西女子部(深山泉)

オリムピック候補者十五名、府立第一高女プール及雨天體操場使用、コーチ松澤初穂氏、補助運動を主として行ふ

## 六、水泳指導者資格證に付(白山源三郎)

指導者講習會にて試験に合格したる人には資格證を交付す又無試験檢定により有資格者に資格證を交付し指導者の統制をなす。全國に居る有資格者は各加盟團體より寫眞、戸籍謄本、履歷書等相添へ推薦し來ること。詳細は追て發表すべし。

## 七、日本學生水上競技聯盟改組に付代議員追加四名可決

渡邊寛二郎、藤原豊、栖原正、河津憲太郎

## 議 事

### 一、スケジュールの件

- 三重水上競技聯盟より全國女子大會及全國大會を名古屋にて開催希望あり協議の結果全國競泳飛込大會を名古屋にて開催可決す。
- 全國女子大會及全國女子中等學校大會は大阪水泳協會にて開催可決す。
- 水球選手權大會は關西地方にて開催
- オリムピック第三回豫選會を東京、大阪にて開催可決す。
- 女子オリムピック候補(競泳及飛込)は東京に於ける第三次豫選に出場し得、但し等外とす。生理的その他の原因により第三回及最終豫選會の成績を考慮してオリムピック選手を決定す。
- オリムピック第三回豫選會開催は水上聯盟會計のこと。
- 第三回豫選會には申込金壹圓也を取ることを。
- その他のスケジュールは原案通り可決

二、日本選手權大會兼オリムピック最終豫選會は本年に限り地方豫選を行はず東京及大阪に於て第三回オリムピック豫選會を開き地方豫選に代へるものとす。

三、全國女子大會及全國女子中等學校大會開催に付プール代及メダル代を限度として水上競技聯盟にて負擔すること。

四、地方選手權大會は七月中或は八月上旬の適當なる時期

(全國大會の少くとも一週間前のこと)に行ひ之を以て全國大會の豫選とすること。

五、地方加盟團體選手權大會は規約通り本年と雖も之を行ふ事を要す。

六、全國競泳大會に出場する選手は必ず地方豫選の入選者に限る。

七、全國女子中等學校の地方豫選會には水上競技聯盟よりトロフィーを出すこと可決。

八、牧野正藏君八百米世界記録證到着に付發表

九、水上競技「規定」規約改正、(飲田光太郎)別紙プリント通り可決字句其の他は常務理事會一任のこと。

十、水上競技聯盟財政計畫に付末弘會長缺席の爲め左記事項のみ決定、機關雜誌「水泳」を加盟團體Aクラス十部、Bクラス五部を最少として引受けること。

十一、オリムピック役員補充ある場合は會長、名譽主事一任の事に可決

(午後十一時散會)

### 決定スケジュール

五月二十三、二十四日 オリムピック第三回豫選會、東京及大阪(飛込は東京のみ)

五月二十九、三十、三十一日 (東京)日本選手權水上競技會兼オリムピック最終豫選(男女子競泳飛込及水球)

六月六日 (東京)三大學對抗水上競技會

六月七日 (東京)早慶對抗水上競技會

八月一、二日 各地方女子中等學校大會

各加盟團體は地方選手權兼全國大會豫選會を行ふこと

八月八、九日 (大阪)全國女子中等學校大會及全國女子大會

八月十五、十六日 (名古屋)全國競泳及飛込大會

八月二十二、二十三日 男子中等學校大會(東部西部)

八月二十九、三十日 (東京)日本中等學校大會

九月十二、十三日 インターカレッジ(關東、關西、東海)

九月十八、十九、二十日 (東京)日本學生水上競技大會

### 聯盟規約及競技規則其他改正の件

**決定事項要録** 改正規定は本年五月聯盟より發行する「水泳年鑑」に掲載するにより詳細は夫を見られたし。

規約第二條第一項のみを存し他は第三條へ挿入

第五條 全國學生水上競技聯盟を日本學生水上競技聯盟に改正、測定委員を新設

第十條 全國學生水上競技聯盟選出代議員九名を日本學生水上競技聯盟選出代議員十一名に改正

第十三條 記録委員の任務中測量測時に關する分を除く「測定委員は計時及測量に關する部門を擔當し測量者及競泳池公認の審査をなす」挿入

第二十四條、第二十五條 公認競技會の次に試泳會其他を挿入

第二十六條 「水上競技の日本選手競技會を開く事を許さず」の次に「尙全國、全日本又は同意の語句を冠せる競技會を開催せんとする場合は聯盟理事會の承認を

得たる後發表すべし」を追加

トロフィー規則第五條

濠洲トロフィー(男子八百米自由形) 本年度より日本學生水上競技聯盟へ移管

西郷從徳トロフィー(女子四百米リレー) 本年度より女子二百米平泳に変更

太田正隆記念トロフィー(新設) 女子百米背泳

尙昨年より大澤保三郎記念トロフィー(女子百米自由形)追加せられ、又廢止せるものあり。

競技規則 競泳

第一條 役員(D)の内に「監察員二名以上」を加ふ。尙(E)の次に「監察員は泳法、折返、引繼其他競泳中一切の審判をなす但し決定は審判長之をなす」を(F)として加へ以下順次繰下る。

第三條 出發 反則出發の際端壁面に戻りて蹴出して再出發を許容する。

第八條 平泳(c)「兩足を同時に縮め膝を曲げつゝ開きそれより縮めたる足を外方へ丸く蹴出して兩足を合すべし」と改正

第九條 背泳(b)「泳ぐべし」の次に「體の面が水面に對する角度は九十度を超すべからず」を挿入

第十一條 メドレー 此條削除以下順次繰上る。

第十五條 日本記録及び日本國際記録は第十四條日本記録日本短水路記録及び日本國際記録となりメドレーを削除。「單獨競泳」を「公認試泳」に変更

第十七條 水泳着 第十六條となり(C)「頸の裂りは頸の付根より前12センチメートル、後23センチメートル以内とす」に改正

競泳池公認規定 「競泳池の公認に就いて」と題して昨年發行せるパンフレット所載の如く改正せらる。但少許の變更あり。

### オリムピック第三回豫選會要項

本豫選會は昨秋既に銓衡を了せるオリムピック候補者以外の各地競技者に對し參加せしむるものにして、各種目決勝三等迄の入選者を以てオリムピック全國最終豫選會に出場資格を與ふるものとす。但し水球競技に關しては別項の如く最終豫選會のみを實施す。競泳及飛込を通じ女子種目には既に銓衡せられたる女子候補者の出場を許可す。女子候補者の出場は銓衡の關係上東京大會のみに限るものとす、候補者出場ある場合には之を除きて參加者の最終豫選會に出場資格を考慮するものとす。

競 泳 (男子・女子)

一、期 日 五月二十三日(土曜)

五月二十四日(日曜)兩日とも晝間の事

但し申込者少數の場合は二十四日(日)のみにて行ふ事あるべし

二、場 所 東京神宮水泳場  
大阪寶塚プール

- 三、申込締切 五月十六日左記事務所到着の事
- 四、申込手續 申込者は別項注意参照の上本聯盟申込用紙(各加盟團體にあり)の各項に記入の上、各加盟團體を通じて東京或は大坂大會に申込み事
- 五、申込金一人壹圓也申込書と同時に納入の事
- 六、加盟團體は受け付けたる申込書を左記事務所に送附すべし(五月十六日迄到着受)

東京大會 日本水上競技聯盟宛  
 東京市麴町區丸ノ内丸ビル八階八〇五  
 加盟團體 新潟、野尻湖、濱名灣、以東は東京大會の事

大阪大會 大阪市北區新川崎町  
 三菱礦業大阪製煉所 足立祐次氣付  
 加盟團體 富山、名古屋以西は大阪大會の事

- 七、種目 一人二種目迄申込み事を得  
 男子自由形 100, 200, 400, 1500. 背泳100. 平泳200.  
 女子自由形 100, 400. 背泳100. 平泳200.

#### 飛 込 (男子・女子)

- 一、期 日 五月廿三、廿四日 兩日とも晝間の事  
 但し廿四日のみになる事あるべし
- 二、場 所 東京 神宮プール(東京大會のみ)
- 三、申込締切 五月十六日日水上競技聯盟事務所到着の事
- 四、申込手續 本聯盟申込用紙(各加盟團體にあり)各項に記入の上、選擇飛申込書相添へ各加盟團體を通じて東京に申込み事
- 五、種 目 高飛込、飛板飛込 男子女子共
- 六、申込金 一人金壹圓也申込書と同時に納入の事

#### 水 球

- 一、期 日 六月六日(土曜)
- 二、場 所 東京 神宮プール  
 (最終豫選のみ行ふ)
- 三、申込締切 五月廿一日日本聯盟事務所到着の事
- 四、申込手續 本聯盟用紙の各項に記入の上各加盟團體を通じ東京に申込み事  
 (一チーム十一名迄申込み事を得)
- 五、申込金 一チーム金拾圓也  
 申込と同時に納入のこと  
 尚、競技會運行の必要上責任者に於て宣誓を同時に提出すべし
- 六、水球競技はオリンピック選手候補チームにチャレンジするものとす

### オリンピック第三回豫選會 申込者に對する注意事項

オリンピック第三回豫選に申込み者は全部オリンピック代表選手として日本出發の用意をして申込みざる時は代表選手として入選しても外國への旅券(特にソヴェートにて長時日を要す)下附等の手續上の不備の爲遠征出來ぬ場

合があるから、左記の條項は必ず嚴守の事

- 一、兵役に關する件  
 各區役所町村役場にて手續上の問合せをする事
- 二、兵役に關し何年何月徴兵検査の結果甲種合格何聯隊に入營何年何月滿期退營を記載すべし
- 三、戸籍抄本 二通提出の事
- 四、手札形半身寫眞 三枚提出の事
- 五、官省學校及會社等に就職せる者は上記責任者の海外渡航承諾書を必ず添附すべし
- 六、印鑑、外務省旅券下附願書には本人の印鑑必要に付必ず提出の事(但し認印にてよし)
- 七、第三回豫選會入選者にして最終豫選の結果代表選手に銓衡せられたる者は歸省する期間なきに付代表選手に選ばれる豫定にて出郷せられたし

## 水泳指導者資格檢定規則

- 一、日本水上競技聯盟は毎年少くとも一回水泳指導者資格檢定試験を行ふ。
- 二、水泳指導者資格檢定委員は標準泳法委員會の推薦に依り聯盟會長之を委嘱し、任期を一ケ年とす。
- 三、檢定委員中一名を委員長とす、委員長は全般を統轄す。
- 四、檢定試験は毎年講習會(七月一日-十日)終了後定期に之を行ふ。但臨時之を行ふ事あるべし。
- 五、檢定試験は標準泳法の示す所に従ひ實技と筆答又は口答に依り之を行ふ。講習會終了者には試験課目を限定することある可し。
- 六、實技は標準泳法及救助法に依り之を行ふ。
  - 1 潜 水 25米
  - 2 クロール 100米(男 1:30.0以内)  
 (女 2:00.0以内)
  - 3 背 泳 50米(男 1:00.0以内)  
 (女 1:20.0以内)
  - 4 平 泳 100米(男 2:00.0以内)  
 (女 2:40.0以内)
  - 5 拔 手
  - 6 立 泳
  - 7 飛 込
  - 8 伸 泳(技術判定)
  - 9 浮 身
  - 10 500米以上泳ぎ得る事
  - 11 救 助 法
- 七、筆答又は口答試験は主として本年度發行の水泳指導要項所掲に依り之を行ふ。
- 八、試験の結果を基とし委員會 衡に依り合格者を決定す
- 九、試験合格者にして資格證書を希望するものは左の書類を添付し聯盟宛申出ずべし。

#### 一、履 歷 書

- 一、水泳履歷(練習地、教師、修業年限階級其他)
- 一、戸籍抄本
- 一、寫眞二枚(パスポート形)自署をなすこと

十、加盟團體の推薦により検定委員の議を經、理事會の決議により資格證書を授與することを得

十一、水泳指導者資格検定試験期日

七月十日午後 (實技)

七月十一日 (實技)

七月十二日 (筆答口答)試験

十二、検定料

検定料は二圓とす。但し講習會員にして引續き検定を受ける場合には検定料一圓とす。尙當聯盟の認むる講習會を經たるものは當講習會員に準ず。

十三、申込方法

受檢者は來る七月一日迄に左記事項記載の上申込のこと

一、氏名 二、勤先及住所 三、男女別 四、生年月日 五、水泳經歷

十四、昭和十一年度資格検定委員左の如し

(主)石本巳四雄	飯田光太郎	本田 存
岡本 勁一	松澤 一鶴	原 正一
白山源三郎	佐々木 救	森 秀臣
吉本 祐一	島崎 保正	小林 三次
水谷 泰夫	中村 豊	岡田 辰雄
野田 一雄	齋藤武五郎	笹島彦次郎

### 聯盟日記

- 1月7日 男子競泳オリンピック候補合宿解散
  - 8日 事務所開く
  - 10日 編輯委員會 事務所
  - 13日 理事會 事務所
  - 20日 男子飛込オリンピック候補合宿始る
- 日本青年館
- 飛込委員會 日本青年館
  - 標準泳法委員會 事務所
  - 21日 本年度スケジュール相談會 事務所
  - 22日 學聯水球委員會 事務所
  - 25日 第二回日米對抗リレーに朝日賞を贈らる。
  - 26日 世界記録發表
  - 男子飛込オリンピック候補合宿終る
  - 28日 學聯實行委員會總務委員會 朝日新聞社
  - 2月5日 理事會 事務所
  - 6日 牧野選手の800米自由形に對し世界記録のメダル着く(昨年度よりバツザなメダルに変更)
  - 7日 水泳35號發行
  - 10日 水聯臨時代議委員會 丸ノ内中央亭
  - 學聯常任委員會 事務所
  - 17日 オリンピック候補春打合せ會 事務所
  - 立大日大明大委員打合せ會 事務所
  - 18日 水泳史研究會標準泳法委員會 事務所
  - 19日 關東女子部委員會 事務所
  - 20日 水泳37、38倍號發行
  - 3月4日 定例理事會 事務所
  - 8日 關東女子競泳記録會 府立六高女
  - 16日 理事會 事務所
  - 17日 春季合宿打合せ會 事務所
  - 標準泳法委員會 事務所
  - 3月21日 男子競泳飛込オリンピック候補合宿始る
  - 合宿所 競泳 東京基督教青年會
  - 飛込 本郷館
  - プール 競泳飛込共に東京帝大室内プール
  - 3月22日 女子競泳飛込オリンピック候補合宿始る
  - 合宿所 基督教女子青年會
  - プール 競泳 女子青年會プール

#### 水泳指導者資格検定申込書

今般貴聯盟水泳指導者資格検定試験規則に據り検定に参加致し度く此段申込候也

昭和 年 月 日

住所

氏名 男  
女

年 月 日生

職業

勤先

添附書類

一、履歷書

一、水泳履歷(練習地 教師、修業年限 階級其他)

氏名にはふりかなを付すること

日本水上競技聯盟機關雜誌

## 水 泳

第 38 號

昭和十一年五月二十日納本  
昭和十一年五月二十四日發行

(日本水上競技聯盟代表)

編輯兼發行人 飯田 光 太 郎

印刷者 君 島 潔

印刷所 共同印刷株式會社  
東京市小石川區久堅町108

定價30錢 年8回發行豫定・8回分¥240

豫約申込者に限り頒布す(1年前金豫約は送料不要)

廣告料 10圓乃至35圓 御申込次第詳細回答

發行並 東京市麴町區丸ビル805  
日本水上競技聯盟編輯事務所  
申込所 振替口座東京三九九一九番